Panasonic®

取扱説明書

ブルーレイディスクレコーダー

品番 DMR-BZT900
DMR-BZT800

操作編

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 保証書別添付

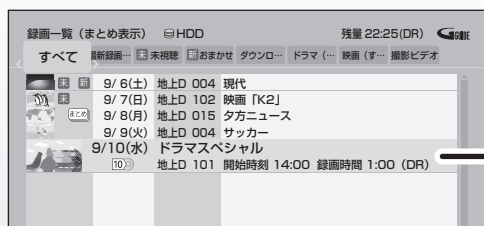
- 「取扱説明書（準備編・操作編）」および「かんたん操作ガイド」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（171 ～175ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

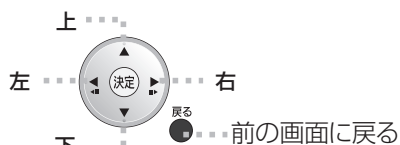
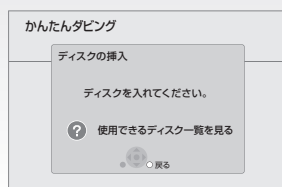
「操作」についての

紙の取扱説明書以外にも、目的別に以下のガイドで本機の操作をご案内しています。

1 機器操作は 表示中の画面で確認

画面上で、機能説明や操作できるボタンの表示、さらには補足説明などを確認できます。

例）操作できるボタンの表示

選択中の項目は黄色で表示

基本的な操作は、リモコンの上下左右ボタンと決定ボタンを使います。

補足説明

? マークが付いた画面が表示されたとき

ガイド ? ボタンを押すと、

操作に対する補足説明が確認できます。

2 困ったときは 操作ガイド

ガイド ? ボタンを押すだけで、困ったときの解決方法や、調べたい用語を確認できます。

- 基本の使い方も確認できます。
- 録画中や再生中に見ることはできません。

3 音声で案内 音声ガイド

機器の操作を音声や操作音で確認できます。

- ご使用になる場合は、初期設定「音声ガイド機能」を「入」に設定してください。（➔131）

・スタート ボタンを3秒以上押すと、設定画面を直接表示することができます。

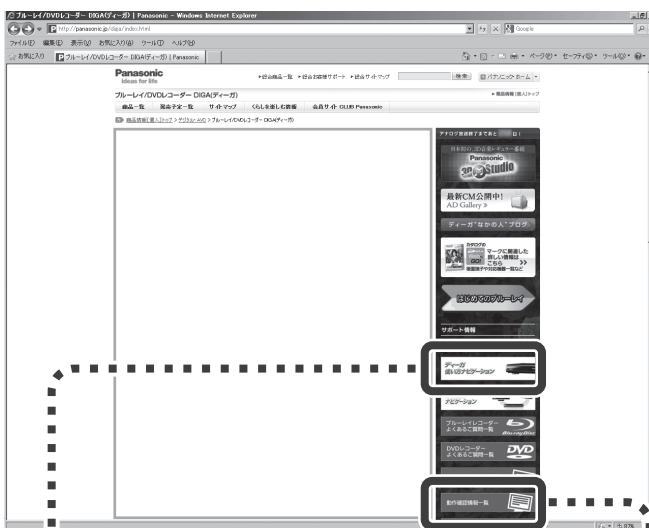
本書では、本機の操作方法を説明しています。
別冊の「**取扱説明書 準備編**」や「**かんたん操作ガイド**」もあわせてご覧ください。

4 連携機器情報などの詳しい情報は 当社ホームページ

本機を使用していただくための、サポート情報を掲載しています。

- 接続機器に合わせた“接続方法”や“基本の使い方”がわかる「**使い方ナビゲーション**」「**つなぎ方ナビゲーション**」
- 連携できる機器品番情報などを確認できる「**動作確認情報一覧**」
- 困ったときや、用語を調べたいときの「**よくあるご質問**」など

お持ちのパソコンからご覧ください。（本機からホームページをご覧になることはできません）

diga.jp

例えば…

使い方ナビゲーション

例えば…

動作確認情報一覧

ホームページの内容は、変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

本機の「特長」

「ハイビジョンで楽しむ」

デジタル放送のハイビジョン番組をハイビジョン画質で録画できます。

「録画が便利!」 複数番組同時録画

▶ 44ページ

見たいデジタル放送の番組が重なっても、両方ともハイビジョン画質で録画できます。

「3D映像を楽しむ」

▶ 54ページ

3D対応テレビと接続し、臨場感にあふれた、迫力ある3D映像をお楽しみいただけます。

「番組を持ち出す」

▶ 103ページ

録画した番組を携帯電話などのモバイル機器に持ち出して楽しむことができます。

「思い出を見よう!残そう!」

動　画

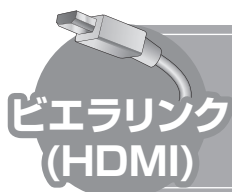
▶ 48、82ページ

ビデオカメラなどで撮影した動画の取り込みができます。
ハイビジョン動画（AVCHD）の場合、再生もできます。

写　真

▶ 89、92ページ

デジタルカメラなどで撮った写真の再生や取り込みができます。

ビエラリンク（HDMI）

HDMIケーブルでビエラとつなげば、

ビエラのリモコン1つで本機の操作を行うことができます ➜ 115ページ

「ネットワークにつないで楽しむ」

テレビでネット ▶110ページ

テレビでいろいろな情報を見ることができます。

ドアホン・センサーカメラ ▶108ページ

留守中の訪問客などを記録することができます。

プリンター ▶94ページ

写真を印刷することができます。

1ヵ月の番組表 ▶29ページ

1ヵ月の番組表を表示することができます。※1

※1 ネットワークで番組情報を提供している放送局のみ（2010年12月現在、WOWOWのみ）

携帯電話 ▶準備編48ページ

外出先から本機の録画予約ができます。

お部屋ジャンプリンク（DLNA） ▶118ページ

本機に録画した映像を別の部屋で見ることや、
別の部屋にある機器の映像を見ることができます。

スカパー！HD録画 ▶80ページ

対応チューナーから本機にハイビジョン番組を
そのままの画質で録画できます。

注目番組 ▶31ページ

注目番組を表示することができます。※2

※2 ネットワークで番組情報を提供している放送局のみ（2010年12月現在、NHK、WOWOWのみ）

本機は無線LANを内蔵しています

無線LANを使ってネットワーク接続(➜準備編17)すると、
ケーブルの配線を気にすることなく、
ネットワーク機能を楽しむことができます。

もくじ

番組

視聴

録画

再生

編集

ダビング

CATV

他の機器と

(➜ 次ページにつづく)

写真

音楽

その他

便利機能

「安全上のご注意」を必ずお読みください(➜171～175ページ)

必要なとき

本機の温度上昇について

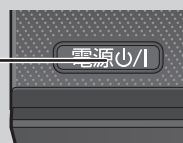
本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機が操作を受けつけなくなったときは…

[電源⏻/I]を 3秒以上押す

本機の電源が切れます。

故障かな !? と思った場合 ➜ 154

本機を廃棄/譲渡するときは

148ページをご覧ください。

インターネットの閲覧制限について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。詳しくは110ページをご覧ください。

番組などの消去について

本機での番組消去、部分消去、チャプター消去などの消去機能は、一度実行すると元に戻すことはできません。
よく確認してから実行してください。

本書内の表現について

●本書内で参照していただくページを(➜○○)、別冊の取扱説明書 準備編を参照していただくページを(**➜準備編** ○○)で示しています。
●ディスクなどの表示を以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク
HDD	HDD
BD-RE※	BD-RE
BD-R※	BD-R
BD ビデオ	BD-V
DVD-RAM	RAM
DVD-R	-R
DVD-R DL	
DVD-RW	-RW

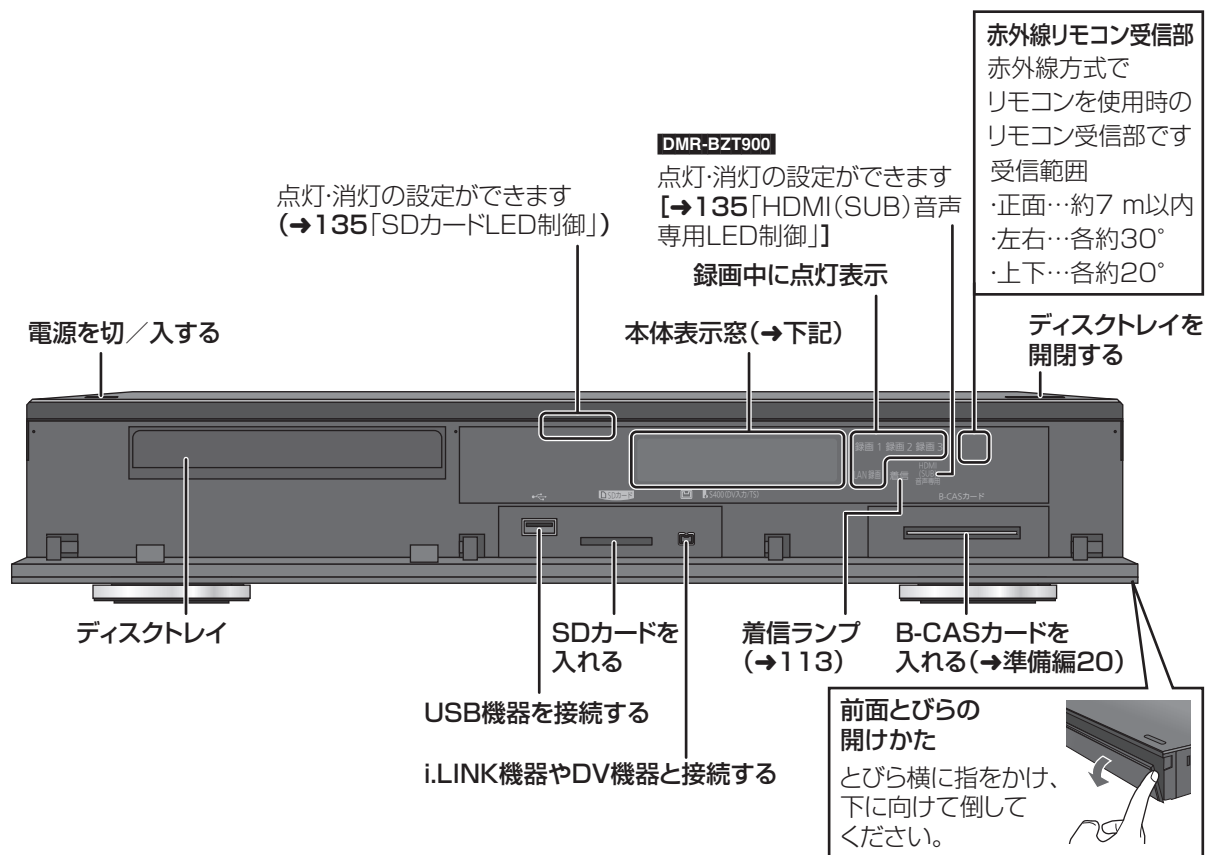
ディスクなど	表示マーク
DVD ビデオ	DVD-V
+R	
+R DL	
+RW	
CD	CD
SD カード	SD
USB 機器	USB

※ DL、BDXL も含みます。

同じディスクでも記録方式の違いなどにより動作が異なる場合は、表示マークに記録方式を付与しています。
●AVCREC 方式の場合: 例) RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
●VR 方式の場合: 例) RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)
●ビデオ方式の場合: 例) -R(V) -RW(V) (ただしファイナライズ後は DVD-V)
●ビデオカメラなどで撮影したハイビジョン動画(AVCHD)が記録されたディスクや SD カードの場合は、AVCHD と表示

本書における本体および画面のイラストは、DMR-BZT900 のものです。

各部のはたらき

本体

● DMR-BZT900 本体の [電源 ⏻/I] と [▲ 開/閉] は、タッチ方式を採用しているため、中央くぼみに触れるだけで働きます。触れたときに出る操作音量は変更することができます。(➜131「本体ボタン操作音量」)

●無線方式の場合、リモコンを本体との距離が約7 m以内の範囲で使用してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境、建物の構造によって使用可能範囲が狭くなります。

本体表示窓

以下の場合に点灯表示します。

録画モード変換中(電源切時のみ)/持ち出し番組作成中(電源切時のみ)/AAC への音楽圧縮時/オンエアーダウンロード時のデータ蓄積中

ダビング時

番組のダウンロード中

ディスク挿入時

選択中のドライブ

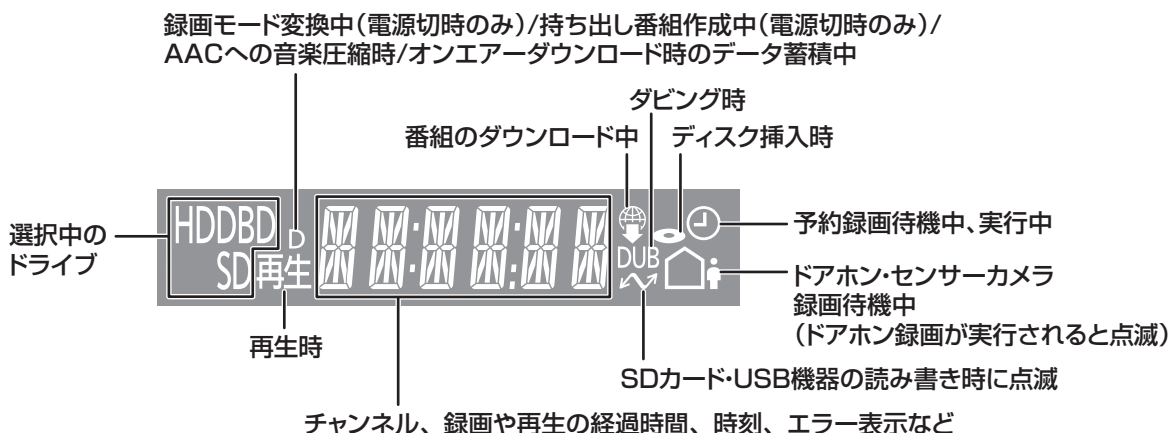
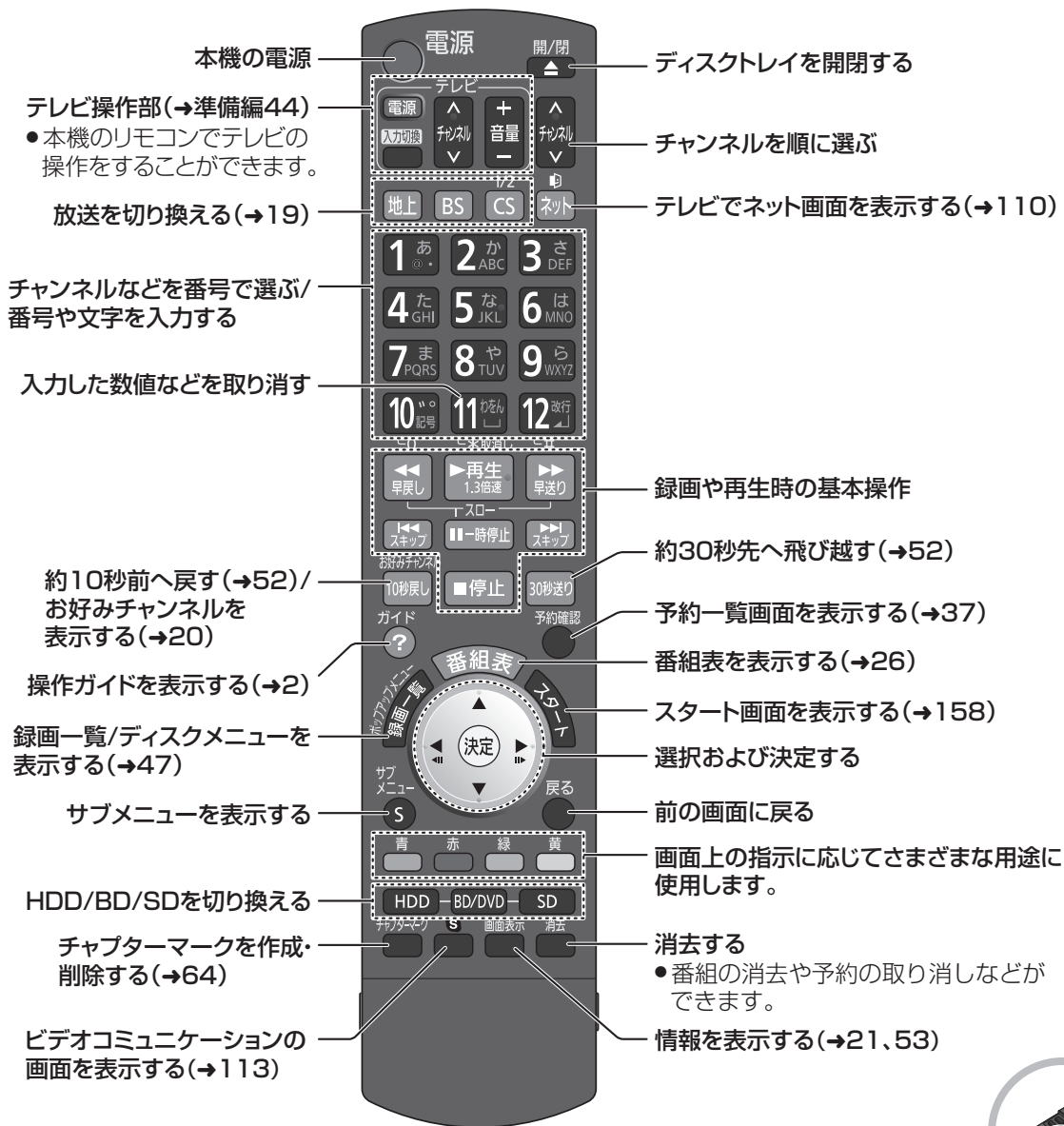
HDD BD D SD 再生 DUB

予約録画待機中、実行中

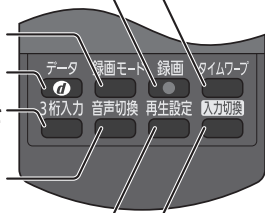
ドアホン・センサーカメラ録画待機中
(ドアホン録画が実行されると点滅)

再生時

SDカード・USB機器の読み書き時に点滅

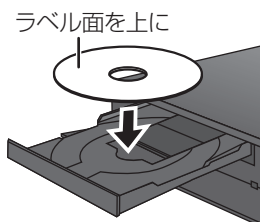
チャンネル、録画や再生の経過時間、時刻、エラー表示など

リモコン

シンプルリモコン対応

本機は別売のシンプルリモコン（DY-RM10）に対応しています。
シンプルリモコンを使うと、シンプルリモコン専用の画面で簡単に予約などの操作ができます。

ディスク・SD カードを入れる

ディスク

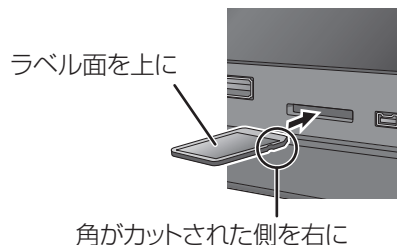
開/閉 を押してトレイを開き、ディスクを入れる

- もう一度押すと、トレイが閉まります。
- ディスクの確認画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

お知らせ

- 両面ディスクの場合、記録または再生したい側の面を下にして入れてください。
- ほこりや指紋が付着したディスクは、**汚れを取り除いて**から使用してください。(➜149)
- 使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。
- **カートリッジ付きディスクについて**
  - ・カートリッジ付きの BD-RE(Ver.1.0)は、本機では使用できません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
  - ・DVD-RAM や 8 cm のディスクは、カートリッジからディスクを取り出してトレイにのせてください。(➜ 下記)
  (TYPE1 は使えません)
- ディスクをお使いにならない場合は、ディスクをトレイから取り出しておくことをおすすめします。

SD カード

❶ **本体前面のとびらを開ける**

❷ **カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む**

❸ **本体前面のとびらを閉じる**

カードを取り出すには

上記手順 ❷ で、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

お知らせ

- **本体表示窓の"∿"(➜11)点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりする恐れがありますので、点滅中に電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。**
- mini タイプや micro タイプの SD カードは、必ず専用の アダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。

例)

カートリッジ付きディスクの取り出しかた例

カートリッジからの取り出しかたはディスクによって異なります。
詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

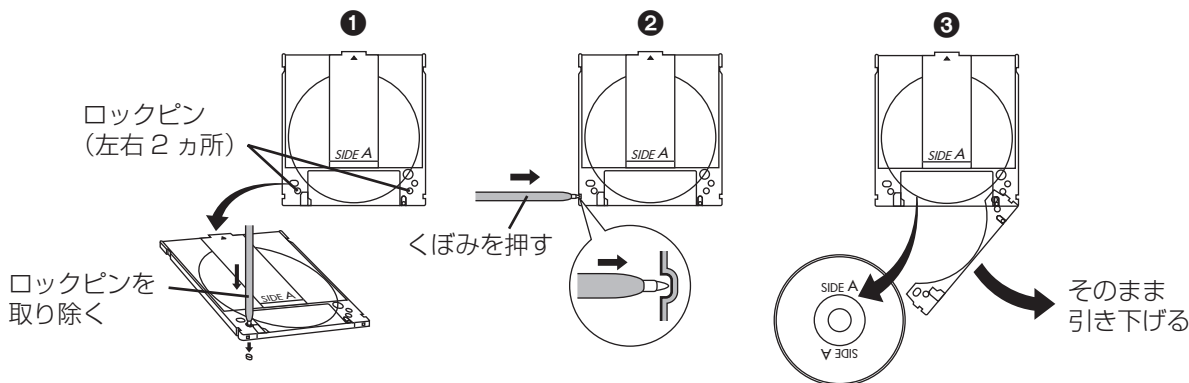
両面 DVD-RAM ディスクの場合

❶ ロックピン(左右 2 ヵ所)

ロックピンを取り除く

❷ くぼみを押す

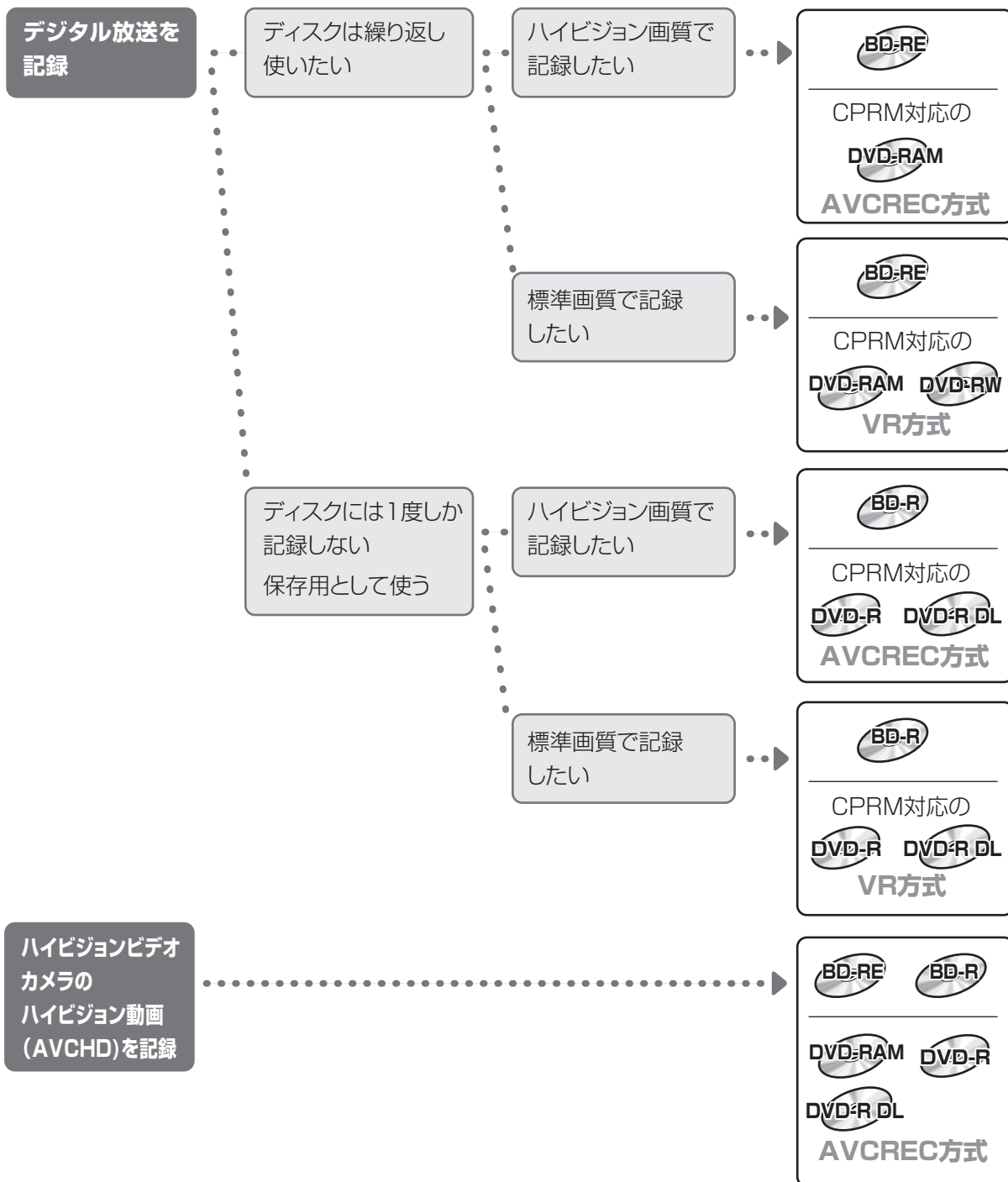
❸ そのまま引き下げる

はじめに

記録できるディスクについて

ディスクの種類	ロゴ	記録方式	記録できる放送	記録できる画質
BD-RE	Blu-ray Disc	—	地上･BS･CS デジタル放送	ハイビジョン画質 標準画質
BD-R	Blu-ray Disc			
DVD-RAM	DVD RAM RAM4.7	AVCREC方式	地上･BS･CS デジタル放送	ハイビジョン画質
		VR方式 (DVDビデオレコーディング規格)	地上･BS･CS デジタル放送	標準画質
DVD-R / DVD-R DL (片面2層)	DVD R R4.7 / DVD R R DL	AVCREC方式	地上･BS･CS デジタル放送	ハイビジョン画質
		VR方式 (DVDビデオレコーディング規格)	地上･BS･CS デジタル放送	標準画質
		ビデオ方式 (DVDビデオ規格)	デジタル放送は記録できません	標準画質
DVD-RW	DVD RW	VR方式 (DVDビデオレコーディング規格)	地上･BS･CS デジタル放送	標準画質
		ビデオ方式 (DVDビデオ規格)	デジタル放送は記録できません	標準画質

●DVD の記録方式は、本機でフォーマット(➜124)することで設定されます。

	記録できる録画モード	予約録画は?	フォーマットは?(➔124)	備考
	DR HG HX HE HL HM HZ XP SP LP EP FR	できる (予約は1番組)	必要	● DL、BDXL™ にも記録できます。 ● カートリッジ付きのBD-RE(Ver.1.0)の記録や再生はできません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
	HG HX HE HL HM HZ	できる (予約は1番組)	必要	● デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。 ● カートリッジ付きのDVD-RAMは、カートリッジからディスクを取り出してお使いください。(TYPE1は使えません)
	XP SP LP EP FR	できる (予約は1番組)	不要 (データ用ディスクの場合、フォーマット必要)	
	HG HX HE HL HM HZ	できる (予約は1番組)	必要	● デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。
	XP SP LP EP FR	できる (予約は1番組)	必要	
	XP SP LP EP FR	できない	不要	● コピー制限のない番組(ビデオカメラで撮影した映像など)のみ記録できます。
	XP SP LP EP FR	できる (予約は1番組)	必要	● デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。
	XP SP LP EP FR	できない	必要	● コピー制限のない番組(ビデオカメラで撮影した映像など)のみ記録できます。

記録できるディスクについて(つづき)

記録したディスクを他の機器で再生するには?

BD-RE、BD-R に対応した機器で再生できます。

- LTH typeのBD-Rに記録した場合、再生機器がLTH typeに対応していないと再生できないときがあります。
- 当社製 DMR-E700BD や 2006 年春以前に発売された他社製機器では、再生できません。
- HG、HX、HE、HL、HM、HZモードの番組や、本機に取り込んだハイビジョン動画(AVCHD)、スカパー! HD の番組は、再生できない場合があります。
- DL や BDXL のブルーレイディスクは、対応機器でのみ再生できます。
  - ・DL のブルーレイディスクは、2006 年秋以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生できます。
  - ・BDXL のブルーレイディスクは、右記のロゴが付いた機器で再生できます。

以下の条件に当てはまる機器で再生できます。

- **記録したディスクの再生に対応**
- **記録したディスクの記録方式の再生に対応**
  - ・**AVCREC 方式の場合:**
    対応機器には右記のロゴが付いています。
    対応機器以外で使用しないでください。
    ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。
    -R はファイナライズ(➜127)が必要です。

  - ・**ビデオ方式の場合:**
    記録後にファイナライズ(➜127)が必要です。
- **デジタル放送を記録したディスクの場合、CPRM に対応している必要があります。**

お知らせ

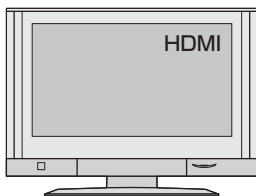
- ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。

操作の前に

本機の映像をテレビに映す

1 テレビの電源を入れる

2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

●本機を接続した入力に切り換えてください。
(HDMI、ビデオ 1 など)

3 本機のリモコンの 電源 を押す

本体表示窓

チャンネル表示

●テレビに映像が映っているか確認してください。

テレビに映像が表示されない場合

●テレビの入力を確認してください。
●接続を確認してください。
(→ 準備編 4 ~ 21)

本機の電源を切る

本機のリモコンの 電源 を押す

本体表示窓

時刻表示

画面上の基本操作について

本機は画面に表示されている項目をリモコンの上下左右ボタンで選び、決定ボタンを押すことで操作を行います。

例えば、番組を選びたい場合

黄色になっている項目が、現在選ばれている項目

黄色になります。

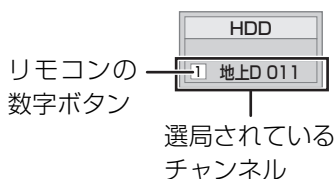
番組内容の画面が表示されます。

本書では、上記のような操作をする場合、
番組を選び、決定を押す
と記載しています。

テレビ放送を見る

1 地上 BS CS **を押して、放送を選ぶ**

●[CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

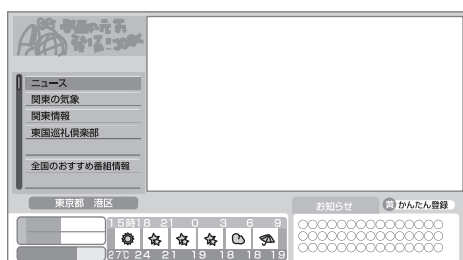
2 1～12 または チャンネル **を押して、チャンネルを選ぶ**

データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

●**本機では、データ放送を録画できません。**
録画が始まるとデータ画面が消えます。

1 **データ放送のある番組を選局し、** データ d (ふた内部)**を押す**

2 **見たい項目を選び、** 決定 **を押す**

例）

●画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄] や**数字ボタン**で操作してください。

データ画面を消すには
[データ d] を押す

お知らせ

●本機でワンセグ放送を視聴することはできません。
●HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで２番組録画中は、放送 / 入力やチャンネルの切り換えは２番組間でのみできます。

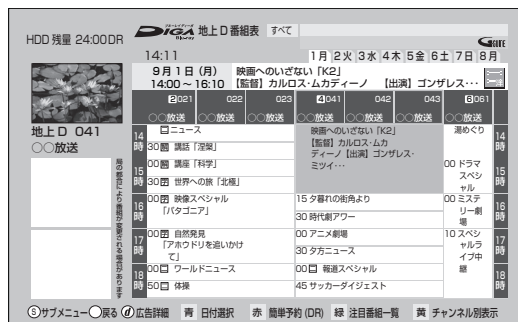
視聴

テレビ放送を見る（つづき）

その他の選局方法

番組表から選局

❶ [番組表] を押す

❷ 放送中の番組を選び、(決定) を押す

☞ 別の放送の番組表を見るには

[地上] [BS] [CS] を押す

❸ 「今すぐ見る」を選び、(決定) を押す

3けたチャンネル番号を入力して選局

❶ テレビ視聴中に、[3桁入力]（ふた内部）を押す

- 押すごとに放送が切り換わります。

❷ [1 あ] ～ [10 記号] を押して、チャンネルを入力する

例）103 の場合…[1] → [10] → [3]

- 画面が表示されている間に入力してください。

☞ 枝番号の異なる放送を選局するには

(地上デジタル) （➜22「枝番選局」）

お好みチャンネルから選局

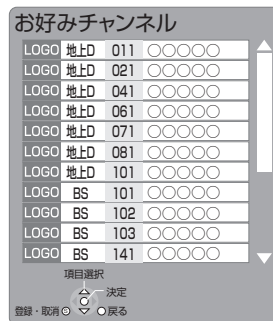
お好みチャンネルは、テレビ画面に放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。
放送に関係なく１つのリストに表示することができます。登録したチャンネルは、お好み番組表としても表示できます。

❶ テレビ視聴中に、[お好みチャンネル 10秒戻し] を押す

❷ 放送局を選び、(決定) を押す

お好みチャンネル

LOGO	地上D	011	○○○○○
LOGO	地上D	021	○○○○○
LOGO	地上D	041	○○○○○
LOGO	地上D	061	○○○○○
LOGO	地上D	071	○○○○○
LOGO	地上D	081	○○○○○
LOGO	地上D	101	○○○○○
LOGO	BS	101	○○○○○
LOGO	BS	102	○○○○○
LOGO	BS	103	○○○○○
LOGO	BS	141	○○○○○

項目選択　決定　登録・取消　戻る

■チャンネルの登録

① 登録したい放送局を視聴中に、[お好みチャンネル /10 秒戻し] を押す

② [サブ メニュー] を押す

③ 「登録」を選び、[決定] を押す

④ 「はい」を選び、[決定] を押す

- リストの一番下に登録されます。（最大 48 チャンネル）

■チャンネルの取り消し

① [お好みチャンネル /10 秒戻し] を押す

② 取り消す放送局を選び、[サブ メニュー] を押す

③ 「取消」を選び、[決定] を押す

④ 「はい」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
- かんたん設置設定や地上デジタルのチャンネル設定を行うと、地上デジタルの登録した内容は取り消されます。

番組視聴中の便利な機能

上下左右の黒帯を消して拡大

画面モード切換

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

❶ を押す

- 表示されない場合、もう一度[**サブ メニュー**]を押してください。

❷ **「画面モード切換」を選び、(決定)を押す**

❸ **画面モードを選ぶ**

ノーマル:
元の映像で表示します。

サイドカット:
16:9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示します。

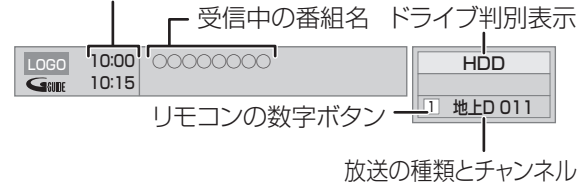
ズーム:
4:3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示します。

お知らせ

- 以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
  - ･他のチャンネルを選局
  - ･番組の再生を始める、または終了する
  - ･電源を切 / 入
- 番組やディスクの内容によっては、設定しても効果がない場合があります。
- 「TVアスペクト」(➜ **準備編 35**)を「4:3」にしている場合、「ズーム」は効果がありません。
- テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

見ている番組の情報を表示

画面表示 を押す

例）

表示を消すには
[**画面表示**] を数回押す

音声を切り換える

音声切換 (ふた内部)を押す

- 押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

お知らせ

- 録画中に切り換えても、記録される音声に影響はありません。

放送中の番組の 3D 設定をする

3D/2D 出力

- 3D 対応テレビと HDMI ケーブルで接続時

サイドバイサイド(2 画面構成)などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に変更してください。

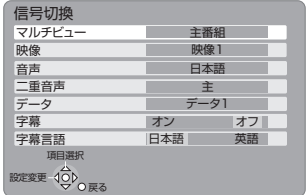
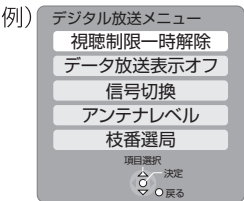
(詳しくは ➜55「3D映像を視聴するための便利な機能」)

テレビ放送を見る(つづき)

放送内容などの設定

テレビ視聴中に

❶ を押す

- 表示されない場合、もう一度[サブ メニュー]を押してください。

❷「デジタル放送メニュー」を選び、(決定)を押す

例)
❸ 設定項目を選び、(決定) を押す（➜ 右記へ）

お知らせ

- 視聴中の番組により表示される項目が変わります。

視聴制限一時解除	暗証番号(➜130)を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示オフ	データ放送の表示を終了します。
信号切換	映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 信号切換 マルチビュー 主番組 映像 映像1 音声 日本語 二重音声 主 データ データ1 字幕 オン オフ 字幕言語 日本語 英語 項目選択 設定変更 戻る **設定する項目を選び、設定する** **お知らせ** ●記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 **(詳しくは ➜42)**
アンテナレベル	アンテナレベルが確認できます。
枝番選局 (地上デジタル)	枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される番号のことです。 (例:「011-0」、「011-1」) 3けたチャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 **放送局を選び、[決定] を押す** 枝番選局 3桁番号：011 011-0 LOGO ○○○○○ 主選局 011-1 ○○○○○ 011-2 ○○○○○ 枝番切換 選局 戻る 青 赤 緑 主選局変更 黄 **主選局を変更するには** 主選局にしたい放送局を選び、[**緑**] を押す

録画する

HDD

この操作では HDD にのみ録画できます。

1 地上 BS CS を押して、放送を選ぶ

- [CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

2 1 ～ 12 または チャンネル を押して、チャンネルを選ぶ

3 録画モード（ふた内部）を押して、録画モードを選ぶ

- 押すごとに、切り換わります。
- 表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。

例）

4 録画（ふた内部）を押す

“録画 1” または “録画 2”、“録画 3” が点灯

本体前面

録画経過時間

5 録画を止めるときは、■停止 を押す

お知らせ

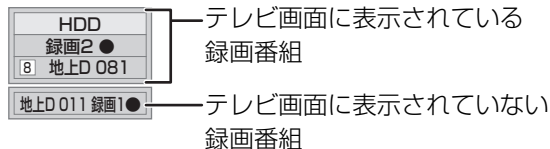
- ディスクへは録画できません。
  ・予約録画はできます。（ビデオ方式は除く）
- 予約録画が始まり、複数の番組を録画(➜ 44)できない場合は、予約録画が優先され録画は終了します。
- 長時間連続して録画すると、8 時間ごとの番組に分割されます。
- 有料放送を録画するには、放送会社と契約した B-CAS カードを挿入してください。契約した B-CAS カードをテレビでお使いの場合は、そのカードを本機に挿入してください。
- デジタル放送の番組でも、標準画質の番組があります。この番組は、ハイビジョン画質の録画モードを選んで録画しても、画質は標準画質です。
- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。

録画する(つづき)

録画中のいろいろな操作

録画中の番組の確認

画面表示 **を押す**

例)複数の番組を録画中

録画中の番組をテレビ画面に表示

一時停止などの操作をする場合、操作前に録画中の番組をテレビ画面に表示させてください。

●放送を切り換えていた場合:

 を押す

●チャンネルを切り換えていた場合:

 を押す

●入力を切り換えていた場合:

 (ふた内部)を押す

録画を止める

■停止 **を押す**

●複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

一時停止する

録画を一時停止させたい番組をテレビ画面に表示させてください。(➜ 上記)

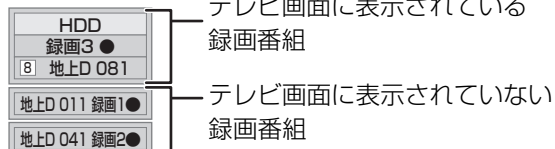
II一時停止 **を押す**

●もう一度押す、または [**録画●**] を押すと録画を再開します。(番組は分割されません)
●一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。

複数の番組を録画する

23 ページの手順 1 ～ 4 で別の番組を録画する

本体前面

テレビ画面

●3番組録画中のチャンネル/放送/入力切換は、録画中の番組間でのみ行えます。
(ただし、HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで2番組、DRモードで1番組録画している場合、DRモードの番組に切り換えることはできません)

録画しながら再生する

追っかけ再生:
HDD 録画中の番組を先頭から再生します。

同時録画再生:
録画中に録画済みの番組を再生します。
ただし、ディスク予約録画中は、ディスクの再生はできません。

1 **を押す**

2 **番組を選び、㊇決定 を押す**

ぴったり録画

録画した番組を新品の DVD(4.7 GB)にぴったりダビングできるよう設定時間に合わせて「XP」～「EP」の中から自動的に最適な画質で HDD に録画します。
(➔42「FR」)

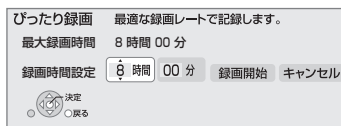
1 チャンネルを選ぶ(➔23 ページ手順 1 ～ 2)

2 [スタート]を押す

3 「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

4 「ぴったり録画」を選び、(決定)を押す

5 「HDD に録画」を選び、(決定)を押す

6 "時間"または"分"を選び、録画時間を設定する

●8 時間を超えて設定することはできません。

7 「録画開始」を選び、録画を始めたい場面で (決定)を押す

録画の残り時間を確認するには

[画面表示] を押す

例)

録画の残り時間

●録画中にぴったり録画はできません。

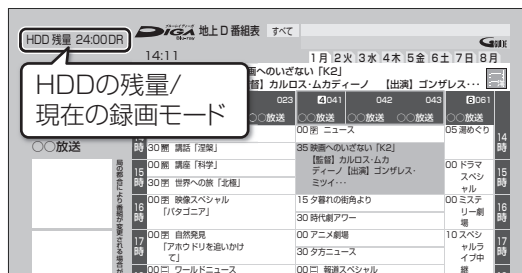
予約録画する

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

番組表(G ガイド)を使って HDD に予約録画する

1 [番組表] **を押す**

2 番組を選ぶ

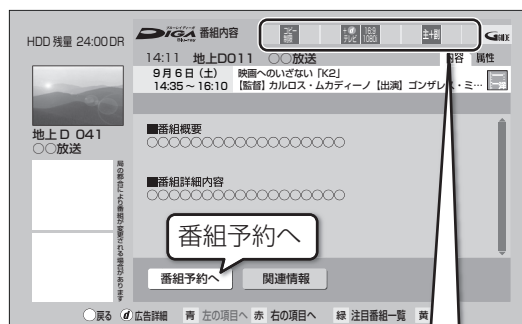
例)

👉 **別の放送の番組表を見るには**
[地上] [BS] [CS] を押す

3 [決定] **を押す**

[決定] の代わりに 赤 を押すと、

現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。
(予 が表示されます)

● 手順4〜5の操作は不要です。

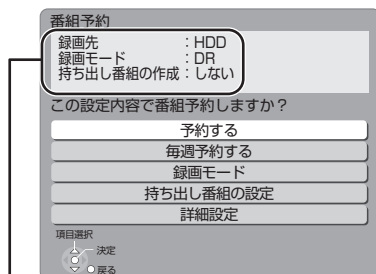
4 「番組予約へ」を選び、[決定] を押す

5 項目を選び、[決定] を押す

予約する:
予約を登録

毎週予約する:
毎週同じ曜日に予約を登録(➜39)

録画モード:
録画モードを変更(変更後、「予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください)

持ち出し番組の設定:
モバイル機器へ持ち出すための番組を作成(➜104)

詳細設定:
録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更(➜34)

予約内容を確認してください。

お知らせ

- 番組表はお買い上げ後すぐには表示されません。放送局から番組表のデータを受信する必要があります。(➜28)
- 電源の入 / 切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。
- 本機では 128 番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は、1 番組として数えます)
- 予約済みの番組をさらにもう 1 番組予約したい場合、**手順 3** で **[決定]** を押して予約してください。

番組表(G ガイド)を使ってディスクに予約録画する

ディスクは、1 番組のみ予約できます。

1 ディスクを入れる

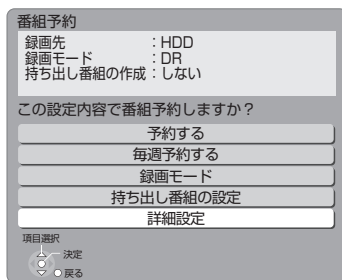
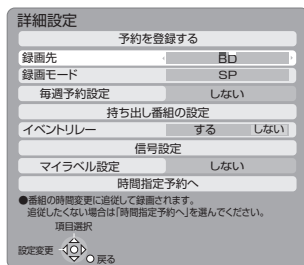
●下記のような画面が表示されますので、[戻る]を押して画面を消してください。

例）

BD-RE
かんたんダビング

2 26 ページの手順 1 ～ 4 を行う

●26ページの手順3では、[決定]を押してください。

3 「詳細設定」を選び、(決定)を押す

4 録画先を「BD」にする

5 「録画モード」を設定する

●ディスクや記録方式によって録画できるモードは異なります。

6 「予約を登録する」を選び、(決定)を押す

●フォーマット画面が表示された場合は、画面に従ってフォーマットを行ってください。

DVD にデジタル放送を録画する場合

CPRM対応のディスクをお使いください。

DVD に予約録画できる記録方式

ハイビジョン画質で記録できます。(デジタル放送のみ可能)

● -RW ではできません。

標準画質で記録します。

予約録画できません。

番組表の見かた

番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。電源「切」時に番組表のデータ受信を行います。

例）全チャンネル表示

番組の色分け表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な５つのジャンル（映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ／特撮）を色分け表示しています。

お知らせ

- 本機を設置した時間帯によっては、番組表を表示できるまでに１日程度かかる場合があります。
- 番組表の受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないこともあります。

番組表の表示設定

放送の切り換え

[地上] [BS] [1/2 CS] を押す

日付の切り換え

●全チャンネル表示時のみ

[スキップ](前日) [スキップ](翌日)を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

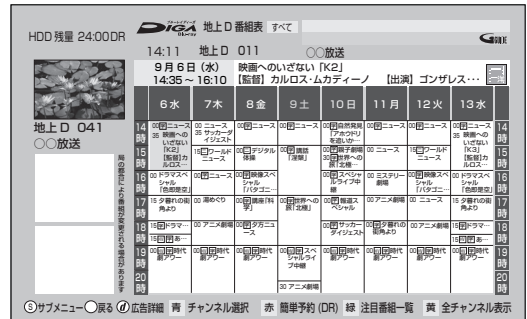
❶ [青]を押す

❷ 日付を選び、(決定)を押す

チャンネル別に表示

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

❶ **表示したいチャンネルの番組を選ぶ**

❷ **[黄]を押す**

☞ **全チャンネル表示に切り換えるには**

[黄]を押す

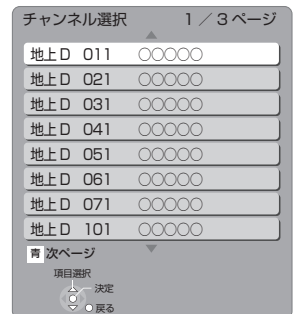
☞ **別のチャンネルを表示するには**

チャンネル別表示中に

① [青]を押す

② チャンネルを選び、(決定)を押す

チャンネル選択　1／3ページ
地上D 011 ○○○○○
地上D 021 ○○○○○
地上D 031 ○○○○○
地上D 041 ○○○○○
地上D 051 ○○○○○
地上D 061 ○○○○○
地上D 071 ○○○○○
地上D 101 ○○○○○
青 次ページ
項目選択 決定 戻る

録画

お知らせ

● 本機は放送局からの番組情報を基に、通常は8日分の番組表を表示することができます。
さらに、本機をネットワークに接続し、「通信によるGガイド受信」(➔129)を「オン」にすると、1ヵ月の番組情報を取得することができます。(2010年12月現在、ネットワークから1ヵ月の番組情報を取得できる放送局はWOWOWのみです)

お知らせ

● 1ヵ月の番組表を取得している場合、9日目以降の番組表の表示には時間がかかります。

番組表の表示設定(つづき)

1 番組表表示中に

を押す

2 **項目を選び、設定する**

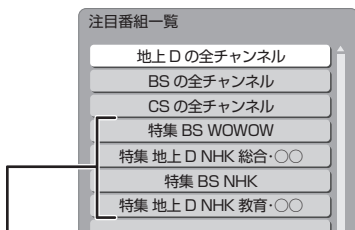
番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、番組を検索します。(➜32)
録画モード	録画モードを変更します。(➜42)
放送切換	別の放送の番組表を表示します。 ●お好み番組表は、「お好みチャンネル」(➜20)で登録されている放送局が表示されます。
表示チャンネル数 ●全チャンネル表示時のみ	1画面に表示するチャンネル数を変更します。
表示日数切換 ●チャンネル別表示時のみ	1画面に表示する日数を変更します。
表示対象 ●全チャンネル表示時のみ	番組表で表示させる内容を変更します。 ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定されている Po1 ～ 36 までのチャンネルを表示し、枝番号表示しないようにします。 ●番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
ジャンル別表示 ●全チャンネル表示時のみ	ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表上で明るく表示します。 ① **メインジャンルを選び、[決定]を押す** ② **サブジャンルを選び、[決定]を押す** **ジャンル別の表示をやめるには** ① **[サブ メニュー]**を押す ②「全ジャンル表示」を選び、**[決定]**を押す ●別の放送の番組表を表示した場合やサブメニュー操作を行った場合もジャンル表示をやめます。
視聴制限一時解除	暗証番号(➜130)を入力して視聴制限を一時解除します。 **[決定] を押す**
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。 **[決定] を押す**

注目番組一覧から予約録画する

放送局がおすすめする番組を一覧表示できます。

1 番組表表示中に
[緑] **を押す**

2 **放送を選び、(決定)を押す**

●地上D、BS、CSの全チャンネルを選んだ場合、手順 4 へ進んでください。

ネットワークに接続し、「通信によるGガイド受信」(➜ 129)を「オン」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。
(2010年12 月現在、ネットワークから注目番組の情報を取得できる放送局は NHK、WOWOW のみです)

3 (ネットワークから注目番組の情報を取得できる放送局を選んだときのみ)
カテゴリーを選び、(決定)を押す

カテゴリー

カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには
[赤] を押す
● 予 が表示され、予約は完了します。
●録画された番組は、まとめ 番組になります。

放送を変更するには
[緑] を押す(➜ 手順 2 へ)

4 **番組を選び、(決定)を押す**

カテゴリー

他のカテゴリーを表示するには
[|◀◀][▶▶|] を押す
([青] を押してカテゴリーを選択することもできます)

放送を変更するには
[緑] を押す(➜ 手順 2 へ)

録画モードを変更するには
① [サブ メニュー] を押す
② 録画モードを選び、[決定] を押す

5 **「番組予約へ」を選び、(決定)を押す**
(「番組予約」の場合は ➜26 手順 5)
(「時間指定予約」の場合は ➜36 手順 3)

番組を検索して予約録画する

1 番組表表示中に
サブメニュー S **を押す**

2 「番組表の検索」を選び、(決定) を押す

3 検索方法を選び、(決定) を押す

フリーワード検索
ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

❹ 検索条件を選び、(決定) を押す
- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

☞ 放送を切り換えるには
[地上] [BS] [CS] を押す

☞ 別の日の検索結果を表示するには
[|◀◀] [▶▶|] を押す
(検索結果画面表示中に 、[青] を押して日付を選択することもできます)

❺ 番組を選び、(決定) を押す
❻ 「番組予約へ」 を選び、(決定) を押す
(➜26 手順 5)

フリーワード検索

「フリーワード」「ジャンル」「出演者」の複数の検索条件(5 件まで)を登録し、1 つでも条件を満たす番組を検索することができます。

■検索条件を登録する

❹ 緑 を押す
❺ 検索方法を選び、(決定) を押す
- 「フリーワード」は、文字を入力し(➜122)、登録してください。

上記手順 ❹ ～ ❺ を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

☞ 登録したフリーワードを変更するには
① 検索条件を選び、[決定] を押す
② 「フリーワード編集」を選び、[決定] を押す
③ 文字を入力する(➜122)

☞ 登録した検索条件を削除するには
① 検索条件を選び、[黄] を押す
② 「はい」を選び、[決定] を押す

■検索する

❹ 検索する放送種別を変更する場合：
① 赤 を押す
② 検索したい放送を「入」に設定し、(決定) を押す

❺ 青 を押す

☞ 別の日の検索結果を表示するには
[|◀◀] [▶▶|] を押す
(検索結果画面表示中に 、[青] を押して日付を選択することもできます)

❻ 番組を選び、(決定) を押す
❼ 「番組予約へ」 を選び、(決定) を押す
(➜26 手順 5)

お知らせ

- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。
- ネットワークに接続し、「通信によるGガイド受信」(➜ 129)を「オン」にしている場合、フリーワード検索結果の表示に時間がかかります。
- 「フリーワード検索」で英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

新番組を自動で予約録画する

(地上デジタル)(BS デジタル)

番組名に 新 、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを最大 16 番組まで自動で予約することができます。

- 「夜ドラマ」は 18時～23時59分の間に開始時刻が含まれるドラマが対象になります。
- 録画先は「HDD」、録画モードは「DR」で予約します。

1

を押す

2 「その他の機能へ」を選び、(決定) を押す

3 「新番組おまかせ録画」を選び、(決定) を押す

4 設定したい項目を選び、「入」にする

予約された新番組の確認

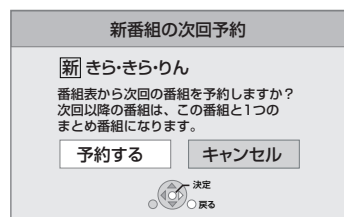
を押す

☞ **予約内容を修正するには(➜37)**

「修正」を選び、「設定変更」画面を表示すると、通常の番組予約になります。

- 新番組を毎日·毎週予約したい場合も予約内容の修正が必要です。

録画した新番組の再生

番組を再生し、停止すると、次回予約の画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

お知らせ

- 新番組でも、受信した番組データによっては正しく予約できない場合があります。
- 通常の番組と予約が重なった場合、複数の番組を録画(➜ 44)できないときは、新番組の予約は行われません。
- 新番組同士の予約が重なった場合、複数の番組を録画(➜ 44)できないときは、以下の優先順位で予約します。
  1. 開始時刻の早い番組を優先
  2. 新番組の開始時刻が同じときは、地上デジタルと BS デジタルでは、地上デジタルの番組を優先し、同じ放送のときは、チャンネル番号の小さい番組を優先
- 契約が必要なチャンネルの新番組も自動で予約しますが、契約していない場合、録画はされません。

選んでいる番組に関連した番組を予約録画する

選択している番組のジャンルや出演者など関連した情報から番組を検索します。

番組内容画面(➜26 手順 4)表示中に

❶ **「関連情報」を選び、(決定) を押す**

❷ **項目を選び、(決定) を押す**

例)

関連情報
ジャンルで番組を探す
キーワードで番組を探す
項目選択
決定
戻る

- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

☞ **放送を切り換えるには**

[地上] [BS] [CS] を押す

☞ **別の日の検索結果を表示するには**

[|◀◀] [▶▶|] を押す

(検索結果画面表示中に 、[青] を押して日付を選択することもできます)

❸ **番組を選び、(決定) を押す**

❹ **「番組予約へ」を選び、(決定) を押す(➜26 手順 5)**

録画

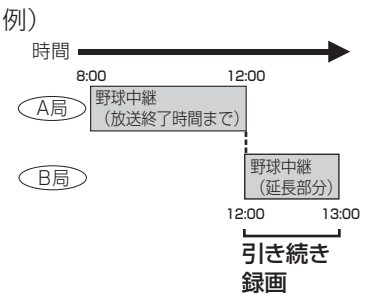
詳細設定をする

26 ページ手順 5 などで「詳細設定」を選んだあとに操作します。

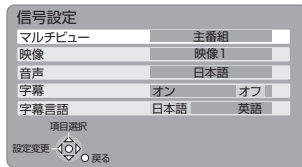
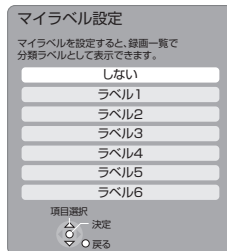
1 項目を選び、設定する(➜ 下記へ)

●「毎週予約設定」「持ち出し番組の設定」「信号設定」「マイラベル設定」「時間指定予約へ」の場合は、[決定] を押してください。

2 設定が終了したら、「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、(決定)を押す

録画先	「HDD」または「BD」を選びます。
録画モード	録画モード(➜42)を設定します。
毎週予約設定	毎週予約設定 毎週予約 しない 自動更新 入 切 月 する しない 火 する しない 水 する しない 木 する しない 金 する しない 土 する しない 日 する しない ●お好みの曜日を選び、曜日毎に設定を変更することができます。 項目選択 決定 設定変更 戻る **「毎週予約」(➜39)を設定する** ●「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。 ●曜日ごとに「する」「しない」の設定をすることもできます。
持ち出し番組の設定 HDD	録画時に持ち出し番組も作成するよう設定をします。(➜104) 持ち出し番組の設定 ・モバイル機器へ持ち出すための番組を作成します。録画する番組によっては、録画終了後の電源「切」中に作成するため、時間がかかります。 持ち出し番組の作成 する しない 持ち出し方法 SD／USB経由 持ち出し番組の画質 ワンセグ画質(QVGA) かんたん転送の登録 する しない 項目選択 設定変更 戻る **「持ち出し番組の作成」を選び、「する」を選ぶ** ●「かんたん転送の登録」を「する」に設定すると、「かんたん転送」(➜105)で転送することができます。 ●持ち出し番組の作成は、録画後でも行うことができます。(➜104) **☞ 持ち出し方法・持ち出し番組の画質について(➜103)**
イベントリレー	「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。(ただし、別番組として録画されます) 例) **お知らせ** ●毎日・毎週予約を設定している場合は働きません。 ●録画先が "BD" の場合、延長部分は HDD に代替録画されます。 ●他の予約と重複した場合、一方の番組が録画されないときがあります。

<table>
<tr><td>信号設定</td><td>複数の音声や映像の信号があるときに設定します。

① 項目を選び、設定する
② [戻る] を押す
お知らせ
●記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。
(詳しくは ➜42)
●選べる項目は、予約時点の番組情報に基づいています。実際に放送された番組が設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。</td></tr>
<tr><td>マイラベル設定
HDD</td><td>録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。
設定すると、録画一覧(➜49)で番組を探すのに便利です。
設定は録画後に変更することもできます。(➜62)

ラベルを選び、[決定] を押す
●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。
●マイラベル名は変更することができます。
(➜50「分類ラベル設定」)</td></tr>
<tr><td>時間指定予約へ</td><td>録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。
(➜36「時間指定予約」)</td></tr>
</table>

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

1 予約確認 を押す

2 緑 を押す

3 **予約内容を設定する**

（➜ 右記「時間指定予約」へ）

CATVセットトップボックスなどの外部入力から録画するときは「外部入力L1」を選んでください。

4 **「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、**決定 **を押す**

お知らせ

- **暗証番号に関する表示が出たとき**
  デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴·録画には暗証番号(➜130)の入力が必要です。視聴制限のない番組の場合は、[戻る]を押すと予約できます。
- 本機の時刻が間違っている場合は、時刻を合わせてください。
  （➜ 準備編 45「時刻合わせ」）
- 番組追従機能(➜39)は働きません。

予約内容の設定

時間指定予約

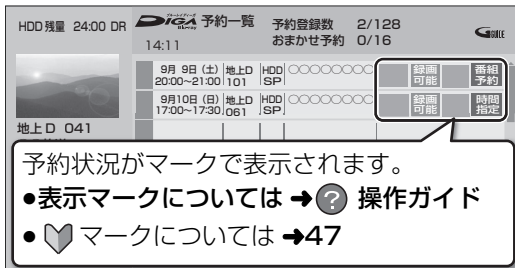
❶ **項目を選び、設定する（➜ 下記へ）**
- 「毎週予約設定」「持ち出し番組の設定」「番組名入力」「マイラベル設定」の場合は、**[決定]** を押してください。

❷ 設定が終了したら、
左記手順4へ

録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎日·毎週予約を設定します。 **(➜34「毎週予約設定」)**
放送種別／チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻／終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ● **[◀]** または **[▶]** を押したままにすると15分単位で変更できます。
録画先	「HDD」または「BD」を選びます。
録画モード	録画モード(**➜42**)を設定します。
持ち出し番組の設定 HDD	持ち出し番組作成の設定をします。(**➜34**)
番組名入力	●文字入力について(**➜121**) ●入力しなくても、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのラベルに分類させるか設定します。(**➜35**)

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 を押す

2 番組を選び、以下の操作を行う

●実行されなかった予約は、翌々日の午前 4 時には一覧から消去されます。

予約の取り消し

❶ 黄 を押す
❷「はい」を選び、決定 を押す

予約内容の修正

❶ 決定 を押す
❷「修正」を選び、決定 を押す
（「番組予約」の場合は ➜34「詳細設定」へ）
（「時間指定予約」の場合は➜36「時間指定予約」へ）

毎日・毎週予約の予約状況を確認

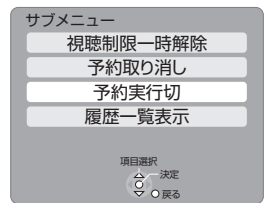
予約の重複などを確認できます。

❶ 決定 を押す
❷「毎週一覧」を選び、決定 を押す

●予約の「重複」がある場合に [決定] を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。(➜40)
予約の修正をしてください。

予約の実行を止める（一時解除）

❶ サブメニュー S を押す

例）

❷「予約実行切」を選び、決定 を押す

●予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
●[サブ メニュー] を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。（録画中のスカパー! HD の番組を除く）

視聴制限の一時解除

暗証番号(➜130)を入力して視聴制限を一時解除します。

❶ サブメニュー S を押す
❷「視聴制限一時解除」を選び、決定 を押す
❸ 1 ～ 10 で暗証番号を入力する

履歴一覧の表示

❶ サブメニュー S を押す
❷「履歴一覧表示」を選び、決定 を押す

●履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

❶ サブメニュー S を押す
❷「履歴削除」を選び、決定 を押す
❸「はい」を選び、決定 を押す

●予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

録画

予約録画する(つづき)

番組表での予約の取り消し / 修正

予約の取り消し

「予」が表示されている番組を選び、赤を押す

- 「予」が消えます。
- 予約録画実行中の番組は、取り消しできません。

予約の修正

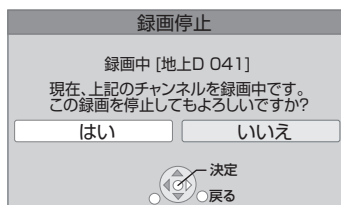
❶「予」が表示されている番組を選び、決定を押す

❷「予約修正」を選び、決定を押す

「番組予約」の場合は
➜34「詳細設定」

「時間指定予約」の場合は
➜36「時間指定予約」

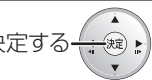
お知らせ

- 同じ番組を複数予約している場合は、予約一覧で取り消しや修正を行ってください。(➜37)

録画中の予約録画を止める

1 ■停止 を押す

- 複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

2 「はい」を選び、決定を押す

例)

予約録画の便利な機能

録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを**毎日・毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。

●連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。(➜37)

■まとめ表示について まとめ HDD

連続ドラマなどを毎日・毎週予約した番組は、録画一覧画面でまとめて表示されます。(➜51)
(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)

■前回の番組を消去して録画するには（自動更新）HDD

「自動更新」を設定しておくと、前回の放送分は消去されますので、HDD の容量を効率よく使えます。

●番組にプロテクトを設定している場合や、HDD 再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)

ディスクの残量不足などに対応(代替録画)

ディスクの入れ忘れ、残量不足などでディスクに予約録画できない場合は、自動的に“HDD”に録画先を変更し、録画の失敗を防ぎます。

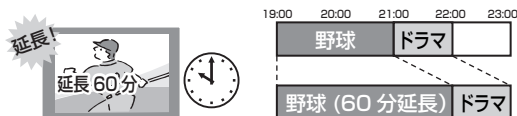
●HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。

番組追従機能

●番組表から予約した番組にのみ働きます

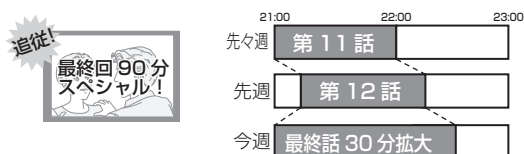
■野球中継などの番組延長に対応

●デジタル放送のみ

予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。(3 時間までの変更に対応)

●「イベントリレー」(➜34)を設定しておくと、延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。

●予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

■毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送に時間変更があった。最終回だけ 30 分拡大版だった。」などの場合に対応します。(開始 / 終了時刻の 3 時間までの変更に対応)

●次回以降の予約登録をするときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。

●番組表の更新を基に働くため、更新状態(番組名の変更など)によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

番組追従機能を無効にするには

時間指定予約で予約を行ってください。(➜36)

お知らせ

●番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。

●番組追従機能は当社独自の機能です。Gガイド固有の機能ではありません。

録画

予約録画に関するお知らせ

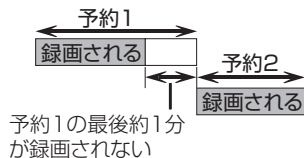
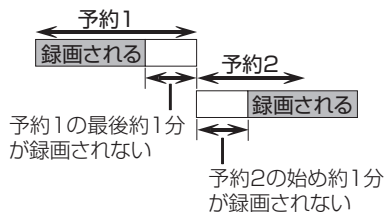
予約録画待機中の録画や再生

以下の場合、予約録画が始まり、録画や再生は終了します。
- ●録画中:
  複数の番組を録画できない状態のとき
- ●ディスク再生中:
  ディスクへ予約した番組の予約時刻になったとき
- ●BD ビデオや AVCHD のディスク、「1080/60p」の表示がある SD カードの番組を再生中:
  XP、SP、LP、EP、FR モードの予約録画の開始時刻になったとき
- ●HDD に取り込んだ「1080/60p」の表示がある番組を再生中:
  DR モード以外の予約録画の開始時刻になったとき

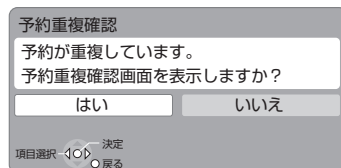
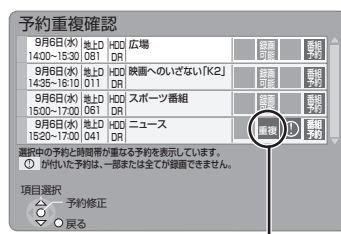
予約時の電源の切 / 入について

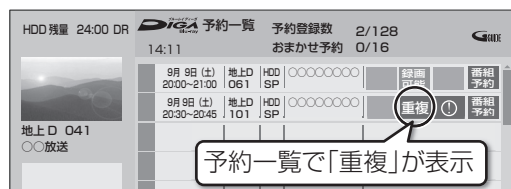
電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。
予約録画中に電源を切ることはできます。(録画に影響はありません)

前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

複数の番組を録画できない状態のときは、前の予約の終わりの約 1 分が録画されません。

次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始めも、約 1 分が録画されません。

- ●前の予約の録画終了時刻に近づくと、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。

予約番組が重なっているとき
(26 ページ手順 5 などのあと)

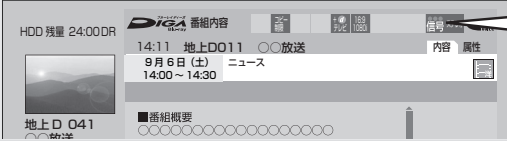
予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。
画面の指示に従って、予約の重複を修正することをおすすめします。

例)

「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。
予約を選び、[決定]を押すと、予約の修正ができます。

予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。

開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わり次第、次の番組が途中から録画されます。
- ●スカパー! HDの番組に「重複」マークが表示されている場合、途中からの録画は実行されません。

多重音声の記録について

海外映画やスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ番組や複数の音声を含んだ番組があります。
このような音声を含んだ番組を録画するときは、設定により記録される音声が異なります。

録画する放送の音声を見分けるには…

番組表の番組内容画面で、表示されるマークを確認してください。

信号 :マルチ音声

主+副 :二重音声

番組を視聴中のときは、[音声切換]を押して、音声を切り換えて確認することもできます。

例えば、日本語と英語の二ヵ国語放送を記録する場合

	記録先	デジタル放送のマルチ音声	デジタル放送の二重音声	外部入力から二重音声を録画する場合
両方の音声を記録する こんにちは Hello	HDD ブルーレイディスク	DR、HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードを選ぶ	録画モードにかかわらず両方の音声が記録されます	**「高速ダビング用録画」(➜132)**を「切」にして記録する
	DVD	HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードを選ぶ	RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) を使う	RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) を使う ●**「高速ダビング用録画」(➜132)**を「切」にしてください。
片方の音声のみ記録する こんにちは ●記録する音声を選ぶには **(➜ 下記)**	HDD ブルーレイディスク DVD	XP、SP、LP、EP、FR モードを選ぶ	— （両方の音声を記録します）	**「高速ダビング用録画」(➜132)**を「入」にして記録する -R(V) -RW(V) を使う

		デジタル放送のマルチ音声	外部入力から二重音声を録画する場合
記録する音声を選ぶには	録画時	●**直接録画の場合** 「信号切換」(**➜22**)の「音声」 ●**予約録画の場合** 予約時の「信号設定」(**➜35**)の「音声」	●外部機器側で「主音声」と「副音声」の両方を出力するように設定 ●録画前に、「外部入力の音声」(**➜134**)で「二重音声」を選ぶ
	ダビング時	「信号切換」(**➜57**)の「音声」で音声を選んだあと、ダビング(**➜75**)	

録画

録画モードについて

<table>
<tr><th>録画モード</th><th>DR</th><th>HG•HX•HE•HL•HM•HZ</th><th>XP•SP•LP•EP</th><th>FR</th></tr>
<tr><td rowspan="2">画質</td><td>放送画質
放送そのままの画質で記録</td><td>ハイビジョン画質
放送データを圧縮※1して、ハイビジョン画質で長時間記録
ディスクにもハイビジョン画質で記録</td><td>標準画質
従来のアナログ放送と同様の画質で記録</td><td>標準画質
ディスクの残量に合わせて XP ～ EP の中で画質を自動調整して記録
●番組の時間が少なくても、ディスク残量がなくなる場合があります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">高画質　長時間</td><td>高画質　長時間</td><td>—</td></tr>
<tr><td>記録できる放送 / 入力</td><td>地上･BS･CS デジタル放送
i.LINK（TS）</td><td>地上･BS･CS デジタル放送</td><td colspan="2">地上･BS･CS デジタル放送
外部入力、DV 入力</td></tr>
<tr><td>記録できるディスク</td><td>HDD BD-RE BD-R</td><td>HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)</td><td colspan="2">HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V)※2 -RW※2</td></tr>
<tr><td>サラウンドの音声</td><td colspan="2">サラウンド音声</td><td colspan="2">ステレオ音声
（ダウンミックス 2 チャンネル）</td></tr>
<tr><td>複数の音声（マルチ音声➔41）</td><td>複数の音声をすべて記録</td><td>音声は 2 つ記録※3※4</td><td colspan="2">音声は 1 つだけ記録※3</td></tr>
<tr><td>複数の映像</td><td>複数の映像をすべて記録</td><td colspan="3">映像は 1 つだけ記録※3</td></tr>
<tr><td>文字スーパー</td><td>記録する</td><td colspan="3">記録しない</td></tr>
<tr><td>字幕情報</td><td colspan="2">字幕の入 / 切情報を含めて記録
（再生時、字幕表示の入 / 切ができる）</td><td colspan="2">字幕の入 / 切情報は記録しない
（再生時、字幕表示の入 / 切はできない）※3</td></tr>
</table>

※ 1　MPEG-4 AVC/H.264 エンコード

※ 2　-R(V) -RW(V) デジタル放送のコピー制限のある番組は記録できません。

※ 3　記録したい映像や音声、字幕表示の入 / 切などの内容を選びたい場合：

●録画時　　：「信号切換」(➔22)で選ぶ

●予約録画時：「信号設定」(➔35)で選ぶ

●ダビング時：「信号切換」(➔57)で選んだあと、ダビングを行う(➔75)

※ 4　HZ モードの場合、音声の種類によっては録画できる時間が短くなる場合があります。

画質と記録時間について

スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード(例:HE、HL、HM、HZやEP)で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DRやHG、XPなど高画質の録画モードをお使いになることをおすすめします。

HG、HX、HE、HL、HM、HZモードでの録画について

録画モード「HG」、「HX」、「HE」、「HL」、「HM」、「HZ」での録画は、以下の場合、いったん録画モード「DR」で録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します※。

- 複数の番組を録画中に次の動作を行った場合(1番組のみ録画モード「DR」に切り換えて録画します)
  - ・HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW DVD-V の番組再生
  - ・音楽の再生
  - ・HG、HX、HE、HL、HM、HZモードで3番組録画
- 複数の番組を録画中に次の動作を行った場合(複数の番組を録画モード「DR」に切り換えて録画します)
  - ・BD-V AVCHD の番組再生
  - ・ディスクへのダビング
  - ・スカパー! HD録画
- 1番組のみ録画中に次の動作を行った場合(録画モード「DR」に切り換えて録画します)
  - ・BD-V AVCHD の番組再生
  - ・ディスクへの1倍速ダビング

また、HG、HX、HE、HL、HM、HZモードで複数の番組を録画中は、以下の制限があります。

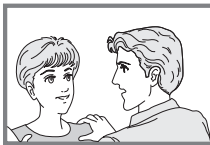
- HDDとディスクに1番組ずつ録画している場合やHDDの残量が少ない場合、再生やダビング、番組キープはできません。
- 持ち出し番組やダビングリスト作成画面のプレビューはできません。
- ドアホン・センサーカメラ映像を再生できません。

※ 電源「切」時に、電源コードを抜いている場合、録画モード変換は行いません。

番組の同時録画について

本機でできる同時録画の組み合わせは、以下の通りです。

<table>
<tr><th>1番組目</th><th>2番組目</th><th>3番組目</th><th>4番組目</th></tr>
<tr><td rowspan="9">地上・BS・CS放送
DR</td><td>＋ 地上・BS・CS放送
DR</td><td>＋ 地上・BS・CS放送
DR</td><td>＋ スカパー! HD
LAN経由</td></tr>
<tr><td>＋ 地上・BS・CS放送
DR</td><td>＋ 地上・BS・CS放送
HG、HX、HE、HL、HM、HZ</td><td>＋ スカパー! HD
LAN経由</td></tr>
<tr><td>＋ 地上・BS・CS放送
DR</td><td>＋ 地上・BS・CS放送
XP、SP、LP、EP、FR</td><td></td></tr>
<tr><td>＋ 地上・BS・CS放送
DR</td><td>＋ 外部入力
XP、SP、LP、EP、FR</td><td></td></tr>
<tr><td>＋ 地上・BS・CS放送
DR</td><td>＋ i.LINK（TS）入力
DR</td><td>＋ スカパー! HD
LAN経由</td></tr>
<tr><td>＋ 地上・BS・CS放送
HG、HX、HE、HL、HM、HZ</td><td>＋ 地上・BS・CS放送
HG、HX、HE、HL、HM、HZ</td><td>＋ スカパー! HD
LAN経由</td></tr>
<tr><td>＋ 地上・BS・CS放送
HG、HX、HE、HL、HM、HZ</td><td>＋ i.LINK（TS）入力
DR</td><td>＋ スカパー! HD
LAN経由</td></tr>
<tr><td>＋ 地上・BS・CS放送
XP、SP、LP、EP、FR</td><td>＋ i.LINK（TS）入力
DR</td><td></td></tr>
<tr><td>＋ 外部入力
XP、SP、LP、EP、FR</td><td>＋ i.LINK（TS）入力
DR</td><td></td></tr>
</table>

1番組目		2番組目		3番組目		4番組目
地上･BS･CS放送 DR	＋	地上･BS･CS放送 XP、SP、LP、EP、FR	＋	スカパー! HD LAN経由		
	＋	外部入力 XP、SP、LP、EP、FR	＋	スカパー! HD LAN経由		
地上･BS･CS放送 HG、HX、HE、HL、HM、HZ	＋	地上･BS･CS放送 HG、HX、HE、HL、HM、HZ	＋	地上･BS･CS放送 HG、HX、HE、HL、HM、HZ	＋	スカパー! HD LAN経由
	＋	地上･BS･CS放送 HG、HX、HE、HL、HM、HZ	＋	i.LINK(TS)入力 DR	＋	スカパー! HD LAN経由
地上･BS･CS放送 XP、SP、LP、EP、FR	＋	i.LINK(TS)入力 DR	＋	スカパー! HD LAN経由		
外部入力 XP、SP、LP、EP、FR	＋	i.LINK(TS)入力 DR	＋	スカパー! HD LAN経由		

1番組目、2番組目、3番組目をディスクに同時に録画することはできません。

お知らせ

- 以下の場合、番組の複数同時録画はできません。
  - ・DV 入力から録画する場合
  - ・「外部入力(L1)取込」中
  - ・ディスクから HDD へダビング中
  - ・HDD から HDD へダビング(複製)中
  - ・スカパー! HD の 2 番組の場合
  - ・ディスクに HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで 1 番組、HDD に 2 番組、スカパー! HD の 1 番組の同時録画
  - ・ビエラリンク(HDMI)を利用して「見ている番組を録画」を実行しているときは、新たに「見ている番組を録画」はできません。

記録の制限について

デジタル放送の録画とダビング

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限があります。

ブルーレイディスク
市販されているディスクはそのまま使用できます。

DVD
著作権保護技術を持ったCPRMに対応している必要があります。

パッケージに CPRM対応 の記載のあるDVDを準備してください。

（デジタル放送録画用と記載されている場合もあります）

■ コピー制限について

コピー制限のある番組を録画すると、録画先がHDDの場合は 10 または 1 を、ブルーレイディスクの場合は 1 を表示します。

10 ～ 1 はダビングの残り可能回数を表します。

DVDの場合は ✕ を表示し、ダビングや移動はできません。

1 の番組をダビングまたは転送すると、ダビング元の番組は消去されます。（複製はできません）

- 通常の番組･持ち出し番組ともにダビング元から消去されます。（BD-R 番組が消去されてもディスク残量は増えません）

録画内容が
消える

ダビング元　　ダビング先

- プロテクト設定(➜60)されている 1 の番組はダビングできません。

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp

番組内でアスペクト比が異なる番組の記録

以下の場合、「ビデオ方式の記録アスペクト」(➜132)を「オート」に設定していると、番組の開始時のアスペクト比で記録します。別のアスペクト比で記録したい場合、設定を変更してください。

- 「高速ダビング用録画」(➜132)が「入」のときに
  - ･外部入力、DV 入力から録画
  - ･ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）からHDD にダビング
- -R(V) -RW(V) へ記録するとき

ハイビジョン画質で記録時のアスペクト比

デジタル放送を「HG」、「HX」、「HE」、「HL」、「HM」、「HZ」モードで記録する場合、「デジタル放送の記録アスペクト」(➜133)の設定に従って記録されます。

- ハイビジョン画質の 16:9 映像は「4:3」にしても、16:9 映像として記録されます。

標準画質で放送されている番組の記録

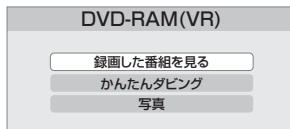
放送によっては、「DR」モードよりも他の録画モードで記録するほうが、記録容量が大きくなる場合があります。

HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -RW DVD-V AVCHD

録画した番組を再生する

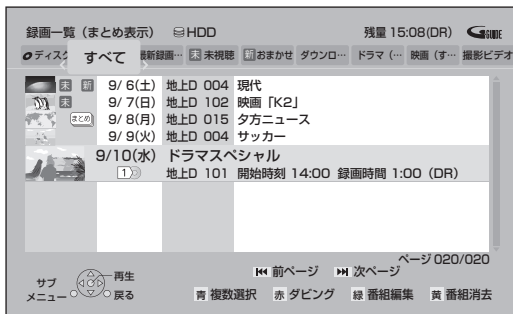
ディスクを再生する場合、ディスクを入れる。

例）RAM

DVD-RAM(VR)
録画した番組を見る
かんたんダビング
写真

上記画面が表示された場合、「録画した番組を見る」を選び、[決定]を押すと、下記の手順2に進むことができます。

1

を押す

2 番組を選び、(決定)を押す

●毎日・毎週予約した番組は、まとめ番組内に録画されます。
まとめ番組を選んで、[決定]を押すと、まとめ番組内の番組を表示できます。

市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

1 ディスクを入れる

●自動的に再生が始まります。
●再生が始まらない場合、[▶ 再生]を押してください。

2 メニュー画面が表示された場合
項目を選び、(決定)を押す

メニュー画面を表示させるには

BD-V 再生中: [サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中: [録画一覧]を押す

DVD-V [録画一覧]を押す
（[サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ）

ポップアップメニューを表示させるには

BD-V 再生中: [録画一覧]を押す

●停止中に[1]～[10]を押して、タイトルを再生できるディスクもあります。
DVD-V: 2けた入力 BD-V: 3けた入力

お知らせ

●表示マークについては ➜ ? 操作ガイド
● マークについて
HDD 別売のシンプルリモコン(DY-RM10)を使って録画や予約した番組に表示されます。
●録画一覧表示中に[赤]を押すと、かんたんダビング(➜68)を行うことができます。

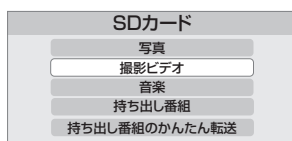
お知らせ

● BD-V 市販の映画などが記録された BD ビデオは、XP、SP、LP、EP、FR モードで録画中に再生することはできません。また、再生中に XP、SP、LP、EP、FR モードの予約録画が始まると再生を終了します。
●メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [■ 停止] を押して停止させてください。

撮影したハイビジョン動画(AVCHD)を再生する

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影したハイビジョン動画(AVCHD)を再生することができます。
●当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した 1080/60p(1920 × 1080/60 プログレッシブ)記録の番組を再生することもできます。

ディスクまたは SD カードを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録内容によって異なります)

例) SD

ディスクを入れた場合:
下記の手順 3 に進みます。

SD カードを入れた場合:
① 「撮影ビデオ」を選び、[決定] を押す
② 「AVCHD(ハイビジョン画質)を見る」を選び、[決定] を押す
●下記の手順 4 に進みます。

1 スタート **を押す**

2 **「ブルーレイ(BD)/DVD」または「SD カード」を選び、決定 を押す**

3 **「撮影ビデオ(AVCHD)を見る」を選び、決定 を押す**

4 **タイトルを選び、決定 を押す**

メニューが表示されないときは
[1] ~ [10] で3けた入力してタイトルを再生してください。

録画一覧について

HDD 表示される画像を変更することができます。**(➜62「サムネイル変更」)**
●録画後すぐは「準備中」と表示されます。(画像は電源切時に作成されます)
ディスクの場合、画像は表示されません。

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。また、お好みでマイラベルに分類すると、さらに番組を探しやすくなります。

ディスク		ディスク内の番組(ディスクが入っている場合のみ表示) ● BD-V DVD-V では表示されません。
HDD	すべて	すべての番組
	最新録画番組	最新の録画番組から順に 18 番組まで表示します。 ●表示は全番組表示になります。 ●再生中に録画が開始されると、録画一覧上の選択中の番組は変更されます。番組を消去するときはお気をつけください。
	未 未視聴	録画してまだ見ていない番組 ●再生後は、「 未 未視聴」から除外されます。
	新 おまかせ	「新番組おまかせ録画」**(➜33)**で録画された番組 ●再生後に表示される予約画面で「予約する」の操作を行うと、「 新 おまかせ」から除外されます。
	ダウンロード	ダウンロードした番組**(➜112)**
	ドラマ、映画などの「ジャンル」	録画した番組の番組情報をもとに、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。 ●番組によっては、正しく分類されない場合があります。
	マイラベル	「マイラベル設定」**(➜35、62)**で設定した番組のみを表示します。 ●マイラベルは 6 個準備されています。新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。**(➜50「分類ラベル設定」)**
	撮影ビデオ	ディスクやSDカード、USB機器から取り込まれたハイビジョン動画(AVCHD)**(➜82)**

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW

録画一覧上での便利な機能

録画一覧画面上で

❶ **番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す**

●「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベル(➜49)を選んでから ［ **サブ メニュー**］ を押してください。

❷ **項目を選び、（決定）を押す（➜ 下記へ）**

例）

項目	説明
先頭から再生 **つづきから再生** HDD	前回停止した位置から再生するか、最初から再生するか選ぶことができます。
番組消去	番組を消去すると、持ち出し番組も消去されます。(ダウンロードした番組を除く) **「消去」を選び、[決定] を押す**
内容確認	番組の内容が確認できます。 ☞ **画面を消すには** **[決定]** を押す
分類ラベル設定 HDD	録画一覧に表示するラベルを変更します。 ●「すべて」「撮影ビデオ」ラベルは変更できません。 分類ラベル設定 分類ラベルを変更します。 ラベルの分類を選択してください。 現在の設定　ダウンロード マイラベル ジャンル 最新録画番組 未　未視聴 新　おまかせ ダウンロード 決定　戻る **表示させたいラベルを選び、[決定] を押す** ●「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。 ●「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。 ① 設定するマイラベルを選び、**[決定]** を押す ② 「名称変更」を選び、**[決定]** を押す （ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください） ③ ラベル名を入力する (➜121)
視聴制限一時解除 HDD	「HDD 番組の視聴制限」(➜133)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
全番組表示へ **まとめ表示へ** HDD	表示を切り換えます。

まとめ 番組について

毎日·毎週予約した番組は、録画一覧画面で まとめ 番組として表示されます。

まとめ 番組の再生 HDD

■番組を選んで再生する

❶ まとめ 番組を選び、決定 を押す

❷ 再生する番組を選び、決定 を押す

■番組を連続して再生する（まとめ再生）

まとめ 番組を選び、再生 1.3倍速 を押す

- まとめ 番組内の番組を連続で再生します。
- まとめ 番組にダウンロードした番組が含まれる場合、まとめ再生はできません。

まとめ 番組の番組名について HDD

「まとめ表示」での番組名は、まとめ 番組内の最初の番組名が付きます。

「まとめ表示」での番組名を変更するには

変更したい まとめ 番組を選んで、「番組名編集」を行ってください。(➜60)

- 「すべて」ラベル選択時のみ編集できます。
- まとめ 番組名を変更しても番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集 HDD

- 「すべて」ラベル選択時のみ編集できます

❶ 番組を選び、青 を押す

- ☑ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

❷ すべて選んだあと、サブメニュー S を押す

❸ 項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1 つにまとめます。 **「まとめ番組の作成」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。 **「まとめ番組の解除」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組から除外	選んだ番組を、まとめ 番組から外します。 （まとめ番組一覧表示のとき） **「まとめ番組から除外」を選び、[決定] を押す**

再生中のいろいろな操作

停止

[■停止]を押す

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。

- HDD:番組ごとに止めた位置を記憶
- ディスク:前回止めた位置のみを記憶
  - ·記憶した位置は、トレイを開けると解除されます。
  - ·BD-V DVD-V ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

一時停止

[II一時停止]を押す

- もう一度押す、または[▶ 再生]を押すと、再生を再開します。

早送り·早戻し(サーチ)

[◀◀早戻し]または[▶▶早送り]を押す

押すごとに、または押し続けると速度が速くなります。(5 段階)

- [▶ 再生]で通常再生に戻ります。

スキップ

再生中または一時停止中に

[I◀◀スキップ]または[▶▶Iスキップ]を押す

押した回数だけ番組や場面を飛び越します。

- チャプターマーク(➜64)がある場合は、その場面に飛びます。
- HDD まとめ再生中(➜51)は、前後の番組も含めて飛び越します。

30 秒先へ飛び越す

[30秒送り]を押す

押すごとに、約30秒先へ飛び越して再生します。

- DVD-V 正しく働かない場合があります。

10 秒前へ戻す

[10秒戻し]を押す

押すごとに、約10秒前に戻して再生します。

- DVD-V 正しく働かない場合があります。

早見再生(1.3 倍速)

[▶再生 1.3倍速]を約 1 秒以上押す

通常よりも速い速度で再生します。

- もう一度[▶ 再生/1.3倍速]を押すと、通常再生に戻ります。
- 市販のBDビデオを3D再生中、または「1080/60p」の表示がある番組、-RW(ファイナライズ後も含む)ではできません。

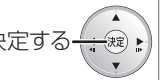
スロー再生

一時停止中に

[◀◀早戻し]または[▶▶早送り]を押す

押すごとに速度が速くなります。(5段階)

- [▶ 再生]で通常再生に戻ります。
- BD-V AVCHD 送り方向のみ働きます。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に

(左または右)を押す

押すごとに 1 コマずつ送り(戻し)ます。

- 押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。
- [▶ 再生]で通常再生に戻ります。
- BD-V AVCHD コマ戻しはできません。

時間を指定して飛び越す(タイムワープ)

❶ タイムワープ(ふた内部)を押す
❷ 飛び越し時間の表示中に、
[▲][▼]で飛び越す時間を設定し、(決定)を押す

●[▲][▼]を押すごとに1分ずつ(押し続けると10分ずつ)送り[▲]、戻し[▼]します。
● BD-V DVD-V AVCHD できません。

画面モードの切り換え

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。
操作方法(➜21)

音声の切り換え

音声切換(ふた内部)を押す

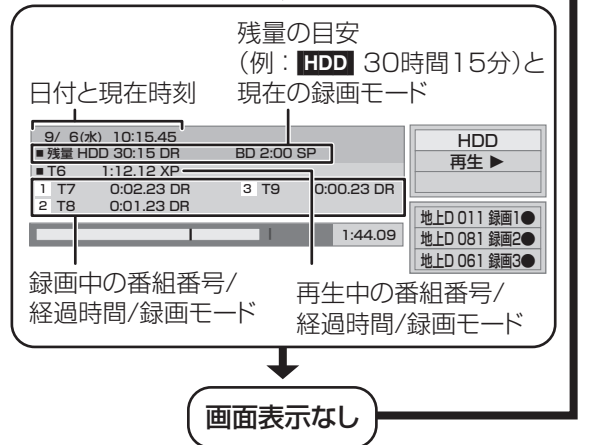
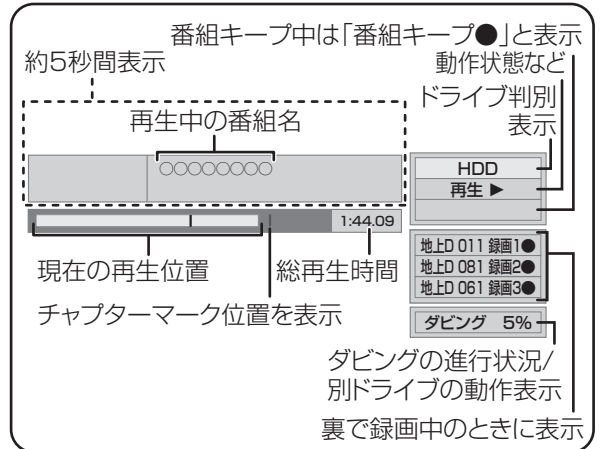
●押すごとに、番組の内容によって切り換わります。
● BD-V DVD-V ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。

操作の状態の表示

テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

画面表示 を押す

●押すごとに切り換わります。

例) HDD

残量表示について

放送信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。(DRモードは、特にそのばらつきが大きくなります)

再生

お知らせ
●ディスクや再生状態(停止中など)によっては、一部できない操作があります。

3D 映像を楽しむ

3D 対応テレビと HDMI ケーブルで接続すると、臨場感にあふれた、迫力ある 3D 映像をお楽しみいただけます。

●本機と 3D 対応のテレビを、HDMI ケーブルで接続する(➜ 準備編 4)
・テレビ側で必要な準備を行ってください。

※イラストはイメージ図です。

●表示される画面の指示に従って、再生を行ってください。

3D 再生に関する設定

必要に応じて下記の設定を行ってください。

3D ディスクの再生方法 BD-V	3Dディスクを2D(従来の映像)再生することもできます。(➜132)
3D 方式設定	3D 映像が正しく 3D 再生できない場合に、接続しているテレビの方式に合わせて設定を変更します。(➜136)
HDMI(SUB)出力モード DMR-BZT900	HDMI(MAIN) 端子にテレビ、HDMI(SUB) 端子にアンプを接続している場合、「音声専用」にしてください。(➜136) ●本体表示窓の"HDMI(SUB)音声専用"が点灯します。(➜135)
3D 再生時の注意表示	3D視聴の注意画面を表示しないようにすることができます。(➜136)
画面表示の飛び出し量 BD-V	再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。(➜58)

3D 映像を視聴するための便利な機能

❶ 視聴または再生中に サブメニュー S を押す

●表示されない場合、もう一度[サブ メニュー]を押してください。

❷「3D/2D 出力」を選び、決定 を押す

❸ 項目を選び、決定 を押す

出力方式	オリジナル	元の映像で表示します。
	サイドバイサイド	サイドバイサイド(2 画面構成)などの 3D 対応の放送の番組を3D映像で見ることができない場合に選択してください。 ●変更しても正しく表示されない場合は、「3D 方式設定」(➜136)とテレビ側の 3D 設定を確認してください。
	2D → 3D 変換	再生中の2D映像を擬似的に 3D 映像に出力します。
3D 画面モード(3D 奥行きコントローラー) ●3D再生中のみ	標準	標準的な3D効果で映像を再生します。
	弱	飛び出しすぎを抑えて、広がり感のある3D映像を楽しめます。 ●「2D → 3D 変換」時は選択できません。
	手動設定	3D映像の各種効果を設定します。 **奥行き** 映像の飛び出し量を設定します。 **スクリーンタイプ** 画面の見えかた(平面または曲面)を選択します。 **周辺ぼかし幅** 画面の縁のぼかし量を設定します。 **周辺ぼかし色** 画面の縁のぼかしの色を設定します。

お知らせ

●「3D 方式設定」(➜136)が「サイドバイサイド」の場合:
・テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。
・「画面表示の飛び出し量」(➜58)は設定できません。

●接続している機器によっては、再生中の映像が解像度などの変化のため、2D 映像に切り換わることがあります。接続している機器側の 3D 設定をご確認ください。

●3D 映像は、「HDMI 出力解像度」や「24p 出力」(➜136)の設定どおりに出力されない場合があります。

●3D 映像の再生開始時に、サイドバイサイド(2画面構成)で見えることがあります。

●3D映像と2D映像を連続で再生すると、先頭部分が二重に見えることがあります。

●以下の場合、「3D/2D出力」の設定が「出力方式」は「オリジナル」、「3D 画面モード」は「標準」に戻ります。
・他のチャンネルを選局
・番組の再生を始める、または終了する
・電源を切 / 入

● BD-V の3D再生や 3D 表示のある番組では、「出力方式」は「オリジナル」固定になります。

他の機器で作成したプレイリストの再生

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

1

を押す

2 「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定 を押す

3 「プレイリストを見る」を選び、決定 を押す

4 プレイリストを選び、決定 を押す

BD-Live、e-move対応のBDビデオや副映像のあるBDビデオを楽しむには

お楽しみいただける機能や操作方法などはディスクによって決められており、さまざまです。
ディスクに添付の説明やホームページをご覧いただきお楽しみください。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

BD-Live 対応ディスクでは、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざまな機能を楽しむことができます。
ほとんどのBD-Live対応ディスクでは、BD-Live機能を利用して再生するために、外部メモリー(ローカルストレージ)に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

- 本機ではローカルストレージに SD カードを利用します。SD カードが挿入されていない場合、BD-Live機能を利用できません。

❶ **ネットワーク接続と設定をする**
(➜ 準備編 14、準備編 26)
❷ **「BD-Live インターネット接続」(➜132)を「有効」または「有効(制限付き)」に設定する**
❸ **1 GB 以上の残量がある SD カードを入れる**
❹ **ディスクを入れる**

- SDカードに記録されたBDビデオのデータが不要になった場合は、「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。**(➜125、手順 4 で「BD ビデオデータ消去」を選んでください)**

お知らせ

- インターネットに接続してBD-Liveコンテンツを利用するには、アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。
- BD-Live 対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

e-move 対応ディスクから映像を持ち出す

e-move 対応ディスクでは、インターネットに接続して映像をモバイル機器に持ち出して楽しむことができます。

- e-moveの映像は、本機の持ち出し番組を再生できる機器で楽しめます 。**(➜103)**

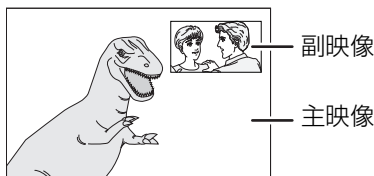
❶ **ネットワーク接続と設定をする**
(➜ 準備編 14、準備編 26)
❷ **「BD-Live インターネット接続」(➜132)を「有効」または「有効(制限付き)」に設定する**
❸ **SDカードを入れる または USB 機器 (携帯電話など)を接続する**
❹ **ディスクを入れる**
❺ **ディスクの手順に従って、映像を持ち出す**

お知らせ

- 持ち出した映像は、持ち出し番組一覧(**➜107**)で確認・消去することができます。
- ディスクによっては、映像を消去すると、再度映像の持ち出しができなくなる場合があります。
- 「BD ビデオデータ消去」(**➜125**)を行っても、映像は消去されません。

副映像のあるディスクを楽しむ

副映像のあるディスクでは、映画監督のコメントやサブストーリーなどの映像を、本編の再生と同時に楽しむことができます。

例)

- 副映像の音声を出力する場合、「BDビデオ副音声・操作音」(**➜134**)を「入」にしてください。

☞ **副映像が表示されないときは**
「信号切換」の「副映像」の「映像情報」と「音声情報」を「入」に設定してください。**(➜57)**

信号切換や再生方法の設定などをする

1 再生中に
再生設定（ふた内部）**を押す**

2 **メニューを選び、[▶] を押す**

例）DVD-V

ディスク	音声情報	1日 LPCM 48k 16b
再生	字幕情報	入 1日
映像	アングル	1
音声		

メニュー　設定項目　設定内容

3 **設定項目を選び、[▶] を押す**
●ディスクにより設定項目は異なります。

4 **設定を変更する**

お知らせ
●映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。

ディスク

映像情報 AVCHD
情報の表示のみ

音声情報
音声や言語の選択または音声属性の表示

信号切換
DR、HG、HX、HE、HL、HM、HZモードの番組は音声などを切り換えます。
「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。
[**決定**] を押して、さらに設定します。
- ▶ **マルチビュー**
- ▶ **映像**
- ▶ **音声**
- ▶ **二重音声**
- ▶ **字幕（オン / オフ）**
- ▶ **字幕言語（日本語 / 英語）**

BD-V
- ▶ **主映像**
  · **映像情報 / 音声情報**
- ▶ **副映像**
  · **映像情報（入 / 切）/ 音声情報（入 / 切）**

字幕情報
字幕表示の入 / 切や、言語の選択

音声チャンネル
音声（L/R）を切り換えます。

字幕スタイル
ディスクに記録された字幕スタイルを選びます。

アングル
アングルを選びます。

●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

信号切換や再生方法の設定などをする(つづき)

再生

リピート

(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ)
繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。

- ▶ **番組** :録画した番組全体を繰り返し再生
- ▶ **タイトル** :BD-V DVD-V AVCHD
  タイトル全体を繰り返し再生
- ▶ **チャプター** :再生中のチャプターを繰り返し再生
- ▶ **プレイリスト**:プレイリスト
- ▶ **全曲** :ディスク全体またはアルバムの全曲
- ▶ **1 曲** :選んだ曲のみ

ランダム(音楽再生時のみ)

●「入」にすると、順不同に再生します。

画面表示の飛び出し量

3D再生中の再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。

●「3D 方式設定」(➜136)が「サイドバイサイド」の場合は設定できません。

自動 CM 早送り

CMを自動的に飛ばして再生します。音声が下記の場合に働きます。

番組(タイトル) CM 番組(タイトル)
モノラル/二重 ステレオ モノラル/二重
再生 スキップ 再生

・録画内容によっては、正しく働かないことがあります。
例:上図の CM 部分が 5 分以上の場合など
・以下の場合は働きません。
- DR モードの番組
- 外部入力 /DV 入力 /i.LINK(TS)入力から録画した番組
- マルチ音声の番組

映像

画質選択

再生時の画質を選びます。

- ▶ **ノーマル** :標準
- ▶ **ソフト** :ざらつきの少ない柔らかな画質
- ▶ **ファイン** :輪郭の強調されたくっきりした画質
- ▶ **シネマ** :映画鑑賞向け
- ▶ **アニメ** :アニメ鑑賞向け
  「原画解像度」をさらに選びます。
  [BD-V またはハイビジョン放送(1080i)を DR、HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで記録した番組のみ]
  低解像度(720i/p、480i/p)の原画をハイビジョン(1080i)に変換したアニメ番組の場合、「標準」以外を選ぶと再生する画質が改善する場合があります。
  ・**標準**:1080i の場合
  ・**720i/p**
  ・**480i/p**
  ●設定によっては、再生する画質が劣化します。
  ●再生を停止した場合、「標準」に戻ります。
  ●「標準」以外にすると、字幕は表示されません。
- ▶ **ユーザー** :さらに画質を調整
  [▶] で「詳細画質設定」を選び、[決定] を押す
  ・**コントラスト**(白黒の強弱)
  ・**ブライトネス**(画面全体の明るさ)
  ・**シャープネス**(鮮やかさ)
  ・**カラー**(色の濃さ)
  ・**ガンマ**(暗くて見えにくい映像の輪郭)

アドバンスト設定

HD オプティマイザー

「入」にすると、動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。

リアルクロマプロセッサ DMR-BZT900

再生時に HDMI の色信号を高精度に処理することにより、高精細で質感豊かな映像を楽しむことができます。

ディテールクラリティ DMR-BZT900

くっきりとした映像にします。「1」～「3」の順に効果が大きくなります。

超解像アップコンバート

D 端子や HDMI 端子から 1080i/1080p で出力時、標準画質の映像をくっきりした鮮明な画質に補正します。「2」にすると、「1」よりさらに鮮明になります。

プログレッシブ

480p、1080p のプログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

●「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。

24p

[「24p 出力」(➜136)が「入」の場合のみ]

「入」にすると、DVD-V や録画した番組をより映画らしい動きで再生することができます。

(録画した番組は DMR-BZT900 のみ対応)

●設定の切り換え時に、映像が乱れる場合があります。

●以下の場合、設定は「切」に戻ります。

・DVD-V:　　ディスクを取り出した場合

・録画した番組:再生を停止した場合

音声

音質効果

真空管サウンド※ DMR-BZT900

真空管アンプに接続したときのような、暖かい音質を楽しめます。

リ.マスター※

デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。

(サンプリング周波数が48 kHz以下で記録された音声のみ)

ナイトサラウンド※

夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。

▶ **真空管サウンド６～１** DMR-BZT900

▶ **リ.マスター強**

▶ **リ.マスター標準**

▶ **ナイトサラウンド**

▶ **切**

●音声がひずむ場合、「切」にしてください。

●真空管サウンド、リ.マスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。

自動音量調整※

番組と CM、ディスクと放送など、コンテンツ間の音量差を自動で調整します。

●音声がひずむ場合、「切」にしてください。

シネマボイス※

センターチャンネルを含む３チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを2 倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

ハイクラリティサウンド DMR-BZT900

[「ハイクラリティサウンド」(➜134)が「有効」の場合のみ]

HDMI 端子から映像を出力している場合、音質に影響のあるアナログ映像信号をカットし、音質をよりクリアにします。

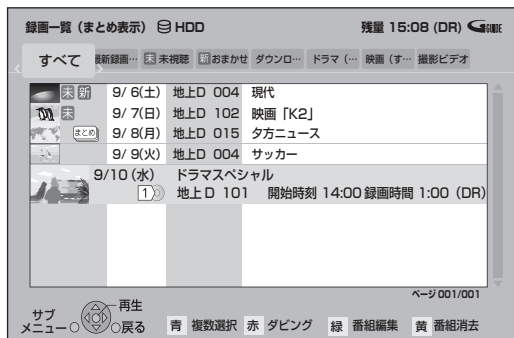
※ HDMI 出力やデジタル音声出力時には、「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。(➜134)(ただし、デジタル音声出力端子に接続時は、2 チャンネルの音声になります)

番組を編集する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW

(ファイナライズしたディスクや AVCHD では編集できません)

1 録画一覧 **を押す**

2 **番組を選び、** 緑 **を押す**

例) HDD

3 **項目を選び、** 決定 **を押す(➜右記へ)**

例) HDD

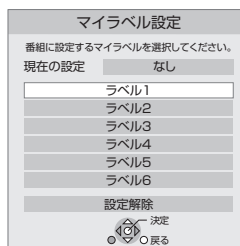
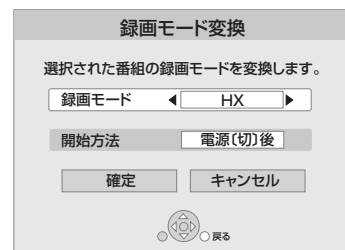
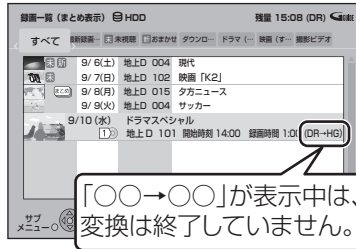
- 番組名編集
- プロテクト設定
- プロテクト解除
- 部分消去
- 番組結合
- 番組分割
- サムネイル変更
- マイラベル設定
- 録画モード変換
- 持ち出し番組の作成 (➜104)

番組名編集	文字入力 (➜121) **お知らせ** ● 新 表示の番組は変更できません。 ●番組名を変更すると、持ち出し番組の番組名も変更されます。 ● まとめ 番組の番組名を変更しても、まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。
プロテクト設定 / 解除	記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定ができます。 ● -R(V) -RW(V) できません。 **「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す** ●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。
部分消去	● -R(V) -RW(V) できません。 ① **[▶ 再生] を押して、再生を始める** ② **「開始点」を選び、消去する部分の開始点※で [決定] を押す** ③ **[▶ 再生] を押して、再生を始める** ④ **「終了点」を選び、消去する部分の終了点※で [決定] を押す** ●続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、[決定] を押す(➜手順 ② へ) ・20区間まで設定できます。 ・すでに設定した区間の変更はできなくなります。 ⑤ **「消去開始」を選び、[決定] を押す** ⑥ **「実行」を選び、[決定] を押す** ●部分消去した場面には、チャプターマークが作成されます。 ●部分消去すると、持ち出し番組は消去されます。

番組結合 HDD	HDD にある 2 つの番組を 1 つの番組に結合することができます。以下の番組同士を結合することができます。 ●DR モードの番組同士 ●HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードの番組同士 ●XP、SP、LP、EP、FR モードの番組同士 ●本機に取り込んだハイビジョン動画(AVCHD)同士 ●「1080/60p」の表示がある番組同士 ●本機に取り込んだMPEG2動画同士 ① **結合したい番組を選び、[決定]を押す** ② **「結合」を選び、[決定]を押す** お知らせ ●結合した番組は以下のようになります。 ・録画モード: 画質の高いほうの録画モード(ただし、画質は向上しません) ・ダビングの残り可能回数: 少ないほうの回数 ・番組名:最初に選択した番組名 ・チャプターマーク: 結合した位置に作成(結合してチャプターマーク数が999を超える場合、超えた分は削除されます) ・番組の結合部分: 映像や音声が途切れることがあります。 ・持ち出し番組は消去されます。 ● -R(V) -RW(V) 「高速ダビング用録画」(➜132)を「入」で録画した番組でも、以下の結合をすると高速ダビングできなくなる場合があります。 ・「切」で録画した番組との結合 ・16:9映像と4:3映像の番組同士との結合 ・録画モードが異なる番組や FR モードの番組との結合 ●以下の番組は結合できません。 ・ダウンロードした番組 ・録画時間の合計が 8 時間を超える場合 ・デジタル放送の番組とそれ以外の番組 ・本機で録画モード「DR」で録画した番組と i.LINK(TS)入力から記録した番組 ・スカパー! HD の番組 - 録画モード変換(➜62)を行うと、結合できるようになります。視聴制限のある番組を結合すると、厳しいほうの視聴制限になります。
番組分割	● -R(V) -RW(V) できません。 ① **「分割」を選び、分割する場面※で[決定]を押す** ●「プレビュー」を選び、[決定]を押すと、分割する場面を確認することができます。 **場面を選び直すには** ① 「分割」を選び、[▶ 再生]を押して再生を始める ② 分割する場面で、[決定]を押す ② **「終了」を選び、[決定]を押す** ③ **「分割」を選び、[決定]を押す** ●分割した番組は、まとめ 番組になります。 ●分割すると、持ち出し番組は消去されます。 ●分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。

※ **編集したい場面をうまく選ぶために**
① 早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜52、53)を使って、目的の部分を探す
② 編集したい場面で [❚❚ 一時停止] を押し、[◀❚❚] [❚❚▶] を押して場面を調整する

編集

サムネイル変更 HDD -R(V) -RW(V)	録画一覧やトップメニューで表示される画像(サムネイル)を変更します。 ● -R(V) -RW(V) サムネイルはファイナライズ後のトップメニュー画面で表示されます。 ① **[▶ 再生]を押して、再生を始める** ② **「変更」を選び、お好みの場面※で[決定]を押す** ☞ **場面を選び直すには** ① 「変更」を選び、[**▶再生**]を押して再生を始める ② お好みの場面で、[**決定**]を押す ③ **「終了」を選び、[決定]を押す**
マイラベル設定 HDD	録画した番組をお好みのラベルに分類することができ、番組を探すのに便利です。 ① **ラベルを選び、[決定]を押す** ② **「マイラベル設定」を選び、[決定]を押す** ●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 ●マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、[**決定**] を押してください。 ●マイラベル名は変更することができます。(➔ 50「分類ラベル設定」)

録画モード変換 HDD	**録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。** 録画モードを変換すると、HDD の容量をおさえることができます。 ① **録画モードを選ぶ** ② **「開始方法」を選び、開始方法を設定する** ●**すぐに**: 「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は録画や再生はできません。 ●**電源 [切] 後**: 電源切後、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。 ③ **「確定」を選び、[決定]を押す** ④ 「すぐに」開始する場合: **「開始」を選び、[決定]を押す** ☞ **変換を実行中に中止するには** **[戻る]** を 3 秒以上押す 「電源 [切] 後」開始する場合: **[決定]を押す** ☞ **変換の設定内容を変更・取り消しするには** ① **60 ページ**手順 **3** で「録画モード変換」を選ぶ ② 「設定変更」または「設定取消」を選び、[**決定**] を押す

録画モード変換 (つづき) HDD	☞ **変換が終了しているか確認するには** **お知らせ** ●変換前の録画モードより高画質な録画モードを選ぶことはできません。 ●録画モードが EP、FR モードの番組や HDD に取り込んだハイビジョン動画（AVCHD）では変換できません。 ●HDDの残量が少ない場合、変換できないことがあります。 ●番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。 ●複数の映像や音声などを含む番組をXP、SP、LP、EP モードに変換する場合、変換を開始する直前に「信号切換」(➜57)で記録したい音声を選んでください。

※ **編集したい場面をうまく選ぶために**

① 早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜52、53)を使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面で [❚❚ 一時停止] を押し、[◀❚❚] [❚❚▶] を押して場面を調整する

お知らせ

●「録画モード変換」が設定されている番組は、「番組分割」「番組結合」「プロテクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。

●持ち出し番組の作成が終了していない番組は、「番組分割」「番組結合」はできません。「持ち出し番組の作成」(➜104)の設定を取り消すと実行できます。

●ダウンロードした番組は、「プロテクト設定 / 解除」、「マイラベル設定」、「持ち出し番組の作成」のみできます。

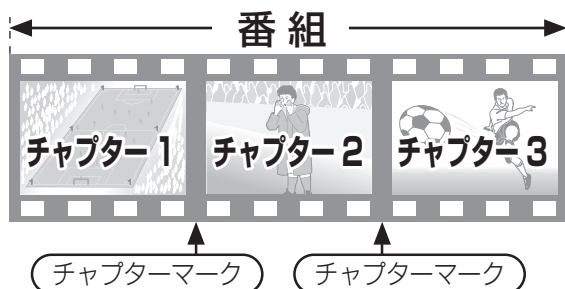
チャプターの作成・再生・編集

HDD（ダウンロードした番組ではできません）

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

（ファイナライズしたディスクでは再生のみできます）

チャプターとは

チャプターマークで区切られた区間のことです。
スキップ(➜52)すると、チャプターマークを作成した場面に飛ぶことができます。

チャプターの自動作成について

- 「自動チャプター」(➜133)を「入」にすると、デジタル放送の録画時に CM などの場面で自動的にチャプターマークを作成します。複数の番組を録画中でも作成します。
- 自動 CM 早送り(➜58)が働く場面にもチャプターマークが自動的に作成されます。（1 番組あたり最大 98 個）
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

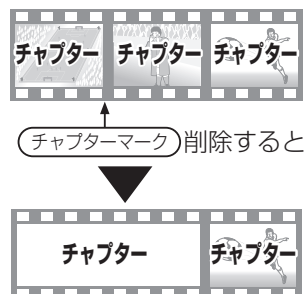
再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

[チャプターマーク]を押す

削除

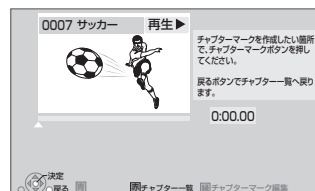
一時停止中に

❶ [⏮スキップ]または[⏭スキップ]を押して、削除したい場面に飛ぶ

❷ [チャプターマーク]を押す

❸ 「はい」 を選び、(決定)を押す

前後のチャプターが結合されます。

チャプター一覧からチャプターマークの作成や削除を行うこともできます。

① [録画一覧] を押す
② 番組を選び、[サブ メニュー] を押す
③ 「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す
④ [緑] を押す

⑤ 上記「作成」「削除」の手順を行う

お知らせ

- HDD チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能(➜52)や「サムネイル変更」(➜62)ができなくなります。

チャプターを再生・編集する

1 **を押す**

2 番組を選び、サブメニュー S を押す

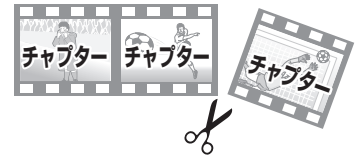
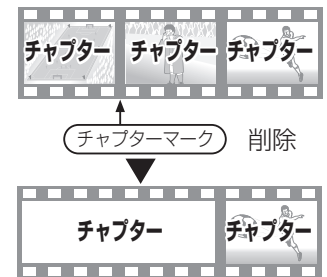
3 「チャプター一覧へ」を選び、決定 を押す

4 編集する：
チャプターを選び、サブメニュー S を押す
(➜ 手順 5 へ)

再生する：
チャプターを選び、決定 を押す

5 編集する項目を選び、決定 を押す
(➜ 右記へ)

チャプター消去
チャプター結合

チャプター消去	指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。（元に戻すことはできません） **「消去」を選び、[決定] を押す** ●チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。 ●持ち出し番組も消去されます。
チャプター結合	選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、1 つにつなぎます。 前後のチャプターが結合されます。 **「結合」を選び、[決定] を押す**

番組を消去する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

1 を押す

2 番組を選び、[黄] を押す

● [まとめ] 番組内の番組を消去する場合、**[黄]** を押す前に、**[決定]** を押して、[まとめ] 番組内の番組を表示してください。

3 「消去」を選び、(決定) を押す

お知らせ

● **HDD** 消去すると、持ち出し番組も消去されます。（ダウンロードした番組を除く）

● **消去後のディスク残量について**

・**HDD** **BD-RE** **RAM** **-RW(VR)**
消去すると、消去した分、残量が増えます。

・**-RW(V)**
最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。

消去しても残量は増えません			消去すると残量が増えます	
番組 1	番組 2	・・・	最後に記録した番組	残量

・**BD-R** **-R** 消去しても残量は増えません。

番組のダビングについて

本機には複数のダビング方法があります。
ダビング元やダビング先など用途に応じたダビング方法を行ってください。

DVDにデジタル放送をダビングする場合

のディスクをお使いください。

☞ 複数の音声や字幕情報を含んだ番組のダビングについて(➜75)

番組をダビングする

かんたんダビング

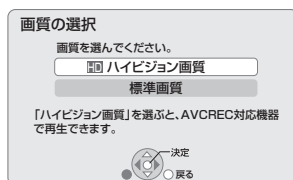
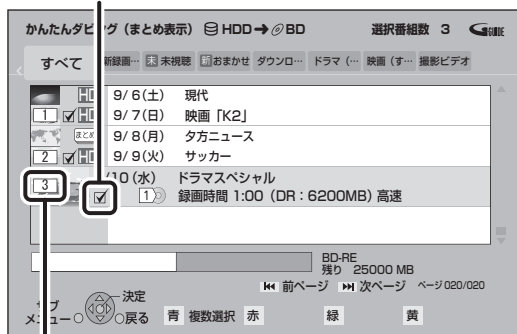
ダビング方向:

HDD ➡ **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

HDD にある番組をディスクにダビングします。

1 ディスクを入れる

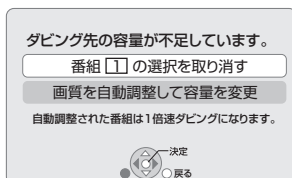
2 「かんたんダビング」を選び、(決定) を押す

- **RAM** **-R** 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。
  画質を選び、[決定] を押してください。

3 番号を選び、(決定) を押す

☑ が表示されます。

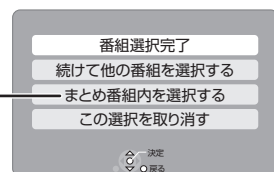
選んだ番組には番号が付けられ、選んだ順にダビングされます。

☞ 選んだ番組がディスク残量を超える場合

確認画面が表示されます。

例）

「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

4 「番組選択完了」を選び、(決定) を押す

手順3でまとめ番組を選んだときのみ表示

他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。(➜ 手順 3 へ)

5 「ダビング開始」を選び、(決定) を押す

- オプション設定について(➜69)

6 「はい」を選び、(決定) を押す

点灯

ダビングが終わると消灯 — DUB — 本体表示窓

新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットした後、ダビングを始めます。

☞ ダビングを実行中に中止するには

(戻る) を 3 秒以上押す

- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作(➜75)

お知らせ

- 「標準画質」で未フォーマットの **-R** **-RW** にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。
  - ・10 ～ 1 の番組が含まれている場合: VR 方式
  - ・10 ～ 1 の番組が含まれていない場合: ビデオ方式
- 1 回にダビングできる番組は 99 番組までです。(まとめ番組をダビングする場合、まとめ番組内の番組数が 99 番組を超えると、ダビングできません)
- プロテクト設定(➜60)されている 1 の番組はダビングできません。
- **表示マークについては ➜ (?) 操作ガイド**

かんたんダビングの画面の見かた

異なるラベルの番組を複数選んで
ダビングすることはできません。

ダビングする画質について

HD 表示のある番組:

- 以下のディスクにハイビジョン画質でダビングできます。

BD-RE **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)**

- 以下のディスクは標準画質でのダビングになります。

RAM(VR) **-R(VR)** **-R(V)** **-RW**

HD 表示のない番組:

- ディスクにかかわらず標準画質でのダビングになります。
- **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** にはダビングできません。

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面(➜68 手順 3)で

❶ **番組を選び、サブメニュー(S)を押す**

❷ **項目を選び、(決定) を押す（➜ 下記へ）**

内容確認	番組の内容が確認できます。
画質変更	☑が付いている番組のダビングする画質を変更できます。 ●選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定	**項目を選び、設定する** ●「ダビング終了後自動ファイナライズ」を「する」にすると、**-R** **-RW** へのダビング終了後に、ファイナライズを行います。
視聴制限一時解除※	「HDD番組の視聴制限」(➜133)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え※	表示順を変更します。 （全番組表示時のみ）
まとめ表示へ※ **全番組表示へ**※	表示を切り換えます。

※ 番組に ☑ が付いているときはできません。

番組をダビングする(つづき)

詳細ダビング

ダビング方向：

HDD ➡ HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) ➡ HDD

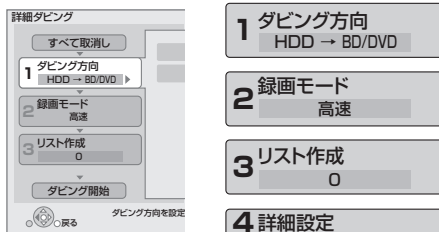
●ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜124)

1 **を押す**

2 「ダビングする」を選び、(決定) を押す

3 「詳細ダビング」を選び、(決定) を押す

4 項目を選び、[▶] を押す(➜ 右記へ)

●「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。

5 「ダビング開始」を選び、(決定) を押す

6 「はい」を選び、(決定) を押す

ダビングを実行中に中止するには

(戻る)を 3 秒以上押す

●ファイナライズ中は中止できません。

●中止時の動作(➜75)

お知らせ

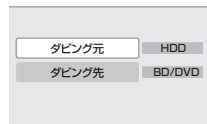
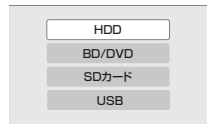
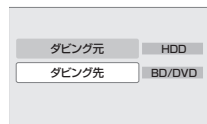
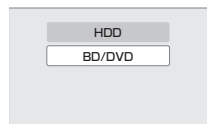
●当社製 DVD ビデオカメラで撮影した映像を HDD にダビングすると、撮影した日付単位で 1 番組になります。

ダビング方向

❶ **「ダビング元」を選び、(決定) を押す**

❷ **ダビング元を選び、(決定) を押す**

❸ **「ダビング先」を選び、(決定) を押す**

ダビング元 HDD
ダビング先 BD/DVD

❹ **ダビング先を選び、(決定) を押す**

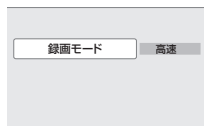
❺ **[◀] を押す(➜ 左記手順 4 へ)**

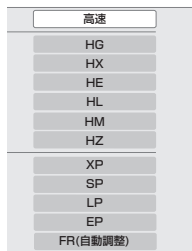
お知らせ

●ダビング先とダビング元を HDD にすると番組を複製することができます。(複製後は まとめ 番組になります)

・コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は 1 回減ります。(複製された番組のダビング残り可能回数は 1 回になります)

・ 1 表示のある番組、ダウンロードした番組の複製はできません。

録画モード

❶「録画モード」を選び、(決定) を押す

❷ 録画するモードを選び、(決定) を押す

❸ [◀] を押す（➜70 手順４へ）

お知らせ
- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
- ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。

リスト作成

❶「新規登録」を選び、(決定) を押す

❷ 番組を選び、[青] を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
- 挿入されているディスクにダビングできる番組のみ明るく表示します。

選択を取り消すには

番組を選び、[青] を押す

❸ すべてを選んだあと、(決定) を押す

❹ [◀] を押す（➜70 手順４へ）

お知らせ
- 高速モードで BD-RE BD-R にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。
- 高速モードで -R(V) -RW(V) にダビングする場合、 表示のある番組のみ登録できます。
- ダビングリスト容量について（ダビング先に記録される容量）
  - ・管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

詳細設定

（-R -RW へダビングするときのみ）

❶「ファイナライズ」を選び、(決定) を押す

❷「入」または「切」を選び、(決定) を押す

❸ [◀] を押す（➜70 手順４へ）

（BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) へHG、HX、HE、HL、HM、HZモードでダビングするときのみ）

複数の音声や字幕情報を含んだ番組の記録方式を設定できます。

❶「音声・字幕の記録」を選び、(決定) を押す

❷「モード 1」または「モード 2」を選び、(決定) を押す

- モード１：再生時に音声や字幕の切り換えができます。
- モード２：再生時に音声や字幕の切り換えはできません。ダビング前に「信号切換」(➜57)で記録する内容を設定してください。

❸ [◀] を押す（➜70 手順４へ）

お知らせ
- 「ファイナライズ」を「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ(➜127)を行います。記録や編集をすることはできなくなります。

詳細ダビング(つづき)

ダビングの便利な機能

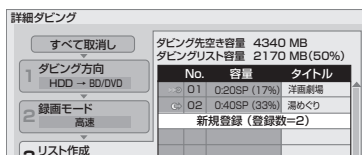
リスト作成画面(➜71「リスト作成」手順 ❷)で

❶ 番組を選び、[サブメニュー]を押す

❷ 項目を選び、(決定)を押す (➜ 下記へ)

内容確認※	番組の内容が確認できます。
視聴制限一時解除※ HDD	「HDD 番組の視聴制限」(➜133)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え※ HDD	表示順を変更します。(全番組表示時のみ)
まとめ表示へ※ **全番組表示へ**※ HDD	表示を切り換えます。

※ 番組に☑ が付いているときはできません。

リスト作成画面(➜71「リスト作成」手順 ❶)で

- 登録されたリストや設定を取り消す:
  「すべて取消し」を選び、[決定] を押す
- リスト項目を入れ替える:
  番組を選び、[決定] を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ
- リストの追加や消去、移動などの編集をする:
  [サブ メニュー] を押したあと、項目を選ぶ
  ・リスト全消去
  ・追加
  ・消去
  ・移動

ファイナライズ後のディスク(DVD ビデオ)をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

ダビング方向:

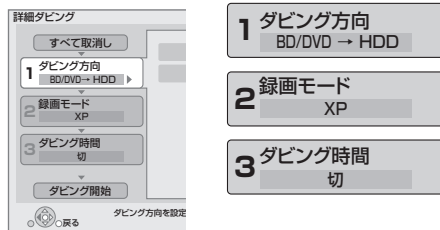
DVD-V (ファイナライズ後の -R(V) -RW(V)、+R、+R DL、+RW) ➜ HDD

1 [スタート] を押す

2 「ダビングする」を選び、(決定) を押す

3 「詳細ダビング」を選び、(決定) を押す

4 項目を選び、[▶] を押す

- 操作方法は「詳細ダビング」(➜70)をご覧ください。

以下のように設定してください。
・**「ダビング方向」**:「ダビング元」➜「BD/DVD」
・**「録画モード」** :「録画モード」を選ぶ
(「高 速」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HZ」「FR」は選べません)
・**「ダビング時間」**:ダビング時間を設定する(➜73)

5 「ダビング開始」を選び、(決定) を押す

6 「はい」を選び、(決定) を押す

- 最初に右記の画面がダビングされます。
- 番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。

7 ダビングしたい番組の再生を始める

トップメニューが表示された場合は

番組を選び、**[決定]** を押す

好みの番組を再生するには

① **[録画一覧]** を押す
② 番組を選び、**[決定]** を押す

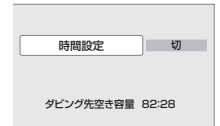
ディスクの再生が始まらない場合は

① **[▶ 再生]** を押す
② (トップメニューが表示されたら)
番組を選び、**[決定]** を押す

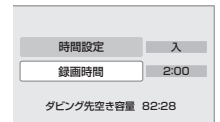
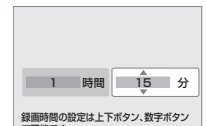
ダビングを実行中に中止 / 終了するには

戻る を 3 秒以上押す

ダビング時間

❶ **「時間設定」を選び、決定 を押す**

❷ **「入」または「切」を選び、決定 を押す**

●「切」にすると、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

❸ **「録画時間」を選び、決定 を押す**

❹ **"時間"または"分"を選び [▲][▼] で設定し、決定 を押す**

お知らせ

- **市販の DVD ビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。**
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- テレビ画面に表示される内容をそのまま記録するため、トップメニュー画面の操作も記録します。
- ダビング中、不要な番組などはスキップ(➜52)で飛び越すことができます。

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中にダビングすることができます。

●再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向：HDD ➔ BD-RE BD-R RAM -R -RW

●ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➔124)

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の音声や字幕情報を含んでいる番組の場合：

●RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) [音声切換]を押して記録したい音声を選び、「信号切換」(➔57)で字幕情報の設定をする

2 サブメニュー S を押す

●表示されない場合、もう一度[サブ メニュー]を押してください。

3 「再生中番組の保存」を選び、決定 を押す

4 「保存開始」を選び、決定 を押す

ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

●中止時の動作(➔75)

ダビング時の動作について

ダビング実行中、ダビングを中止したときの動作

例)番組 A·B·C の順にダビングして番組 C の途中で中止した場合

番組 A	番組 B	番組 C
ダビング完了	ダビング完了	中止

高速　番組 A·B のみダビングされます。
番組 C はダビングされません。

1 倍速　番組 A·B と番組 C の途中までがダビングされます。

ただし

- HDDからディスク、またはブルーレイディスクから HDD へのダビングで、番組 C がコピー制限のある番組
  - ·番組Cはダビングされず、ダビング元に残ります。
- HDD から -R(V) -RW(V) にダビング
  - ·HDD に一時的に複製中：番組A·B·Cはダビングされません。
  - ·DVD に高速ダビング中：番組 C はダビングされません。

BD-R -R ダビング速度に関係なく、番組Cの中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組 C がダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。

-R(V) -RW(V) に 1 倍速でダビングするときの動作

1 倍速で番組を HDD に一時的に複製したあと、ディスクに高速でダビングします。ダビング後、一時的に複製した HDD の番組は消去されます。
HDD の残量が少ないときは、ダビングできません。
HDDの不要な番組を消去(➜66)してからダビングしてください。

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数(➜167)を超えると、超えた分は保持されません。

「1080/60p」の表示がある番組のダビングについて

ダビング先のディスクにかかわらず、1 倍速ダビングになり、プログレッシブでは記録できません。

3D 対応の番組のダビングについて

以下の番組のダビングをした場合は、「出力方式」(➜55)を「サイドバイサイド」にして再生してください。

- 3D 表示のある番組を BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) に XP、SP、LP、EP、FR モードでダビング
- 3D 表示のない番組をダビング

複数の音声や字幕情報を含んだ番組のダビングについて

HDDに録画した番組をダビングする場合、音声や字幕情報は以下のようになります。

- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
  (高速、HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードでダビング時)
  複数の音声や字幕情報を記録できます。(再生時に切り換え可能)
- BD-RE BD-R (XP、SP、LP、EP、FRモードでダビング時)
  RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)
  複数の音声や字幕情報の記録はできません。(再生時に切り換え不可)
  ダビング前に記録したい音声や字幕の入 / 切を設定してください。
  ① ダビングしたい番組を再生し、以下の設定をする
  　·**[音声切換]**を押して記録したい音声を選ぶ
  　·「信号切換」(➜57)で字幕の設定をする
  ② ダビングする(1 倍速ダビングになります)
  字幕の設定を番組ごとに変更してダビングすることはできません。1 番組ずつダビングしてください。

お知らせ

- 他の機器でディスクを再生すると音声や字幕を切り換えられないことがあります。
  BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) 詳細ダビングの詳細設定(➜71)で、「音声·字幕の記録」を「モード 2」にしてディスクに 1 倍速ダビングすると、「信号切換」(➜57)で設定した内容で記録することができます。(ただし、音声の切り換えや字幕表示の入 / 切はできなくなります)

ダビング時の動作について(つづき)

ダビングする番組とディスクによりダビング速度は異なります。

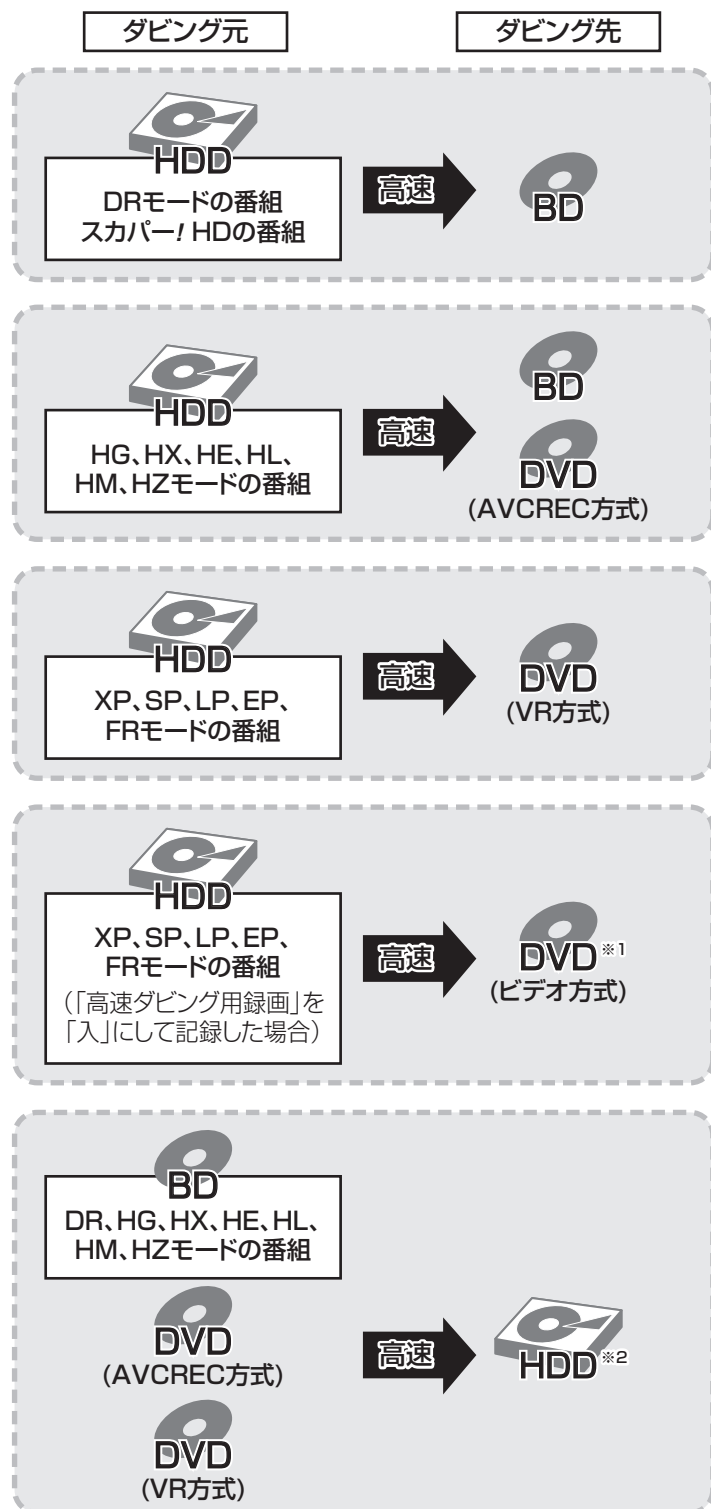
高速でダビングできる場合

ダビング元 / ダビング先

HDD
DRモードの番組
スカパー! HDの番組
高速 → BD

HDD
HG、HX、HE、HL、
HM、HZモードの番組
高速 → BD
DVD
(AVCREC方式)

HDD
XP、SP、LP、EP、
FRモードの番組
高速 → DVD
(VR方式)

HDD
XP、SP、LP、EP、
FRモードの番組
(「高速ダビング用録画」を
「入」にして記録した場合)
高速 → DVD※1
(ビデオ方式)

※1 デジタル放送の番組はダビングできません。

※2 デジタル放送の番組をダビングする場合
- ・DVD からはダビングできません。
- ・BDからは移動のみできます。
(ディスクの番組は消去されます。ただし BD-R はディスク残量は増えません)
- ・ファイナライズ後の BD-R からは移動できません。

- ●高速ダビングでの録画モードは、ダビングする番組と同じです。
- ●ディスク容量を超えてダビングする場合やディスクに記録した機器によっては、1 倍速ダビングになります。

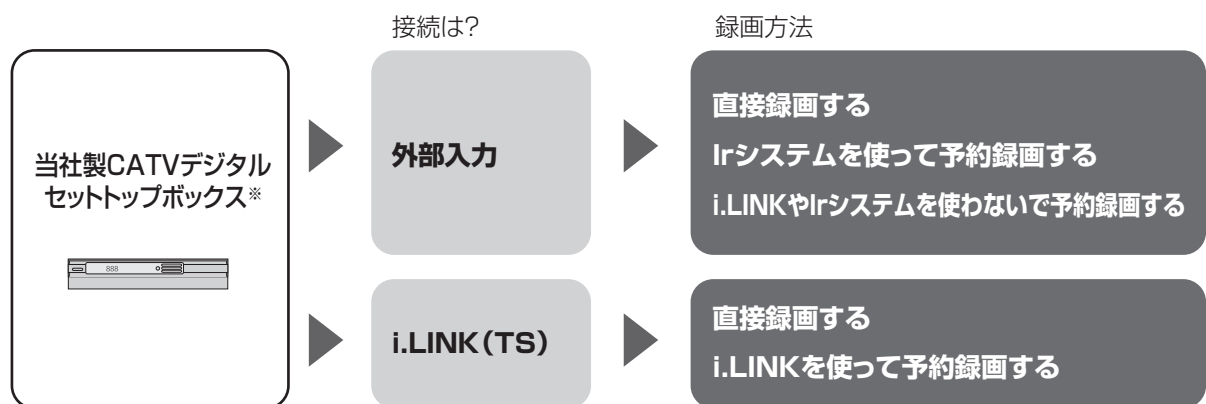
高速でダビングできない場合（1 倍速ダビングになる場合）

ダビング元　ダビング先

※ 3 ハイビジョン動画（AVCHD）のみダビングできます。

※ 4 デジタル放送の番組はダビングできません。

ダビング

CATV(ケーブルテレビ)から本機に録画する

※ i.LINK 端子からは録画できない機器もあります。接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

接続と設定

外部入力

●映像·音声コードで接続する(**➜ 準備編 9**)

i.LINK(TS)

●i.LINK ケーブルで接続する(**➜ 準備編 9**)

●**初期設定**で以下の設定をする

·「i.LINK 機器モード設定」:「TSモード2」(**➜137**)

·「i.LINK 端子切換」(**➜137**)

直接録画する

HDD

1 入力切換 (ふた内部)**を押して、CATV を接続した端子(「L1」など)を選び、CATV でチャンネルを選ぶ**

2 録画モード (ふた内部)**を押して、録画モード**(➜42)**を選ぶ**

●i.LINK(TS)入力の場合、録画モードは「DR」のみ選べます。

3 録画 (ふた内部)**を押す**

録画を止めるには

■停止 を押す

お知らせ

●S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。

●i.LINK 機器から予約録画や Ir システムで連動予約をする場合、以下のことにお気をつけください。

·他の操作を実行していると、予約録画が開始されない場合があります。予約の開始前には本機の電源を切ってください。

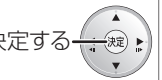
·録画中に本機の操作を行うと、中断する場合があります。録画中に本機の電源を切らないでください。

·番組の先頭部分が録画されないときがあります。

●CATV からコピー制限のある番組を録画する場合、「ダビング10」の番組でも「1 回だけ録画可能」な番組として録画されます。

お知らせ

●外部入力(L1)から録画中、DR モード以外の本機の予約録画が始まると、録画は中断します。

●i.LINK(TS)入力から録画中、本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画(**➜44**)できない場合は、録画が中断します。

Ir システムを使って予約録画する

●連動予約時: HDD
●タイマー予約時: HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)

1 CATV 側の設定をする

●「リモコン種別」の「DVD レコーダー(1～3)」を本機が動作する番号に合わせてください。

2 本機の設定をする

連動予約のとき

① [HDD] を押して、「HDD」を選ぶ
② [入力切換](ふた内部)を押して、接続した外部入力端子(「L1」)を選ぶ
③ [録画モード] を押して、録画モードを選ぶ(➜42)
④ 本機の電源を切る

タイマー予約のとき

●本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に “ACCEPT” が表示されます。
●本機の予約一覧に登録されますので、予約内容を確認してください。(➜37)

予約時刻になると、録画が実行されます。

お知らせ

●本機のリモコンモード(➜ **準備編 43**)または「他機器連携 (Ir システム)」(➜ **準備編 42**)は「リモコン 1」～「リモコン 3」に設定してください。
●本機動作中に予約を行うと正しく登録されない場合があります。
●お使いの機器によっては、タイマー予約ができない場合があります。
●**連動予約時のみ**
・本機の予約一覧には登録されません。
・本機のDRモード以外の予約録画が始まると、録画は中断します。
・ビエラリンク(HDMI)を使用している場合、「ビエラリンク録画待機」(➜136)を「入」にしてビエラのチャンネルを切り換えると、本機のチャンネルも自動的に切り換わるため、予約録画が正しく実行されないときがあります。設定を「切」にして予約してください。

i.LINK を使って予約録画する

HDD

1 CATV 側で i.LINK 設定と予約の設定をする

2 本機の電源を切る

お知らせ

●本機には「DR」で録画されます。
●本機の予約一覧には登録されません。
●番組名は最大 22 文字まで記録します。
●i.LINK(TS)入力から録画中、本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画(➜44)できない場合は、録画が中断します。

i.LINK や Ir システムを使わないで予約録画する

HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)

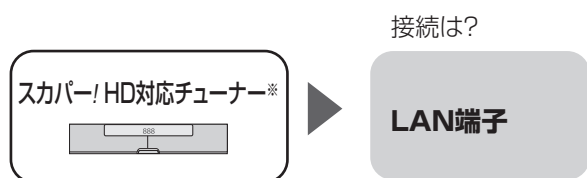
1 CATV 側で予約設定をする

2 本機の「時間指定予約」で予約する(➜36)

●「放送種別/チャンネル」は「外部入力L1」に設定してください。

スカパー! HD 対応のチューナーから本機に録画する

接続は?

スカパー! HD対応チューナー※ ▶ LAN端子

※ 外部入力から録画する場合は、「直接録画する」(➜78)の手順で録画してください。

接続と設定

LAN 端子

●ネットワーク接続と設定をする
(➜ 準備編 14、準備編 26)
スカパー! HD 録画の設定を変更する場合
(➜ 準備編 46)

ネットワークで接続すると、スカパー! HD対応のチューナーからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

●スカパー! HDについては、当社ホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/bd/network/hd_rec
(2010 年 12 月現在)

HDD

スカパー! HD対応のチューナーでネットワーク設定と予約の設定をする

●本機が録画先になるように設定してください。詳しくはスカパー! HD 対応のチューナーの説明書をご覧ください。

●本機の予約一覧に登録されますので、予約内容を確認してください。**(➜37)**
・「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。
・接続しているチューナーによって、または視聴制限のある番組の場合は、番組名が表示されないことがあります。

スカパー! HD録画中は、本体前面の"LAN録画" ランプが点灯します。

本体前面

録画を止めるには

■停止 を押す

●複数の番組を録画中のときは、"LAN" の表示のあるチャンネルを選んでください。

お知らせ

●スカパー! HDの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。
・本機の時刻が間違っている場合は、時刻を合わせてください。
(➜ 準備編 45「時刻合わせ」)
・予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。

●スカパー! HD の 2 番組は同時に録画することができません。

●スカパー! HDの番組を録画中は、市販のBDビデオやAVCHDのディスクを再生することはできません。

●予約登録後、本機側で「持ち出し番組の設定」(**➜34**)、「番組名入力」(**➜36**)、「マイラベル設定」(**➜35**)の設定ができます。
ただし、チューナー側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録するため、本機側で設定した内容は無効になります。

●録画中のスカパー! HDの番組を、本機で「予約実行切」にすると、再び「予約実行入」にすることはできません。

●予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。

●スカパー! HD の番組は、録画モードが表示されません。

●視聴制限のある番組は、録画一覧画面(**➜49**)やダビング画面(**➜68、71**)などで表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」を行うと、表示されるようになります。

●以下の場合、記録したスカパー! HD の番組は字幕表示の入/切または文字スーパーの記録ができません。
・接続しているチューナーが字幕データまたは文字スーパーの出力に対応していない場合
・標準画質の番組の場合
・1 倍速ダビングした場合
・他社製機器で記録した場合

ビデオカメラからダビングする

	接続は?	ダビング方法
当社製デジタル ハイビジョンビデオカメラ ハイビジョン動画(AVCHD)	**USB端子** または **SDカード・ディスク**	**ハイビジョン動画(AVCHD)を取り込む**
	外部入力 (標準画質になります)	**外部入力(L1)取込** **接続した機器を再生してダビングする**
当社製SDビデオカメラ MPEG2動画	**USB端子** または **SDカード**	**MPEG2動画を取り込む**
	外部入力	**外部入力(L1)取込** **接続した機器を再生してダビングする**
DV機器 DVテープなど	**i.LINK** **(DV入力)**	**DVおまかせ取込** **接続した機器を再生してダビングする**
	外部入力	**外部入力(L1)取込** **接続した機器を再生してダビングする**
その他の機器 VHSテープなど	**外部入力**	**外部入力(L1)取込** **接続した機器を再生してダビングする**

●対応する機器については、当社ホームページ(➜3)をご覧ください。

接続と設定

USB 端子

●接続する(➜146)

SD カード・ディスク

●挿入する(➜13)

外部入力

●ビデオと接続する(➜ **準備編** 19)

i.LINK(DV 入力)

●i.LINK ケーブルで接続する(➜ **準備編** 9)

●**初期設定**で以下の設定をする

・「DV 入力時の音声設定」:記録する音声の種類を選ぶ(➜134)

・「i.LINK 機器モード設定」:「DV モード」(➜137)

・「i.LINK 端子切換」(➜137)

ビデオカメラからダビングする(つづき)

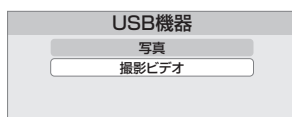
ハイビジョン動画(AVCHD)を取り込む

USB　SDカード　ディスク

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影したハイビジョン動画(AVCHD)を取り込むことができます。

- ディスクは HDD に、USB 機器または SD カードは HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) に取り込むことができます。
- 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した 1080/60p(1920 × 1080/60 プログレッシブ)記録の番組(「1080/60p」の表示がある番組)は HDD にのみ取り込むことができます。

USB 機器を接続する(➜146)またはディスク、SD カードを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録内容によって異なります)

例) USB

USB機器
写真
撮影ビデオ

ディスクの場合:

- 右記の手順 3 に進みます。

USB 機器または SD カードの場合:

① 「撮影ビデオ」を選び、[決定] を押す
② 「AVCHD(ハイビジョン画質)を取り込む」を選び、[決定] を押す

- 右記の手順 4 に進みます。

1 (スタート) **を押す**

2 ディスクから取り込む場合:
「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、(決定)を押す

USB から取り込む場合:
❶ **「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す**
❷ **「USB 機器」を選び、(決定)を押す**
❸ **「撮影ビデオ」を選び、(決定)を押す**
❹ **「AVCHD(ハイビジョン画質)を取り込む」を選び、(決定)を押す**
- 手順 4 へ

SD から取り込む場合:
「SD カード」を選び、(決定)を押す

3 **「撮影ビデオ(AVCHD)を取込」を選び、(決定)を押す**

4 USB SD から取り込む場合:
「HDD へ取込」または「BD/DVD へ取込」を選び、(決定)を押す

5 **タイトルを選び、(青)を押す**
- ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには
タイトルを選び、[青] を押す

6 **すべてを選んだあと、(決定)を押す**

7 **「ダビング開始」を選び、(決定)を押す**
- 新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

MPEG2 動画を取り込む（ダビング）

USB　SDカード

当社製 SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画をダビングします。

- USB 機器または SD カードから HDD RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) にダビングできます。
- ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜124)

1 USB 機器を接続する または SD カードを入れる

USB 機器を接続するには(➜146)

2 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

例) USB

USB機器
写真
撮影ビデオ

3 「MPEG2（標準画質）を取り込む」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、[▶] を押す

- 操作方法は「詳細ダビング」(➜70)をご覧ください。
  以下のように設定されているかご確認ください。
  ・「ダビング方向」:「ダビング元」➜「USB」
  　　　　　　　　　　　または「SD カード」

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 1 つのタイトルに 99 シーンを超えて記録されている場合 99 シーンごとに分けて取り込みます。
- 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した場合、日付単位でタイトルとして表示されます。ただし、撮影状態によっては、同じ日に撮影されたシーンでも、別々のタイトル（日付に「-1」、「-2」などを表示）となる場合があります。詳しくは、撮影した機器の取扱説明書をご覧ください。
- 撮影した機器によっては、取り込み後に撮影日時が表示されない場合があります。

お知らせ

- ダビングすると、撮影した日付単位で 1 番組になります。
- USB 機器や SD カードにある MPEG2 動画をそのまま本機で再生することはできません。
- ダビング中は、録画や再生はできません。
- BD-RE、BD-Rには直接ダビングできません。いったんHDDにダビングしてから、ディスクにダビングしてください。

ビデオカメラからダビングする(つづき)

接続した機器を再生してダビングする

外部入力 i.LINK(DV入力)

HDD

1 入力切換(ふた内部)**を押して、外部機器を接続した端子(L1、DV)を選ぶ**

2 録画モード(ふた内部)**を押して、録画モード(➔42)を選ぶ**

- 「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HZ」「FR」は選べません。

3 **接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、** 録画(ふた内部)**を押す**

☞ 録画を一時停止するには

❚❚一時停止 を押す

- もう一度押すと、録画を再開します。

☞ 録画を止めるには

■停止 を押す

外部入力(L1)取込

外部入力

BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V)

- 外部入力(L1)端子に接続したときのみ

1 スタート **を押す**

2 **「その他の機能へ」を選び、** 決定 **を押す**

3 **「ぴったり録画」を選び、** 決定 **を押す**

4 **「ディスクに録画」を選び、** 決定 **を押す**

5 **"時間"または"分"を選び、録画時間を設定する**

6 **接続した機器で再生を始め、「録画開始」を選び、** 決定 **を押す**

- FR モードで録画します。

☞ 録画の残り時間を確認するには

画面表示 を押す

☞ 録画を一時停止するには

❚❚一時停止 を押す

- もう一度押すと、録画を再開します。

☞ 録画を止めるには

■停止 を押す

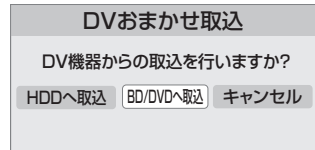
DV おまかせ取込

i.LINK(DV入力)

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM(VR)** **-R(VR)** **-R(V)** **-RW(VR)** **-RW(V)**

●i.LINK(DV 入力 /TS)端子に接続したときのみ

1 接続した機器の電源を入れ、機器側でダビング開始点を探し、一時停止しておく

DVおまかせ取込		
DV機器からの取込を行いますか?		
HDDへ取込	BD/DVDへ取込	キャンセル

2 「HDD へ取込」または「BD/DVD へ取込」を選び、(決定) を押す

3 録画モード(ふた内部)を押して、録画モード(➜42)を選ぶ

●「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HZ」「FR」は選べません。

4 「録画開始」を選び、(決定) を押す

録画を止めるには

[■停止] を押す

お知らせ

●日付や時刻情報は記録されません。
●DV 機器のモデル名は、正しく表示されない場合があります。

お知らせ

●i.LINK(DV 入力 /TS)経由で、接続した機器から本機を操作することはできません。
●i.LINK(DV入力/TS)経由で本機に接続できるDV機器は、1 台のみです。
●DV 機器によっては、映像や音声が正しくダビングされない場合があります。
●「外部入力(L1)取込」中または DV 入力からダビング中は
・予約録画が始まると、ダビングを中断します。
・追っかけ再生、同時録画再生、放送 / 入力切換はできません。
●**-R** 記録や編集を約 30 回行うと、そのディスクは記録できなくなる場合があります。
●**-R(V)** **-RW(V)** 「外部入力(L1)取込」または「DV おまかせ取込」後にファイナライズ(**➜127**)を行うと、自動的に約 5 分ごとのチャプターを作成します。
●片面 2 層の **-R(V)** は、外部入力(L1)取込や DV おまかせ取込はできません。

他の機器と

レコーダー・ビデオデッキ・ビエラからダビングする

※ 1　PZR900 シリーズの場合、i.LINK(TS)または外部入力を使ってダビングしてください。

※ 2　i.LINK(TS)、LAN 端子でダビングするかは機器によって異なります。

接続と設定

i.LINK(TS)

●i.LINK ケーブルで接続する(➜ **準備編 9**)

●「i.LINK機器モード設定」を設定する(➜**137**)

・HDD 内蔵 CATV デジタルセットトップボックスと接続:「TS モード 2」
(当社製 CATV デジタルセットトップボックスの中には、「TS モード 1」に設定する機器もあります。
詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください)

・それ以外と接続:「TS モード 1」

●「i.LINK 端子切換」(➜**137**)

●接続機器側の i.LINK(TS)の設定をする

外部入力

●ビデオと接続する(➜ **準備編 19**)

LAN 端子

●ネットワーク接続と設定をする(➜ **準備編 14、準備編 26**)
お部屋ジャンプリンク(DLNA)の設定を変更する場合(➜ **準備編 46**)

i.LINK(TS)を使ってダビングする

HDD に録画モード「DR」で録画した番組を、ハイビジョン画質のままダビングすることや、接続した機器から HDD へダビングすることができます。

- 本機は、i.LINK(TS)に対応した当社製のブルーレイディスクレコーダー、DVD レコーダー、D-VHS ビデオカセットレコーダー、HDD ビデオレコーダー、HDD 内蔵 CATV デジタルセットトップボックスとの動作のみ保証しています。(2010 年 12 月現在)

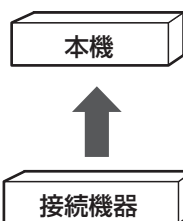
お知らせ

- S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。
- 本機から i.LINK 対応機器の再生などの操作はできません。
- i.LINK(TS)経由で本機に接続できる i.LINK(TS)機器は、1 台のみです。

レコーダーなどから本機へダビングする

ダビングできる当社製機器:
ブルーレイディスクレコーダー
DVD レコーダー
HDD内蔵CATVデジタルセット
トップボックスなど

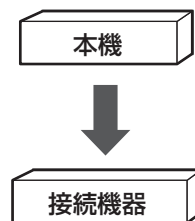
本機

接続機器

ダビング方法など、詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

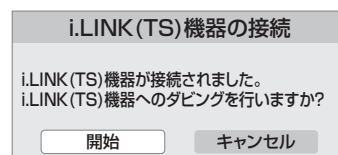
- 接続した機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- 録画モードは「DR」でダビングします。
- 本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画(➜44)できない場合は、ダビングは中止されます。

本機からレコーダーなどへダビングする

i.LINK(TS)ダビング

- HDD のDRモードの番組のみダビングできます。

1 接続した i.LINK(TS)機器の電源を入れる

2 「開始」を選び、(決定) を押す

- ダビング元になる側で操作します。

下記操作で開始することもできます。
① [スタート] を押す
② 「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す
③ 「i.LINK(TS)ダビング」を選び、[決定] を押す

3 番組を選び、(青) を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには
タイトルを選び、[青] を押す

4 すべてを選んだあと、(決定) を押す

5 「ダビング開始」を選び、(決定) を押す

- ダビングは、1 倍速になります。

お知らせ

- 1 の表示がある番組は以下のようになります。
  - ・ダビングすると、HDD から消去されます。
  - ・ダビングを中止すると、中止した位置までの内容はHDDから消去されます。
- 10 ～ 2 の表示がある番組は以下のようになります。
  - ・ダビング先では「1 回だけ録画可能」の番組になります。
  - ・ダビングを中止してもダビングできる残り回数は減ります。
- 接続した機器が、録画や再生中や確認画面が表示されているときはダビングできない場合があります。

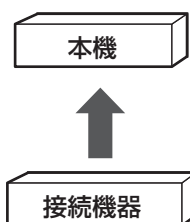
レコーダー・ビデオデッキ・ビエラからダビングする(つづき)

D-VHS などから本機へダビングする

● HDD にダビングできます。

ダビングできる機器:

D-VHS ビデオ

HDD ビデオレコーダーなど

1 入力切換(ふた内部)**を押して、「i.LINK(TS)」を選ぶ**

2 **接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、**録画(ふた内部)**を押す**

ダビングを実行中に中止するには

■停止 を押す

●接続した機器の再生も停止してください。

外部入力を使ってダビングする

HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V)

● HDD **にダビングする場合:**
「接続した機器を再生してダビングする」(➜84)

●**ディスクにダビングする場合:**
「外部入力(L1)取込」(➜84)

ネットワークを使ってダビングする

HDD

HDD 内蔵のビエラや当社製 CATV デジタルセットトップボックスとネットワーク接続すると、ビエラやセットトップボックスの HDD に録画した番組を本機の HDD にダビングすることができます。

●ネットワークを使ってダビングできる機器については、当社ホームページ(➜3)をご覧ください。

●ネットワーク接続と設定をする
(➜ 準備編 14、準備編 26)
お部屋ジャンプリンク(DLNA)の設定を変更する場合
(➜ 準備編 46)

ダビングの操作方法は接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

● コピー制限のある番組はダビングできません。

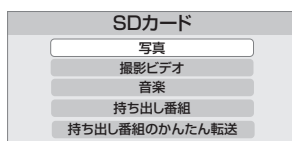
● 本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画(➜44)できない場合は、ダビングは中止されます。

写真を再生する

基本操作　選び→決定する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW CD SD USB
+R、+R DL、+RW

- CD USB 写真を記録したCD-R、CD-RWや当社製デジタルカメラなどのUSB機器が再生できます。
- 本機では、フルHD対応の3DテレビとHDMIケーブルで接続している場合、3D対応のデジタルカメラで撮影した写真（MPO）の3D再生をお楽しみいただけます。

ディスク、SDカードを入れるまたはUSB機器を接続（➜146）すると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録内容によって異なります）

例）SD

「写真」を選び、[決定]を押す
- 下記の手順3に進みます。

1 スタート **を押す**

HDD 手順3へ

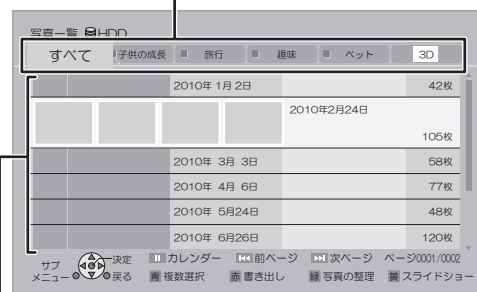
2 BD-RE BD-R RAM -R -RW CD +R、+R DL、+RW
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定を押す

SD
「SDカード」を選び、決定を押す

USB
❶「その他の機能へ」を選び、決定を押す
❷「USB機器」を選び、決定を押す
❸「写真」を選び、決定を押す

3 「写真を見る」を選び、決定を押す

4 イベント（日付またはフォルダ）を選び、決定を押す

例）HDD
ラベル
- ▇の付いたラベル：アルバム
  ・イベントをお好みでアルバムに入れておくと、さらに写真を探しやすくなります。（➜91）
- 3D ラベル：
  取り込んだ3D写真（MPO）が自動で分類されています。3D再生する場合はこのラベルから選んでください。（他のラベルからは2D再生になります）

イベント
- HDDに取り込まれた写真（➜92）は、撮影日ごとにイベントとして管理されます。

5 写真を選び、決定を押す

再生を止めるには
■停止 を押す
- 止めた写真の位置を一時的に記憶します。

前後の写真を見るには
[◀][▶]を押す

写真の情報を表示するには
画面表示 を押す

スライドショーを見るには
▶再生 1.3倍速 を押す

お知らせ
- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯（グレー帯）が表示される場合があります。
- HDD以外のメディアの写真は、フォルダごとに表示します。「¥...¥」はフォルダの階層を表します。
- ☒ の表示になっている写真は、本機では再生できません。

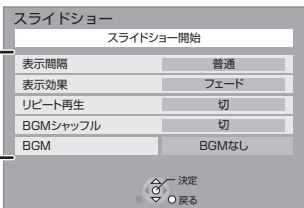
他の機器と 写真／音楽

写真を再生する(つづき)

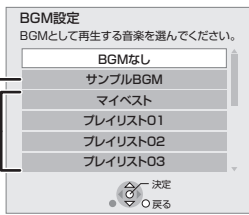
写真再生のいろいろな機能

写真一覧表示中または写真再生中に操作します。

1 サブメニュー Ⓢ **を押す**

●表示されない場合、もう一度[**サブ メニュー**]を押してください。

2 **項目を選び、(決定)を押す**

写真一覧表示中

スライドショー	写真を連続して再生することができます。 **「スライドショー開始」を選び、[決定]を押す** 例) スライドショー スライドショー開始 表示間隔 普通 表示効果 フェード リピート再生 切 BGMシャッフル 切 BGM BGMなし 決定 戻る 開始前に、スライドショーの内容を設定できます。(➜ **右記**) **スライドショーを終了するには** [**戻る**] を押す
スライドショー(つづき)	**表示間隔** 画素数が大きい写真は、設定を変更しても、短くならない場合があります。 **表示効果** 写真の表示方法を設定します。 ●「フェード」「ランダム」「モーション」「ウェーブ」が選べます。 (3D 写真再生時を除く) **リピート再生** 再生を繰り返します。 **BGM シャッフル** BGM を順不同に再生します。 (3D 写真再生時を除く) **BGM** スライドショー再生中、HDD 内の音楽のみBGMとして流すことができます。 (3D 写真再生時を除く)
カレンダー HDD	カレンダー表示に切り換えます。撮影した月からイベントを探すことができます。

写真再生中

スライドショー開始	スライドショーを開始します。
画面モード切換	画面モードを切り換えます。 (➜21) ●3D写真再生時は効果がありません。
画面表示	再生中の写真の情報を表示します。
右 90° 回転 **左 90° 回転**	写真を回転します。
画面表示の飛び出し量	3D 写真再生中の画面表示などの飛び出し量を変更することができます。

写真の整理をする

基本操作 選び [▲▼◀▶] ➡ 決定する [決定]

HDD BD-RE RAM SD

1 [スタート] **を押す**

HDD 手順3へ

2 BD-RE RAM

「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、[決定] を押す

SD

「SD カード」を選び、[決定] を押す

3 **「写真を見る」を選び、[決定] を押す**

4 イベント単位で管理する場合:

イベントを選び、[サブメニュー] を押す(➜ 手順 6 へ)

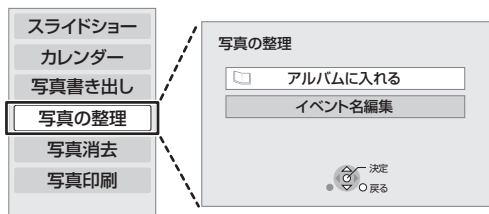
写真単位で管理する場合:

イベントを選び、[決定] を押す

- 「イベントをまとめる」ときは、**[青]** を押してイベントを選択したあと、**[サブ メニュー]** を押してください。

5 **写真を選び、[サブメニュー] を押す**

6 **項目を選び、[決定] を押す(➜ 右記へ)**

例) HDD 「すべて」表示時

アルバムに入れる HDD ●「すべて」表示時のみ	イベントまたは写真を既存のアルバムに登録します。 **登録するアルバムを選び、[決定] を押す**
イベント名編集	イベント名を編集します。 ☞ **文字入力については(➜121)**
イベントをまとめる HDD ●アルバム表示時のみ	選択した2つ以上のイベントを、1つのイベントにまとめることができます。 **「はい」を選び、[決定] を押す**
アルバムから除外 HDD ●アルバム表示時のみ	選択したイベントや写真をアルバムから外します。 **「アルバムから除外」を選び、[決定] を押す**
アルバム名編集 HDD ●アルバム表示時のみ	選択中のアルバムのアルバム名を編集します。 ☞ **文字入力については(➜121)**
写真消去 ●「すべて」「フォルダ」表示時のみ	イベントまたは写真を消去します。 **「消去」を選び、[決定] を押す**
プロテクト設定 / 解除 BD-RE RAM SD	**「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す** ●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。

お知らせ

- HDD内のすべての写真を一度に消去する場合は、「全写真消去」(➜133)を行ってください。

写真／音楽

写真を取り込む / 書き出す

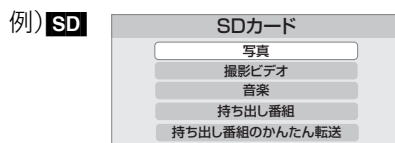
写真を取り込む

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **SD** **USB**
+R、+R DL、+RW ➡ **HDD**

写真かんたん取込

取り込んだ写真の履歴をHDDに保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された写真のみを取り込みます。

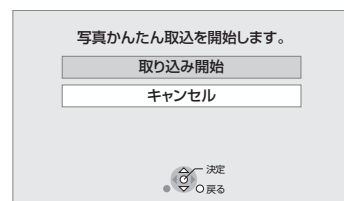
ディスクや SD カードを入れるまたは USB 機器を接続(➜146)すると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録されている内容によって異なります)

例) **SD**

① 「写真」を選び、[**決定**] を押す
② 「写真を取り込む」を選び、[**決定**] を押す
●右記の手順 4 に進みます。

1 **(スタート) を押す**

2 ディスクから取り込む場合:
「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、(決定) を押す
SD から取り込む場合:
「SD カード」を選び、(決定) を押す
USB から取り込む場合:
❶ **「その他の機能へ」を選び、(決定) を押す**
❷ **「USB 機器」を選び、(決定) を押す**
❸ **「写真」を選び、(決定) を押す**
❹ **「写真を取り込む」を選び、(決定) を押す**
●右記手順 4 へ

3 **「写真かんたん取込」を選び、(決定) を押す**

4 **「取り込み開始」を選び、(決定) を押す**

5 **取り込み終了後、「HDD の写真一覧を見る」または「テレビ視聴画面へ」を選び、(決定) を押す**

お知らせ

- 写真の履歴保持は、「HDDのフォーマット」(➜133)や「全写真消去」(➜133)を行うと、削除されます。
- 同じ写真を取り込みたい場合や写真単位で取り込みたい場合は、「写真一覧から取り込む」(➜93)を行ってください。
- 取り込んだ写真は、撮影日ごとにイベントとして管理されます。
- イベント名は取り込まれません。

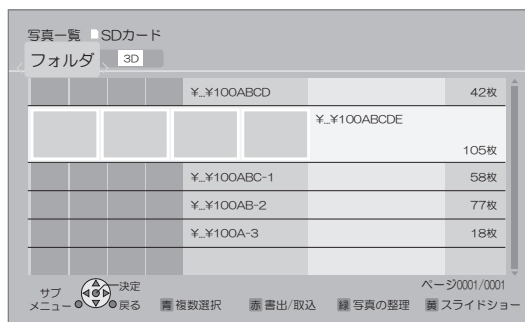
写真一覧から取り込む

1 スタート **を押す**

2 ディスクから取り込む場合:
「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定を押す
SD から取り込む場合:
「SD カード」を選び、決定を押す
USB から取り込む場合:
❶ **「その他の機能へ」を選び、決定を押す**
❷ **「USB 機器」を選び、決定を押す**
❸ **「写真」を選び、決定を押す**

3 **「写真を見る」を選び、決定を押す**

4 **イベントまたは写真を選び、青を押す**
- 選んだイベント、写真には ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

例) SD

5 **すべてを選んだあと、赤を押す**

6 **「HDD へ取り込む」を選び、決定を押す**

7 **「アルバムに入れる」または「アルバムに入れない」を選び、決定を押す**
- 「アルバムに入れる」を選んだ場合、取り込み先のアルバムを選んでください。
- 「アルバムに入れる」を選んだ場合のみイベント名を取り込みます。

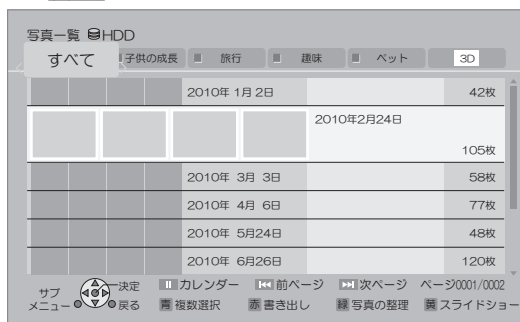
8 **「取り込み開始」を選び、決定を押す**

写真を書き出す

HDD ➡ BD-RE RAM SD
BD-RE BD-R RAM -R -RW CD +R、+R DL、+RW ➡ SD
SD USB ➡ BD-RE RAM

89 ページ手順 1 〜 3 のあと

4 **イベントまたは写真を選び、青を押す**
選んだイベント、写真には ☑ が表示されます。
操作を繰り返します。

例) HDD

5 **すべてを選んだあと、赤を押す**

6 ディスクに書き出す場合:
「ブルーレイ(BD)/DVD へ書き出す」を選び、決定を押す
SD に書き出す場合:
「SD カードへ書き出す」を選び、決定を押す

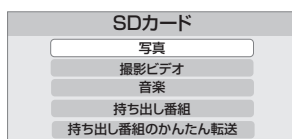
7 **「書き出し開始」を選び、決定を押す**

写真を印刷する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW CD SD USB
+R、+R DL、+RW

ネットワークに接続されたネットTV端末仕様(印刷機能)に対応したプリンターから写真を印刷することができます。

●ネットワーク接続と設定をする
(➜ 準備編 15、準備編 26)
●プリンター設定をする(➜ 準備編 50)

ディスク、SDカードを入れるまたはUSB機器を接続(➜146)すると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録内容によって異なります)

例) SD

「写真」を選び、[決定] を押す
●下記の手順 3 に進みます。

1 (スタート) **を押す**

HDD 手順3へ

2 BD-RE BD-R RAM -R -RW CD +R、+R DL、+RW
「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、(決定) を押す

SD
「SD カード」を選び、(決定) を押す

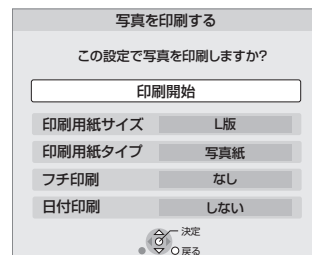
USB
❶「その他の機能へ」を選び、(決定) を押す
❷「USB 機器」を選び、(決定) を押す
❸「写真」を選び、(決定) を押す

3 「写真を見る」を選び、(決定) を押す

4 イベントまたは写真を選び、(サブメニュー S) を押す

●複数のイベントまたは写真を印刷するときは、[青] を押して選んだあと、[サブ メニュー] を押してください。

5 「写真印刷」を選び、(決定) を押す

6 印刷の設定をする

7 「印刷開始」を選び、(決定) を押す

お知らせ

●予約録画が始まると、印刷は中止されます。ただし、印刷途中の写真がある場合は、その写真の印刷を終了してから予約録画を始めます。

音楽 CD を再生する / HDD に録音する

CD

1 音楽 CD を入れる

- Gracenote データベースで、タイトル情報を自動取得します。
- 本機に内蔵のデータベースにタイトルがない場合、ネットワークに接続すると、自動的に取得することができます。

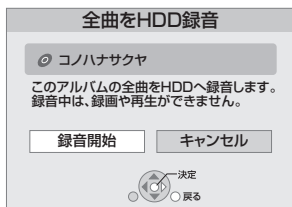
再生中の曲の経過時間/
現在の再生位置/演奏時間

- 自動的に再生が始まります。

別の曲を再生するには
再生したい曲を選び、[**決定**] を押す

CD のタイトル情報を再取得するには
[**緑**] を押す

2 HDD に録音する場合: 黄 を押す

3 「録音開始」を選び、決定 を押す

本体表示窓に、録音全体の
進行状況が表示されます。
（例:録音が約 61%まで終了）

お知らせ

タイトルの自動取得について

- タイトルが見つからなかったときは、「不明なアルバム」、「不明なアーティスト」として表示されます。
- 情報が似ているために間違ったタイトル情報を取得することがあります。HDDへの録音後、タイトルを修正してください。（➜99）
- タイトルが長い場合、曲一覧ではすべて表示できません。

録音について

- CD の全曲を録音します。曲単位で録音はできません。
- コピーコントロールCDなど、CD規格外ディスクの再生および録音は保証しておりません。
- CD から HDD へのデジタル録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。著作権保護のため、この制限がある CD から HDD へのデジタル録音はできません。
- お買い上げ時は、CD 音質の LPCM の録音音質で録音されます。
  録音音質を変更するには（➜133 「音楽録音音質」）
- 「音楽録音音質」の設定にかかわらず、いったんLPCMで録音されます。
  - ・「AAC」の場合、電源「切」後に LPCM のデータを音楽圧縮して AAC データを作成します。
  - ・「LPCM」の場合、LPCM と AAC の両方のデータを HDD に保存し、SD カードに転送するときは、AAC(XP) で転送します。
- AAC の音楽圧縮にかかる時間（例:60 分の音楽 CD の場合）
  - ・LPCM/AAC(XP/SP)のとき:約 60 分
  - ・AAC(LP)のとき:約 120 分
- 音楽圧縮前のデータは以下のように表示されます。

圧縮前は⬇を表示

音楽 HDD　アルバム
あ か さ た な は ま や ら わ ABC DEF
00001 風
⬇ 00002 コノハナサクヤ
サブメニュー　決定　戻る　左右ボタンでアルバムの頭文字を選んでください。上下ボタンでアルバム名を選んでください。　黄 アルバムをSD転送

写真／音楽

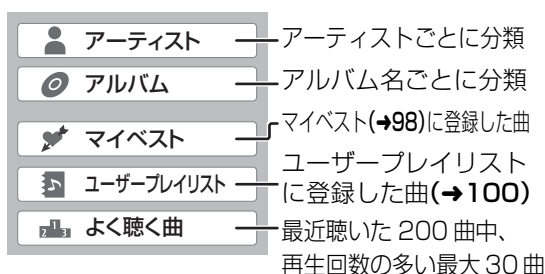
HDD の曲を SD カードに転送する

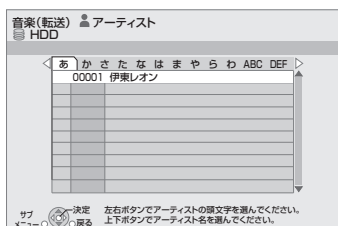
HDD ➡ SD

1 SD カードを入れる

2 「音楽」を選び、(決定) を押す

3 「音楽を転送する」を選び、(決定) を押す

4 音楽をメニュー項目から選び、(決定) を押す

「アーティスト」を選んだ場合
① アーティストの頭文字を選ぶ
② アーティスト名を選び、[決定] を押す
③ アルバムを選ぶ

「アルバム」を選んだ場合
① アルバムの頭文字を選ぶ
② アルバムを選ぶ

5 黄 を押す

6 「転送開始」を選び、(決定) を押す

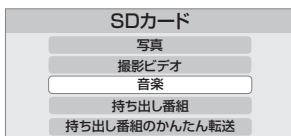
本体表示窓に、転送全体の進行状況が表示されます。
(例:転送が約 61%まで終了)

お知らせ

- 本機では、モバイル機器にUSB接続ケーブルで接続して転送することはできません。
- 曲単位で転送することはできません。
- AACへの音楽圧縮が終了していないアルバムを転送する場合、転送時間が通常よりも長くかかります。
- 1 回の転送で 99 曲を超える場合、複数のプレイリストに分割されます。
- 同じアルバムなどを転送した場合、転送した回数分重複して、SDカードに記録します。
- 「マイベスト」から転送する場合、SDカードの「マイベスト」の曲は上書きされます。(曲自体は SD カード内に残ります)
- **SD カードに転送した音楽について**
  著作権保護と、音楽文化の健全な発展と、正当な購入者の権利保護のために、暗号技術を利用したSDMI(セキュア･デジタル･ミュージック･イニシアティブ)に対応しています。
  このため、下記の制限があります。
  ･本機は音楽データを暗号化してSDカードに転送します。
  暗号化された音楽データを別の機器にコピーして使用することはできません。
  ･コピー制御情報が埋め込まれている場合、取り扱えないことがあります。

HDD や SD カードの音楽を再生する

HDD SD

SDカードを入れると、下記画面が表示されます。
（表示される項目は記録内容によって異なります）

「音楽」を選び、[決定] を押すと、下記の手順 3 に進むことができます。

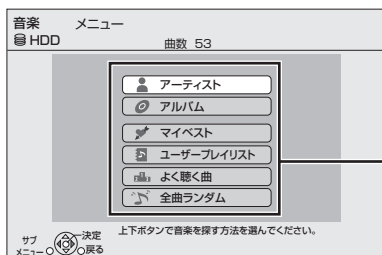
1 （スタート）**を押す**

HDD 手順3へ

2 SD

「SD カード」を選び、（決定）を押す

3 「音楽を聴く」を選び、（決定）を押す

4 音楽をメニュー項目から選び、（決定）を押す

HDD
- アーティスト — アーティストごとに分類
- アルバム — アルバム名ごとに分類
- マイベスト — マイベスト(➜98)に登録した曲
- ユーザープレイリスト — ユーザープレイリストに登録した曲(➜100)
- よく聴く曲 — 最近聴いた 200 曲中、再生回数の多い最大 30 曲
- 全曲ランダム — 全曲をランダムに再生

SD
- マイベスト — HDD の「マイベスト」から転送された曲
- プレイリスト — HDD の「マイベスト」以外から転送されたまとまりごとに表示
- 全曲 — 全曲（記録した順に表示）

5 曲を選び、（決定）を押す

お知らせ

- SD SDオーディオ規格準拠のAACの曲と、それを含むプレイリストのみ表示します。

音楽再生中のいろいろな操作

HDD **CD** **SD**

●再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。

●再生中に、以下の再生設定を行うことができます。
・「再生」(➔**58**)の「リピート」「ランダム」
・「音声」(➔**59**)

お気に入りの曲をマイベストに登録

HDD

曲の一覧画面で登録したい曲を選び

を押す

●99 曲まで登録できます。

写真のスライドショー

音楽再生中に、（青）を押す

スライドショーを停止するには

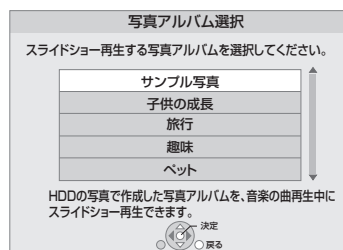
[戻る] を押す
（音楽を停止したときも、停止します）

表示させる写真を選択するには

本機では、スライドショーで表示させる写真を、あらかじめ HDD に内蔵されているサンプル写真または「アルバムに入れる」(➔**91**)で登録したアルバムからのみ選ぶことができます。

① **スライドショー再生中に、[サブ メニュー] を押す**
② **「写真アルバム選択」を選び、[決定] を押す**
③ **アルバムなどを選び、[決定] を押す**

アルバム名や曲名などを編集する

基本操作 選び→決定する

HDD SD

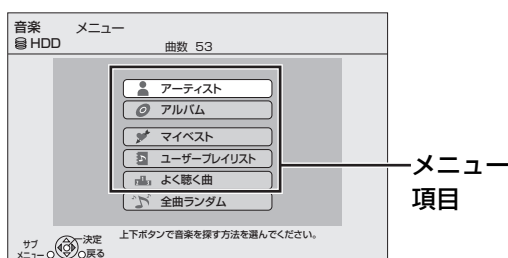
1 スタート **を押す**

HDD 手順3へ

2 SD

「SD カード」を選び、(決定)を押す

3 「音楽を聴く」を選び、(決定)を押す

4 音楽をメニュー項目から選び、(決定)を押す

☞ 全曲の消去や除外を行うときは(➜手順6へ)

5 アルバム、アーティストまたは曲を選ぶ

☞「アーティスト」を選んだ場合

① アーティストの頭文字を選ぶ

② アーティスト名を選び、[決定] を押す

③ アルバムを選ぶ

- 曲を編集するときは、[決定] を押したあと、曲を選ぶ

☞「アルバム」を選んだ場合

① アルバムの頭文字を選ぶ

② アルバムを選ぶ

- 曲を編集するときは、[決定] を押したあと、曲を選ぶ

6 サブメニュー (S) **を押す**

7 項目を選び、(決定)を押す(➜ 下記へ)

例) HDD アルバム選択中

アルバムの全曲消去
(➜100) ― アルバムをプレイリスト登録
アルバムの名前編集
(➜102) ― アルバムをバックアップ

HDD の全曲消去 HDD カードの全曲消去 SD	① 「はい」を選び、[決定] を押す ② 「実行」を選び、[決定] を押す
アルバムの全曲消去 アーティストの全曲消去 HDD マイベストの全曲消去 プレイリストの全曲消去 SD 曲の消去 HDD SD	「消去」を選び、[決定] を押す
アルバムの名前編集 アーティストの名前編集 曲の名前編集 曲のアーティスト名編集 HDD	① 「名前」または「読み」を選び、[決定] を押す ② 文字を入力する (➜121) ③ 「確定」を選び、[決定] を押す
曲の内容確認 HDD	アーティスト名やアルバム名、録音音質などの確認ができます。
マイベストの全曲除外 マイベストから除外 よく聴く曲から除外 よく聴く曲の全曲除外 HDD	「除外」を選び、[決定] を押す

写真／音楽

ユーザープレイリストを編集する

HDD

あらかじめ準備されている 10 個のプレイリストに、お好みのアルバムや曲を登録することができます。

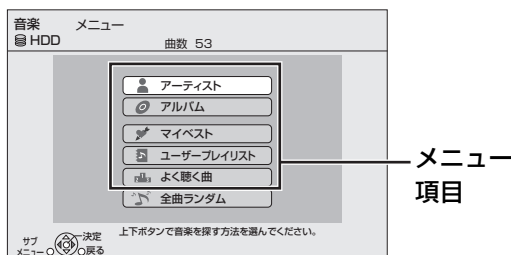
プレイリストの名前は変更することができます。(➔101)

プレイリストを新たに追加することはできません。

プレイリストに曲を登録する

1 [スタート] **を押す**

2 **「音楽を聴く」を選び、[決定] を押す**

3 **音楽をメニュー項目から選び、[決定] を押す**

4 **アルバムまたは曲を選ぶ**

☞ **「アーティスト」を選んだ場合**

① アーティストの頭文字を選ぶ
② アーティスト名を選び、[**決定**] を押す
③ アルバムを選ぶ
- 曲を登録するときは、[**決定**] を押したあと、曲を選ぶ

☞ **「アルバム」を選んだ場合**

① アルバムの頭文字を選ぶ
② アルバムを選ぶ
- 曲を登録するときは、[**決定**] を押したあと、曲を選ぶ

5 [サブメニュー S] **を押す**

6 **「アルバムをプレイリスト登録」または「曲をプレイリスト登録」を選び、[決定] を押す**

7 **登録先にするプレイリストを選び、[決定] を押す**

お知らせ

- 最大登録曲数
  - ･プレイリスト：999（1 つにつき）
  - ･マイベスト　：99

プレイリストを編集する

1 **[スタート] を押す**

2 **「音楽を聴く」を選び、(決定) を押す**

3 **「ユーザープレイリスト」を選び、(決定) を押す**

4 プレイリストの場合：
プレイリストを選び、(サブメニュー S) を押す

プレイリストの全曲除外
プレイリストの名前編集

プレイリスト内の曲の場合：
❶ **プレイリストを選び、(決定) を押す**
❷ **曲を選び、(サブメニュー S) を押す**

プレイリストから除外
曲をプレイリスト登録
曲の名前編集
曲のアーティスト名編集
曲の内容確認

（➜99）

5 **項目を選び、(決定) を押す**（➜ 右記へ）

プレイリストの全曲除外 プレイリストから除外	「除外」を選び、[決定] を押す
プレイリストの名前編集	① 「名前」または「読み」を選び、[決定] を押す ② 文字を入力する（➜121） ③ 「確定」を選び、[決定] を押す

音楽をバックアップする

本機内蔵のHDDは、振動・衝撃・熱などに弱く壊れやすい精密機器です。そのため、HDD 内の録音データは、バックアップしておくことをおすすめします。本機はDVD-RAM にのみバックアップできます。

1 （スタート）**を押す**

2 **「音楽を聴く」を選び、（決定）を押す**（➜ 下記へ）

バックアップ

❸「アーティスト」または「アルバム」を選び、（決定）を押す
❹ アルバムを選び、（サブメニュー S）を押す
❺「アルバムをバックアップ」を選び、（決定）を押す
❻「開始」を選び、（決定）を押す

バックアップデータの復元

万が一、HDDが故障してデータが損なわれた場合には、HDDの修理が完了してから復元を行ってください。

❸（サブメニュー S）を押す
❹「バックアップからの復元」を選び、（決定）を押す
❺ 復元したいアルバムを選び、（決定）を押す
❻「開始」を選び、（決定）を押す

お知らせ

- バックアップするDVD-RAMは、バックアップ専用としてお使いください。（バックアップデータはフォーマット以外の消去方法がありません。番組や写真が混在したディスクの場合、バックアップデータを消去するためにフォーマットすると、大切な録画番組なども消去されてしまいます）
- 1回の操作でのバックアップや復元は、1アルバムのみです。複数バックアップや復元したいときは、操作を繰り返してください。
- バックアップデータは暗号化して記録されます。
  再生したり、他の機器にコピーして利用することはできません。バックアップした機器でないと、データの復元はできません。

録画した番組をモバイル機器に持ち出す

基本操作　選び→決定する

モバイル機器（携帯電話など）に転送するには、HDDに録画した番組から持ち出し番組を作成する必要があります。
持ち出し番組を再生できる機器については、当社ホームページ(➔3)をご覧ください。

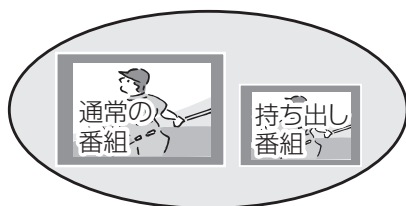
携帯電話の対応機種について

下記モバイルサイトで、お使いの携帯電話が対応しているか確認できます。

●二次元バーコードを使う

●URL を直接入力する
http://p-mp.jp/pm/m1/diga_m_c.cgi

持ち出し番組について

●通常の番組の「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」を行うと、持ち出し番組は消去されます。（ダウンロードした番組は番組消去しても、持ち出し番組は消去されません）
●通常の番組の「番組名編集」を行うと、持ち出し番組も同じように編集されます。（ダウンロードした番組を除く）
●本機では、持ち出し番組の再生・編集はできません。

持ち出し方法について

モバイル機器に持ち出し番組を転送するには、以下の方法があります。持ち出しする方法に合わせて持ち出し番組を作成する必要があります。
●SD/USB 経由
SDカードを本機に挿入して転送する場合やUSB接続ケーブルを接続して転送する場合
●ネットワーク経由
DLNA 対応のモバイル機器にネットワークを経由して転送する場合

持ち出し番組の画質について

SD/USB経由で持ち出す場合、本機では持ち出し番組の記録画質を選ぶことができます。「高画質（VGA）」に設定すると、「ワンセグ画質（QVGA）」より高画質で作成します。（高画質 と表示）ただし、「高画質（VGA）」に対応したモバイル機器でしか再生できません。
●「持ち出し番組の VGA 画質」(➔133)で記録する画質（1.5 Mbps/1.0 Mbps）を変更できます。
●ネットワーク経由で持ち出す場合の画質は「高画質（VGA）」（1.5 Mbps）となり、変更できません。
（ネット高画質 と表示）

多重音声の記録について

多重音声の番組から持ち出し番組を作成する場合、以下のようになります。

●マルチ音声の番組
・録画した番組から作成するとき：
「信号切換」の「音声」(➔57)で設定した音声 1 つ
・通常の番組の録画と同時に作成するとき：
マルチ音声、サラウンド音声では放送されていません

●二重音声の番組
・録画した番組から作成するとき：
ステレオ音声
・通常の番組の録画と同時に作成するとき：
両方の音声

持ち出し番組を作成する

番組の予約録画時に作成する

持ち出し番組の設定 HDD

番組の予約時に、持ち出し番組を作成するように設定しておくことができます。

番組予約(➜26 手順 5)、詳細設定(➜34 手順 1)、または時間指定予約(➜36 手順 3)画面で

❶「持ち出し番組の設定」を選び、(決定)を押す
❷「持ち出し番組の作成」を選び、「する」に設定する
❸「持ち出し方法」を選び、設定する
●「ネットワーク経由」を選んだ場合、手順❺へ
❹「持ち出し番組の画質」を選び、設定する
❺「かんたん転送の登録」を選び、設定する
●「する」に設定しておくと、「かんたん転送」(➜105)で自動的に転送することができます。

お知らせ

- 地上デジタル放送を「ワンセグ画質（QVGA）」で作成する場合、通常の番組の録画と同時に作成します。
- 以下の場合、電源「切」時に録画した番組から変換して作成します。
  - ・「高画質 (VGA)」で作成するとき
  - ・BS･CS デジタル放送、外部入力から作成するとき
  - ・スカパー! HD の番組から作成するとき
  - ・地上デジタル放送録画時に、ワンセグ放送が行われていないとき
  - ・地上デジタル放送の連続録画時間が8時間を超えるときの超えた分
- ワンセグ放送が地上デジタル放送と放送内容が異なる場合や開始時刻 / 終了時刻がずれる場合、正しく作成されないことがあります。「録画した番組から作成する」(➜ 右記)で作り直すことをおすすめします。
- 複数の音声や字幕を含む番組から作成する場合、「信号設定」(➜35)で記録したい音声や字幕を選んでください。

録画した番組から作成する

持ち出し番組の作成 HDD

HDD の録画一覧にある番組から持ち出し番組用に変換して作成します。
作成には番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。

❶ を押す

❷ 作成する番組を選び、(緑)を押す
❸「持ち出し番組の作成」を選び、(決定)を押す
❹「持ち出し方法」を選び、設定する
●「ネットワーク経由」を選んだ場合、手順❻へ
❺「持ち出し番組の画質」を選び、設定する
❻「かんたん転送の登録」を選び、設定する
●「する」に設定しておくと、「かんたん転送」(➜105)で自動的に転送することができます。
❼「開始方法」を選び、設定する

●すぐに:
下記手順 ❾ の設定後すぐに、作成を開始します。作成中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。

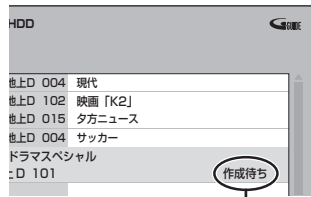
●電源 [切] 後:
電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に作成を行います。作成中に電源を入れると、作成を中止し、次に電源を切ると、作成をやり直します。

❽「作成する」を選び、(決定)を押す
❾「すぐに」作成を開始する場合：
「開始」を選び、(決定)を押す

☞ 作成を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」作成を開始する場合：
(決定)を押す

☞ 作成の設定内容を変更･取り消しするには
手順❸のあと、「設定変更」または「作成取消」を選び、[決定] を押す

☞ 作成が終了しているか確認するには

持ち出し番組一覧(➜106)で「作成待ち」が表示されている場合、作成は終了していません。

お知らせ

- ダウンロードした番組の場合：
  - ・コピー制限がある番組は、ダビングの残り可能回数は 1 回減ります。
  - ・以下の設定はできません。
    - -「持ち出し方法」の「ネットワーク経由」
    - -「かんたん転送の登録」の「する」
    - -「開始方法」の「電源［切］後」
  - ・ネットワークに接続した状態で作成してください。
- 視聴制限のある番組は、「かんたん転送の登録」を「する」に設定することはできません。
- ダビングできない番組の場合、持ち出し番組は作成できません。
- HDD の残量が少ない場合や、HDD の番組数がいっぱいの場合、持ち出し番組は作成できません。
- 持ち出し番組は以下の設定に従い作成されます。
  - ・二重音声　:「二重放送音声記録」(➜134)
  - ・マルチ音声 :「信号切換」の「音声」(➜57)
  - ・チャプター :作成元になる番組のチャプター情報
  - ・字幕　　　:「信号切換」の「字幕」(➜57)
    (「電源［切］後」作成する場合、電源「切」時の「信号切換」の設定に従い作成されます)

ネットワーク経由で持ち出す(転送)

ネットワーク経由で DLNA 対応のモバイル機器に転送する場合は、以下の設定を行ってください。

- ネットワーク接続と設定をする
  (➜ 準備編 14、準備編 26)
  お部屋ジャンプリンク(DLNA)の設定を変更する場合
  (➜ 準備編 46)

転送操作はモバイル機器側で行います。操作方法は、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

SD/USB 経由で持ち出す(転送)

かんたん転送

「かんたん転送」の登録がされた番組をすべて転送します。(最大 99 番組まで転送可能)
登録されている番組は、持ち出し番組一覧(➜106)で確認することができます。

- 登録は、予約時(➜104)、作成時(➜104)、作成後(➜106)に行うことができます。

❶ **SD カードを入れる または USB 機器(携帯電話など)を接続する**
☞ **USB 機器を接続するには(➜146)**

例) SD

❷ **「持ち出し番組のかんたん転送」を選び、決定を押す**

便利機能

録画した番組をモバイル機器に持ち出す(つづき)

SD/USB 経由で持ち出す(転送)(つづき)

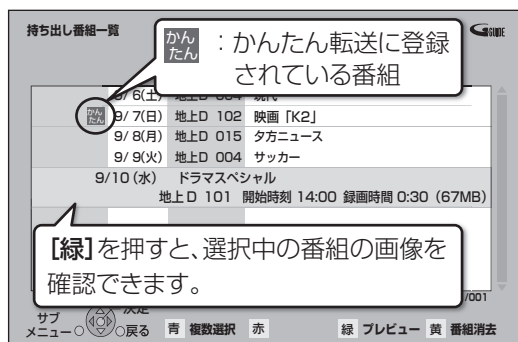
持ち出し番組一覧から転送する

❶ SD カードを入れる または USB 機器(携帯電話など)を接続する

USB 機器を接続するには(➜146)

例) SD

❷「持ち出し番組」を選び、決定を押す

❸「持ち出し番組を転送する」を選び、決定を押す

❹ 番組を選び、青を押す

● ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

選択を取り消すには

番組を選び、[青] を押す

❺ すべてを選んだあと、決定を押す

❻「転送を開始する」を選び、決定を押す

持ち出し番組の確認と編集

「持ち出し番組一覧から転送する」(➜ 左記)

手順 ❸ のあと

❹ 番組を選び、サブメニュー S を押す

❺ 項目を選び、決定を押す (➜ 下記へ)

SD/USB へ転送	SD カードまたは USB 機器へ番組を転送します。(➜ 左記手順 ❻ へ)
番組消去	番組を消去します。
内容確認	番組の情報を確認します。
かんたん転送の設定	「かんたん転送」(➜105)の登録をします。(かんたん が表示されます)
かんたん転送の解除	「かんたん転送」(➜105)の登録を解除します。
視聴制限一時解除	「HDD 番組の視聴制限」(➜133)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

転送(ダビング)の残り可能回数について

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられているため、転送(ダビング)できる回数に限りがあります。

- 通常の番組をダビングした場合や持ち出し番組を転送した場合には、ダビングの残り可能回数は1回減ります。
- 1 表示のある番組をダビング(転送)すると、通常の番組･持ち出し番組はHDDから消去されます。

転送した番組を確認･消去する

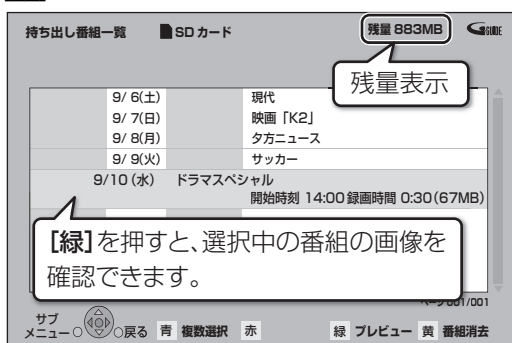
❶ **SDカードを入れる または USB機器(携帯電話など)を接続する**

USB機器を接続するには(➜146)

❷ **「持ち出し番組」を選び、(決定)を押す**

❸ **「持ち出し番組を確認する」を選び、(決定)を押す**

❹ **番組を選ぶ**

例) SD

番組の内容を確認するには

① **[サブ メニュー]** を押す

② 「内容確認」を選び、**[決定]** を押す

持ち出し番組を消去するには

① **[黄]** を押す

② 「消去」を選び、**[決定]** を押す

お知らせ

- 転送した番組の「かんたん転送」の登録は解除されます。
- 選択した番組の容量合計は、管理情報が含まれるなどの理由で、転送する持ち出し番組の合計より少し大きくなります。
- 転送中は以下のようになります。
  - ･通常の番組の再生はできません。
  - ･録画先が「BD」の予約録画が始まると、HDDに代替録画されます。
- ディスクに予約録画中は、転送できません。
- 録画中に転送を行うと、通常より時間がかかります。
- 転送した番組は、再生停止位置(**➜52「続き再生メモリー機能」**)とチャプターマーク(**➜64**)を通常の番組から引き継ぎます。
  - ･ダウンロードした番組では再生停止位置は引き継ぎません。
  - ･作成したチャプターマークは引き継がれない場合があります。
  - ･位置は多少ずれる場合があります。
- 通常の番組がプロテクト設定(**➜60**)されている「1回だけ録画可能」の持ち出し番組は、転送できません。

お知らせ

- 残量表示は、持ち出し番組を最適に記録できる残量を表示するため、実際より少なく表示されます。
- 本機以外で記録された持ち出し番組は、消去できない場合があります。
- ネットワーク経由で転送した番組の確認･消去は本機ではできません。

ドアホンやセンサーカメラから録画された映像を再生する

HDD

ドアホンやセンサーカメラを接続して設定すると、呼び出しや検知があったときに、映像を自動でHDDに録画します。

- H.264 対応のセンサーカメラからの場合は動画(音声付き)を、H.264非対応のセンサーカメラやドアホンからの場合はコマ送りの画像(連続静止画)を記録することができます。

- 本機とドアホンやセンサーカメラを接続する
  (➜ 準備編 15)
- ドアホンやセンサーカメラの設定をする
  (➜ 準備編 49)

お知らせ

- ドアホン録画が実行された場合のみ、録画終了後に"⌂👤"が点滅します。
- ドアホン映像に新着の映像がある場合、本機の電源を入れると、確認画面が表示されます。
- ドアホン･センサーカメラ映像の録画は、以下の制約がありますので、ご理解いただいた上で、ご利用ください。
  - ･以下の場合、映像は録画されません。
    - ３番組同時録画中 (通知のみ記録)
    - ２番組同時録画とダビングの同時実行中 (通知のみ記録)
    - HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで録画とダビングの同時実行中 (通知のみ記録)
    - スカパー! HD の番組を録画中 (通知のみ記録)
    - オンエアーダウンロードなどのソフトウェア更新中(➜141)
    - 本機の安定性維持のために行われる午前 4 時ごろ(1 週間に一度程度)の自動再起動時
    - その他、初期設定画面表示やファイナライズ中　など
  - ･録画は最大で約 30 秒です。最短検知間隔が 1 分間のセンサーカメラの場合、検知後、約 30 秒間の映像は記録されますが、30 秒以降から 1 分までの間は、センサーカメラは検知せず、録画されません。
    ドアホンの場合、応答すると録画は止まります。
  - ･最大記録件数は、以下になります。
    ドアホン映像 400　センサーカメラ映像 400
    400 件を超えると、古い映像から削除されます。削除したくない映像はプロテクトを設定してください。(➜109)
  - ･本機能を運用された結果、発生したいかなる損害に対して当社は一切の責任を負いません。

録画された映像を再生する

1

を押す

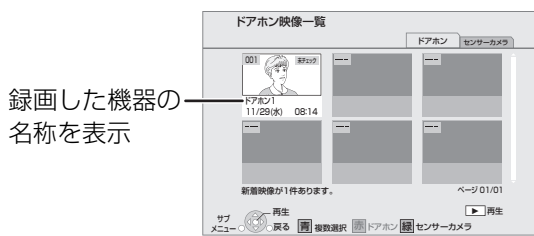
2 「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

3 「ドアホン･センサーカメラ映像」を選び、(決定)を押す

ドアホン映像一覧を表示するには
[赤] を押す

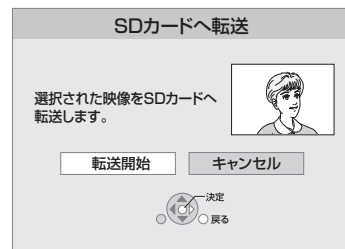
センサーカメラ映像一覧を表示するには
[緑] を押す

4 映像を選び、(決定)を押す

- 映像の再生が終了すると、次の映像を表示します。

- 再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。

映像の一場面を SD カードに保存

映像の一場面を写真(JPEG)に変換して SD カードに保存することができます。

❶ 保存したい場面で [❚❚一時停止] を押す
❷ [◀❚❚][❚❚▶] を押して場面を調整する
❸ [黄] を押す
❹ 「転送開始」を選び、(決定)を押す

- SECURITYフォルダ内の日付フォルダに保存されます。

録画された映像を編集する

1 [スタート] **を押す**

2 **「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す**

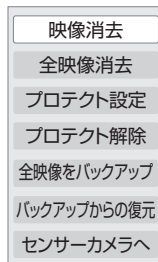
3 **「ドアホン・センサーカメラ映像」を選び、(決定)を押す**

☞ドアホン映像一覧を表示するには
[赤] を押す

☞センサーカメラ映像一覧を表示するには
[緑] を押す

4 **映像を選んで、サブメニュー(S)を押す**

5 **編集する項目を選び、(決定)を押す（➜ 右記へ）**

例）
- 映像消去
- 全映像消去
- プロテクト設定
- プロテクト解除
- 全映像をバックアップ
- バックアップからの復元
- センサーカメラへ

映像消去 **全映像消去**	**「消去」を選び、[決定] を押す**
プロテクト設定 / 解除	映像を誤って消去しないよう、映像ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定または解除ができます。 **「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す** ●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。
全映像をバックアップ	ドアホンまたはセンサーカメラの全映像を DVD-RAM にバックアップすることができます。 **「開始」を選び、[決定] を押す** お知らせ ●バックアップする DVD-RAM は、バックアップ専用としてお使いください。(バックアップデータはフォーマット以外の消去方法がありません。番組や写真が混在したディスクの場合、バックアップデータを消去するためにフォーマットすると、大切な録画番組なども消去されてしまいます) ●バックアップデータを再生したり、他の機器にコピーして利用することはできません。 ●一度バックアップしたディスクには、フォーマットしない限り、バックアップはできません。
バックアップからの復元	DVD-RAM にバックアップしたデータをHDDに復元します。 ●万が一、HDD が故障してデータが損なわれた場合にはHDDの修理が完了してから復元を行ってください。 **「開始」を選び、[決定] を押す**

インターネットを楽しむ

本機では、インターネットを利用してアクトビラなどのサービスを楽しむことができます。

- 予約録画の開始時刻になると、「テレビでネット」は終了し、テレビ放送の画面に戻ります。

- ネットワーク接続と設定をする

(➜ 準備編 14、準備編 26)

インターネットの閲覧制限について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。
お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をおすすめします。
制限機能を使用する場合は、「ブラウザ制限」を「する」に設定してください。

① [スタート]を押す
② 「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す
③ 「放送設定」を選び、[決定]を押す
④ 「デジタル放送・再生」を選び、[決定]を押す
⑤ 「制限項目設定」を選び、[決定]を押す
⑥ [1] ～ [10] で暗証番号を設定する
⑦ 「ブラウザ制限」を選び、「する」を選ぶ

- 「テレビでネット」を利用するには、手順⑥で設定した暗証番号の入力が必要になります。

お知らせ

- **ホームページへの情報登録について**
  アクトビラを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。
- クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分お気をつけください。
- ソフトウェア更新のお知らせが画面上に表示された場合は、ソフトウェアを更新してください。更新を行わない場合、「テレビでネット」をご利用できなくなります。

acTVila(アクトビラ)を利用する

acTVila とは

- インターネットを利用して情報サービスが受けられる、デジタルテレビのしくみです。
- 本機は以下のコンテンツをお楽しみいただけます。
  ・アクトビラ ベーシック
  ・アクトビラ ビデオ
  ・アクトビラ ビデオ・フル
  ・アクトビラ ビデオ・ダウンロード

アクトビラの最新情報はアクトビラ情報公式サイト(http://actvila.jp/)をご覧ください。
また、当社ホームページ(http://panasonic.jp/support/actvila/)でも紹介しています。(2010 年 12 月現在)

1 [ネット] **を押す**

2 **「アクトビラ」を選び、(決定)を押す**

3 **見たい項目を選び、(決定)を押す**

アクトビラを終了するには

[地上] [BS] [1/2 CS] を押す

ネット操作パネルを表示する

❶ ホームページ表示中に、サブメニュー(S)を押す

❷ 項目を選び、(決定)を押す

① 1つ前のページへ
② 1つ先のページへ
③ 読込みを中止
④ 表示中のページを再読込み
⑤ ポータルサイトに戻るとき
⑥ お好みページを使う(➜ 右記)

ネット操作パネルの表示を消すには

サブメニュー(S)を押す

お好みページを使う

お気に入りのホームページを「お好みページ」に登録すると、あとからそのページを見るのに便利です。

❶ ホームページ表示中に、サブメニュー(S)を押す

- 登録したい場合、登録したいホームページを表示して [サブ メニュー] を押してください。

❷「お好みページ」を選び、(決定)を押す

■登録する

❸ 青 を押す

❹ 内容を確認し、(決定)を押す

- 「お好みページ」の登録は最大 20 件までです。

■見る

❸ 見たいタイトルを選び、(決定)を押す

■削除する

❸ 削除したいタイトルを選ぶ

❹ 黄 を押す

❺「はい」を選び、(決定)を押す

インターネットを楽しむ(つづき)

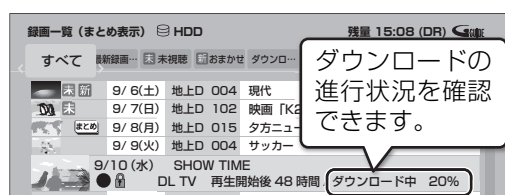
acTVila(アクトビラ)を利用する(つづき)

動画コンテンツを HDD にダウンロードする

アクトビラなどのページから動画コンテンツを購入し、HDD にダウンロードすることができます。

●動画コンテンツ購入の課金方法はそれぞれのサービスのページでご確認ください。

アクトビラなどのページに従って動画コンテンツを購入する

●録画一覧にダウンロードする番組が登録され、ダウンロードは自動的に開始します。

ダウンロードを中断するには

ダウンロード中は他のネットワーク機器が使用できなくなる場合があります。その場合は、ダウンロードを一時停止することができます。

① 録画一覧で、ダウンロード中の番組を選び、**[サブ メニュー]** を押す
② 「ダウンロード一時停止」を選び、**[決定]** を押す
③ 「一時停止」を選び、**[決定]** を押す
●ダウンロードを再開するには、手順②で「ダウンロード再開」を選んでください。

ダウンロードに失敗した場合は

ダウンロード履歴を確認してください。
(➜128「ダウンロード履歴」)

お知らせ

●電源切時でもダウンロードは実行されます。(本体表示窓に が点灯)
●以下の操作中はダウンロードは実行されません。
・複数の番組を録画中
・スカパー! HD の番組を録画中
・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
・ダビング中
・お部屋ジャンプリンク(DLNA)機能など、ネットワークを利用する機能を使用中　など

またダウンロード中に上記の操作を開始した場合、ダウンロードを中断します。操作が終了するとダウンロードを再開します。

ダウンロードした番組を再生する

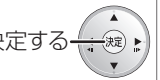
録画一覧(➜47)から再生する

ダウンロードした番組が表示されない場合

「HDD番組の視聴制限」(➜133)の設定が「無制限」以外の場合、以下の操作で表示することができます。

① **[サブ メニュー]** を押す
② 「視聴制限一時解除」を選び、**[決定]** を押す
③ 暗証番号を入力する

お知らせ

●視聴期限のある番組は、期限内に視聴してください。期限を過ぎると録画一覧から自動的に消去されます。視聴期限は再生を開始した時点から始まります。
●再生時はネットワークに接続した状態で行ってください。
●番組は自動的にプロテクト設定されます。

ダウンロードした番組をディスクにダビングする

ダウンロードした番組には、ディスクにダビングできるものもあります。

かんたんダビング(➜68)や詳細ダビング(➜70)でダビングを行う

ダウンロードした番組が表示されない場合

「HDD番組の視聴制限」(➜133)の設定が「無制限」以外の場合、以下の操作で表示することができます。

① [サブ メニュー] を押す
② 「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す
③ 暗証番号を入力する

お知らせ

- DVD にダビングする場合、CPRM 対応のディスクを準備してください。
- ダビング時はネットワークに接続した状態で行ってください。
- 番組によっては、ダビングできるディスクやダビングできる回数や期間に制限があります。番組の制限については、購入時にご確認ください。

動画共有サイトなどのサービスを利用する

1 **[ネット] を押す**

- ビデオコミュニケーションを利用する場合は、[S] を押しても開始できます。

2 **項目を選び、(決定)を押す**

- 操作方法は画面の指示に従ってください。

サービスを終了するには

   を押す

お知らせ

- ビデオコミュニケーションについて
  ビデオコミュニケーション(Skype™)を利用するには、別売のビエラコミュニケーションカメラ(TY-CC10W) を USB 端子に接続してください。
  詳細情報は、当社ホームページ(➜3)をご覧ください。
  ・本機が録画やダビングなどの動作中は利用できません。
  ・着信があったときなど、着信ランプが点滅します。

本体前面

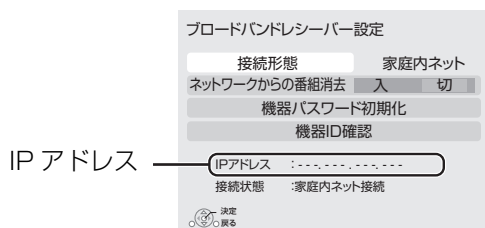
自宅にあるパソコンで操作する

本機と接続したパソコンから遠隔操作ができます。
- ●ブラウザ機能を持つテレビでも操作できます。

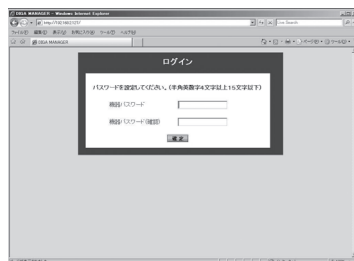
携帯電話や外出先のパソコンから録画予約などの操作をしたいときは（➜ 準備編 48）

- ●ネットワーク接続と設定、ブロードバンドレシーバーの設定をする
  （➜ 準備編 14、準備編 26、準備編 48）

パソコンを使って以下の操作を行ってください。

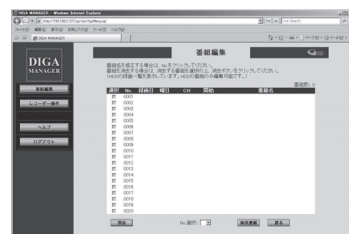
1 インターネット閲覧（ブラウザ）ソフトを起動させ、本機の IP アドレス（➜ 準備編 48、手順 5 で確認）をアドレス欄に入力する

- ●ログイン画面が表示されます。

ログイン画面が表示されないときは（Internet Explorer® 6.0 の場合）
インターネット閲覧ソフトを起動させ、「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」→「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」の「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックを外し、「OK」をクリックする

2 機器パスワードを入力し、「確定」をクリックする

- ●初めてログインするときはパスワードが未設定です。ここで設定してください。以降のログイン時は、設定したパスワードを入力します。
- ●サービスの機器登録で設定済みの機器パスワードをお持ちの方は、それと同じパスワードを入力してください。

3 操作内容を選ぶ

- ●各操作は画面の指示に従ってください。

番組編集 HDD 番組の番組名入力や消去
- ●消去する場合は、「ネットワークからの番組消去」を「入」にしてください。**（➜139）**
- ●ブラウザ機能を持つテレビでは、番組名入力はできません。

レコーダー操作　本機の録画、電源入/切など

ヘルプ　操作方法などの説明

ログアウト　操作の終了

機器パスワードとは
インターネットなどのネットワークから本機を不正に操作されないように設定するパスワードです。

ビエラリンク(HDMI)を使う

基本操作 選び→決定する

ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)とは
本機とHDMIケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン１つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
※すべての操作ができるものではありません。
● DMR-BZT900 HDMI(SUB) 端子に接続している機器では操作できません。

■設定

① **「ビエラリンク制御」(➜136)を「入」にする**
(お買い上げ時の設定は「入」)

② **「ビエラリンク録画待機」(➜136)を「入」にする**
●「クイックスタート」(➜131)は自動的に「入」になり、本機の電源「入」に伴う連動操作をすばやく行えます。(待機時消費電力は増えます)

③ **接続した機器側(テレビなど)で、ビエラリンク(HDMI)が働くように設定する**

④ **すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する**
(接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください)

お知らせ
- ビエラリンク(HDMI)は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機はビエラリンク(HDMI)Ver.5 に対応しています。ビエラリンク(HDMI)Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。(2010 年 12 月現在)
- 「ビエラリンク録画待機」(➜136)が「入」の場合など、本機の電源を切ってもテレビの無信号自動オフ機能は働きません。

ビエラリンク(HDMI)対応機器の確認

機器にビエラリンク(HDMI)のロゴマーク(➜ 下記)が付いているかをお確かめになるか、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

VIERA Link

テレビ(ビエラ)側から録画や録画予約、番組キープをしたときの本機の動作

■録画モード・録画先
●録画(「見ている番組を録画」など):
・本機であらかじめ設定された録画モードでHDDに録画
●録画予約 / 番組キープ:
・「DR」モードで HDD に録画

■録画予約の登録の確認
●本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に“ACCEPT”が表示されます。
●本機の予約一覧画面で予約内容を確認できます。

■録画予約の取り消し
●「探して毎回予約」で予約した場合は、テレビ側の予約も取り消してください。

■録画ができない場合
●すでに本機が「見ている番組を録画」を実行しているときは、新たに「見ている番組を録画」はできません。
●本機に契約された B-CAS カードが挿入されていないとき。

便利機能

ビエラリンク(HDMI)を使う(つづき)

詳しい操作方法はテレビの取扱説明書をご覧ください

表示マークについて

(本機のリモコン):本機のリモコンで操作できます。

(テレビのリモコン):テレビのリモコンで操作できます。

Ver.○以降 :接続している機器が表示のバージョン以降のビエラリンク(HDMI)に対応している場合に操作できます。

入力自動切換え / 電源オン連動

●テレビの電源が待機状態のときのみ

(本機のリモコン) Ver.1以降

下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現われます。

●本機の電源「切」時は、**[ガイド]**、**[ネット]**は働きません。

電源オフ連動

(本機のリモコン)(テレビのリモコン) Ver.1以降

●リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

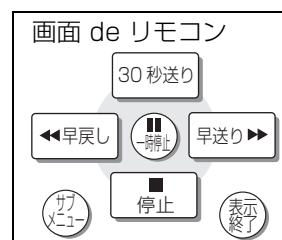
お知らせ

●ダビング、ファイナライズ、消去、音楽の録音や転送、バックアップ、復元、[**録画 ●**] を押して録画などの実行中は切れません。

テレビのリモコンでディーガを操作

(テレビのリモコン) Ver.1以降

テレビのリモコンで、本機を操作することができます。

●**[サブ メニュー]** を押すと、再生中は下記の画面で操作することができます。
停止中は、ドライブ切換などの操作をすることができます。

●ビエラリンクメニューからスタート画面を表示させると、予約の操作や番組表から放送局を選局することなどができます。

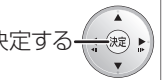
テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

(本機のリモコン)(テレビのリモコン) Ver.2以降

ビエラリンク(HDMI)対応のテレビ(ビエラ)とアンプを接続し、ビエラリンク (HDMI) を使っている場合、連動操作をするためテレビ(ビエラ)の電源を切ると本機の電源も切れます。
ただし、接続したテレビ(ビエラ)がビエラリンク(HDMI)Ver.2 以降に対応している場合、以下の操作で、音楽再生を続けることができます。

❶ **音楽再生中に、[サブメニュー S]を押す**

❷ **「TV のみ電源 OFF」を選び、(決定)を押す**

●テレビの電源が切れるときに数秒間、音が途切れる場合があります。

番組ぴったりサウンド（オートサウンド連携）

（本機のリモコン）（テレビのリモコン） Ver.3以降

ビエラとアンプと接続している場合、番組情報やディスクに応じて、最適なサウンドに自動で切り換わります。
- VR方式のディスクや他の機器で記録したディスクでは働きません。

設定を有効にするには
- 「オートサウンド連携」(➜136)を「入」にする

番組キープ

（テレビのリモコン） Ver.3以降

視聴中の番組をHDDに一時的に記録して、あとから続きを視聴することができます。
（番組キープ終了後は削除されます）

「番組キープ●」が表示

ECO スタンバイ

（テレビのリモコン） Ver.4以降

リモコンを使ってビエラの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を最小にします。
- 電源「切」時に時計表示されなくなります。

設定を有効にするには
- 「ECO スタンバイ」(➜136)を「入」にする

お知らせ
- チャンネルや入力の切り換え、または電源を切った場合、番組キープは終了し、一時的に記録した番組も削除されます。
- 以下の場合、一時的な記録は終了します。ただし、その時点までの記録内容を見ることはできます。
  - ・番組キープと録画の同時実行中に、別の番組の予約録画開始時刻になったとき
  - ・番組キープが８時間を超えたとき、または HDD の容量がなくなったとき
- 本機が番組を録画できない状態のときは、番組キープを実行することはできません。

お部屋ジャンプリンク(DLNA)を使う

お部屋ジャンプリンク(DLNA)機能

HDD に記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した DLNA 対応機器で行う機能です。
コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- ●本機はサーバーとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。
- ●2010 年 4 月以前に発売の DLNA 対応ディーガは、サーバー機能のみです。
- ●サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツなどは異なります。
- ●当社製 DLNA 対応機器および再生できるコンテンツについては、当社ホームページをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/r_jump/
  (2010 年 12 月現在)

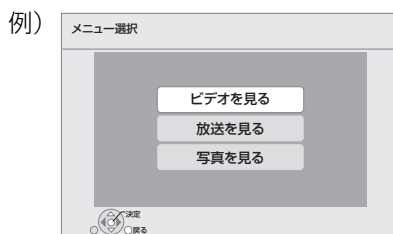
別の部屋のテレビなどで見る(サーバーとして使用する)

- ●ネットワーク接続と設定をする
  (➜ 準備編 14、準備編 26)
  お部屋ジャンプリンク(DLNA)の設定を変更する場合
  (➜ 準備編 46)

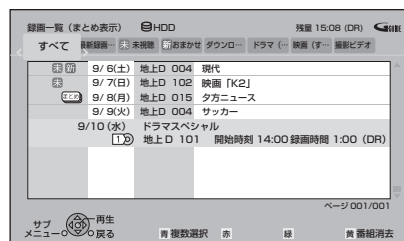
HDD

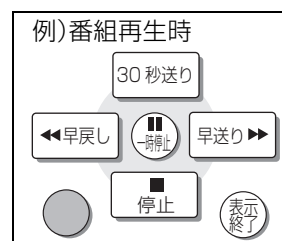
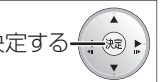
DLNA 対応機器から、本機の HDD に録画した番組や写真の再生や、受信した放送の視聴ができます。

テレビなどのクライアント機器側で操作する

例)

- ●画面に従って、以降の操作をしてください。

例) DLNA 対応の当社製機器から番組を再生する場合

① 機器のリモコンを使って、本機の「録画一覧」を表示させる

② 再生する番組を選び、[決定] を押す

- ●「画面 de リモコン」が表示されます。
  ([▲][▼][◀][▶][決定][戻る] で操作することができます)

☞「画面 de リモコン」が表示されていないときは
[サブ メニュー] を押す

お知らせ

「ビデオを見る」「写真を見る」のとき

- 編集はできません。(当社製機器の場合、番組の消去のみできます)
- ダウンロードした番組は再生できません。
  (DLNA対応の他社製機器から再生時)(2010 年 12 月現在)
- 本機が以下の操作中の場合、再生できません。
  - ・複数の番組を録画中
  - ・スカパー! HD の番組を録画中
  - ・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
  - ・高速ダビングと録画の同時実行中(「ビデオを見る」のとき)
  - ・1 倍速でダビング中
  - ・ダビング中(「写真を見る」のとき)
  - ・初期設定画面表示中
  - ・アクトビラなどのネットワークを利用する機能を使用中 など
- 再生する機器によっては、以下の場合があります。
  - ・録画中の番組や HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードの番組、本機に取り込んだハイビジョン動画(AVCHD)、スカパー! HD の番組が再生できない
  - ・番組結合(➜61)した DR モードの番組は、音声や字幕の切り換えができない
- DLNA 対応のモバイル機器の場合、以下の番組は再生できません。
  - ・ネットワーク経由で持ち出し番組を作成していない XP、SP、LP、EP、FR モードの番組
  - ・「1080/60p」表示のある番組
- 2 台以上の機器で同時に再生することはできません。
- 再生中に本機を操作して初期設定画面を表示すると、再生を終了します。

「放送を見る」のとき

- 視聴中は、本機の HDD に放送を一時的に記録します。(視聴終了後は番組を削除します)
- 本機のチャンネル設定(**➜準備編 38**)で登録しているチャンネルのみ視聴できます。
- BS/CSデジタル放送が視聴できない場合は、本機の受信対象設定(**➜129**)を「使う」に切り換えてください。
- アクトビラ、スカパー! HDの番組を視聴することはできません。
- 視聴する番組は、実際の放送よりも数秒遅れます。
- 視聴制限のある番組は、暗証番号の入力が必要です。暗証番号(**➜130**)を入力すると、本機の視聴制限を一時解除します。
- 連続して 8 時間以上は視聴できません。
- 本機が以下の操作中の場合、視聴できません。
  - ・録画中
  - ・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
  - ・ダビング中
  - ・初期設定画面表示中
  - ・アクトビラなどのネットワークを利用する機能を使用中 など
- 2 台以上の機器で同時に視聴することはできません。
- 視聴中に本機を操作して初期設定画面を表示すると、視聴画面を終了します。
- 他社製機器で放送番組を視聴することはできません。(2010年 12 月現在)

映像が途切れたり、停止する場合

- ネットワーク通信速度が低い可能性があります。「レート変換モード」(**➜ 準備編 47**)を「オート」または「入」に設定すると、番組の画質を調整し、改善される場合があります。
  ただし、画質を調整すると、以下の制限があります。
  - ・早送り·早戻しができない
  - ・XP、SP、LP、EP、FR モードの番組は設定にかかわらず画質調整を行いません。
- 無線LAN使用時に映像の途切れなどが起こる場合、本体や無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は、有線で接続してください。
- 無線 LAN はすべてのご利用環境での動作を保証するものではありません。距離や障害物により十分な通信速度が出なかったり接続できない場合があります。

お部屋ジャンプリンク(DLNA)を使う(つづき)

別の部屋の機器の映像を見る(クライアントとして使用する)

本機からDLNA対応ディーガなどのHDDにある番組などを再生することができます。

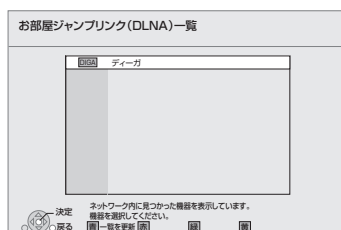
●ネットワーク接続と設定をする
(➜ 準備編 14、準備編 26)
●接続した機器側で、本機を登録する(当社製機器の場合は「お部屋ジャンプリンク(DLNA)」または「ビエラリンク(LAN)」で登録する)
(本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順1～4の操作を行ってください)

1 スタート **を押す**

2 **「ネットワーク機能を使う」を選び、決定を押す**

3 **「お部屋ジャンプリンク(DLNA)」を選び、決定を押す**

4 **接続する機器を選び、決定を押す**

例)

●選んだ機器の画面が表示されます。
●以降の操作については、接続した機器の説明書をご覧ください。

お知らせ

●ディスクまたは音楽を再生することはできません。また接続している機器によっては、写真を再生することはできません。
●接続環境によっては、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。

文字入力

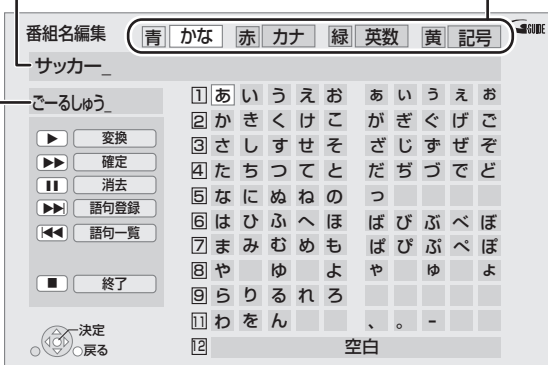
基本操作　選び ➡ 決定する

本機では、表示された画面によって 2 種類の文字入力方法があります。

文字パネル方式で文字入力する

(番組名、ディスク名、アルバム名、イベント名、マイラベル名、音楽の名前などを入力するとき)

1 青 赤 緑 黄 **で文字の種類を選び、決定を押す**

●漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

2 入力する文字を選び、決定を押す

●この手順を繰り返し、文字を入力します。

●ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。(➜ **下記**)

3 入力が終わったら、■停止 を押す

4 「保存」を選び、決定を押す

数字ボタン [1] ～ [9]、[11]、[12] でも文字を入力できます。

例:ひらがな「す」を選ぶ場合

① **[3] を押す**

●「さ」行に移動します。

② **[3] を 2 回押し、[決定] を押す**

●「す」が文字変換表示欄に表示されます。

ひらがなを確定する

[▶▶] を押す

ひらがなを漢字変換する

[▶ **再生**] を押したあと、変換候補を選び、

[**決定**] を押す

●[**戻る**] を押すと、入力画面に戻ります。

●JIS 第 1 水準の漢字コードのみ入力可能

文字を消す

[❚❚ **一時停止**] を押す

便利機能

文字入力(つづき)

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

① 語句を入力したあと、[▶▶|] を押す
② 「登録」を選び、[**決定**] を押す

語句を呼び出す

① [|◀◀] を押す
② 語句を選び、[**決定**] を押す

語句の消去

① [|◀◀] を押す
② 語句を選び、[**サブ メニュー**] を押す
③ 「語句消去」を選び、[**決定**] を押す
④ 「消去」を選び、[**決定**] を押す

携帯電話(リモコンボタン)方式で文字入力する

（フリーワード検索、アクトビラなどで入力するとき）

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。
(番組名やディスク名はこの方法では入力できません)

1 **[1] ～ [12] で文字を入力する**

例) 「えいが」と入力するとき

	▶			
4回押す (え)	1回押す	2回押す (い)	1回押す (か)	1回押す (゛)

えいが

●入力文字一覧表をご覧ください。(➜123)

☞ **漢字に変換するには**

[▲][▼] で変換候補を選び、[**決定**] を押す

●JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードのみ入力可能

映画
栄華
頴娃が
英が
瑛が

2 **(決定) を押す**

●この手順を繰り返し、文字を入力します。

映画 ―― カーソル

3 **「登録」を選び、(決定) を押す**

文字の種類を変換する

[**緑**] を押して文字の種類を選び、[**決定**] を押す

●[**緑**] を押すごとに、(かな→カナ→英数→数字)に切り換わります。
●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。

同じボタンで続けて入力する

[▶] でカーソルを右に移動させる

例)「あい」と入力する場合 :[1][▶][1][1] の順に押す

文節を分けて変換する

例)「えいが」の「えい」だけを変換する場合:

① 「えいが」と入力して、[▼] を押す
② [◀] を押して「えい」だけを選ぶ
③ 変換候補を選び、[**決定**] を押す

映画
えいが
映が

記号を入力する

① “きごう” と入力する
② 変換候補を選び、[**決定**] を押す

文字を追加する

カーソルを移動させたあと、文字を入力する
(カーソルの左に文字が追加されます)

文字を消す

カーソルを移動させたあと、[**黄**] を押す
(カーソルの文字が削除されます)

携帯電話方式での入力文字一覧表

ボタン／入力モード	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[10]	[11]	[12]
かな	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	、	わ	改行
	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	。	を	
	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	？	ん	
	え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	！	ゎ	
	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ	・	ー	
	ぁ	2	3	っ	5	6	7	ょ	9	（	スペース	
	ぃ			4				8		）		
	ぅ									0		
	ぇ											
	ぉ											
	1											
カナ	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	、	ワ	改行
	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	。	ヲ	
	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	？	ン	
	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ャ	レ	！	ヮ	
	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ュ	ロ	・	ー	
	ァ	2	3	ッ	5	6	7	ョ	9	（	スペース	
	ィ			4				8		）		
	ゥ									0		
	ェ											
	ォ											
	1											
英数	@	a	d	g	j	m	p	t	w	—	スペース	改行
	.	b	e	h	k	n	q	u	x	,		
	／	c	f	i	l	o	r	v	y	;		
	:	A	D	G	J	M	s	T	z	'		
	~	B	E	H	K	N	P	U	W	"		
	_	C	F	I	L	O	Q	V	X	?		
	1	2	3	4	5	6	R	8	Y	!		
							S		Z	(		
							7		9	)		
										&		
										¥		
										0		
数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例:「い」を入力するときは **[1]** を 2 回押す）
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて **[10]** を押してください。

お知らせ

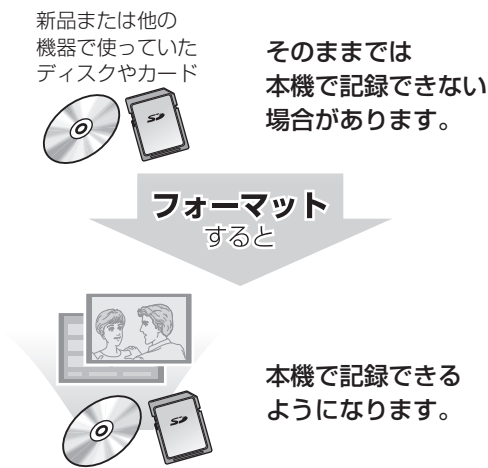
- 入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) 文字の種類によって入力できる文字数が少なくなる場合があります。

本機で記録できるようにする(フォーマット)

新品または他の
機器で使っていた
ディスクやカード

**そのままでは
本機で記録できない
場合があります。**

フォーマット
すると

**本機で記録できる
ようになります。**

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。(パソコンデータなども含む)すべて消去してよいか確認してから行ってください。
(番組やフォルダ、ディスクやカードにプロテクトを設定していても消去されます)

■ **ディスクの記録方式とフォーマットについて**

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。

ディスク	記録方式	フォーマット	特徴
BD-RE BD-R	—	必要	記録方式の設定はありません。どの番組でも記録できます。
RAM	VR 方式	—(ディスクによる)	標準画質で記録
	ビデオ方式	ビデオ方式はありません。	
	AVCREC 方式	必要	ハイビジョン画質で記録
-R	VR 方式	必要	標準画質で記録
	ビデオ方式	不要	デジタル放送は記録できません
	AVCREC 方式	必要	ハイビジョン画質で記録
-RW	VR 方式	必要	標準画質で記録
	ビデオ方式	必要	デジタル放送は記録できません
	AVCREC 方式	AVCREC 方式はありません。	

BD-RE BD-R RAM -R -RW SD

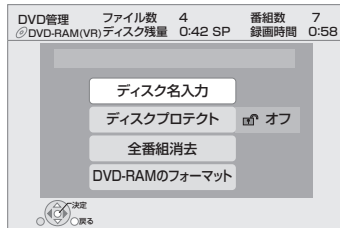
1 **スタート を押す**

2 **「ブルーレイ (BD)/DVD」または「SD カード」を選び、決定 を押す**

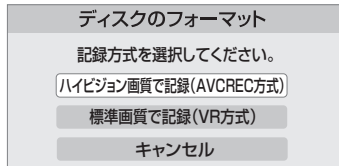
3 **「BD 管理」、「DVD 管理」または「カード管理」を選び、決定 を押す**

- 未使用の -R を入れた場合、「ディスクのフォーマット」の画面が表示されます。
  (➜ 手順5へ)

4 **フォーマットの項目を選んで、決定 を押す**

例) RAM

5 **画面の指示に従って、フォーマットする**

- DVD の場合、フォーマットの実行前に記録方式を選んでください。

例) RAM

お知らせ

- **フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。**
- SD 「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」は、BD-Live を利用して、SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合に実行してください。
- -R 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」(➜126)を行うと記録方式を変更できません。
- RAM -RW 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- HDD フォーマットは、「HDDのフォーマット」(➜133)で行ってください。
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去

BD-RE BD-R RAM -R -RW

（ファイナライズしたディスクではできません）

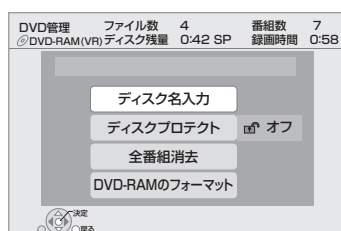
1 （スタート）を押す

2 「ブルーレイ (BD)/DVD」を選び、（決定）を押す

3 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、（決定）を押す

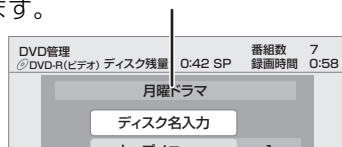
4 操作したい項目を選んで、（決定）を押す

（➜ 下記へ）

例）RAM

ディスク名入力

BD-RE BD-R RAM -R -RW

文字入力については（➜121）

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。

-R(V) -RW(V)

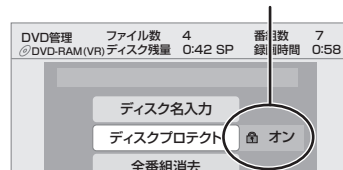
ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

ディスクプロテクト

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

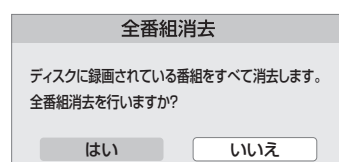
❺ 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、（決定）を押す

プロテクト設定すると「🔒 オン」が表示

全番組消去

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

例）RAM

全番組消去
ディスクに録画されている番組をすべて消去します。 全番組消去を行いますか?
はい　　いいえ

❺ 「はい」を選び、（決定）を押す

❻ 「実行」を選び、（決定）を押す

お知らせ

- 全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
- BD-RE RAM 写真や音楽データは消去されません。
- BD-R -R(AVCREC) -R(VR) 消去しても残量は増えません。

他の機器で再生できるようにする（ファイナライズ）

ファイナライズすると

DVD プレーヤーなどで再生できます。
ファイナライズ後、記録状態によっては
他の機器で再生できない場合があります。

VR方式

ファイナライズすると

再生する機器が、再生するディスクの VR 方式に対応している場合、再生できます。

ファイナライズすると

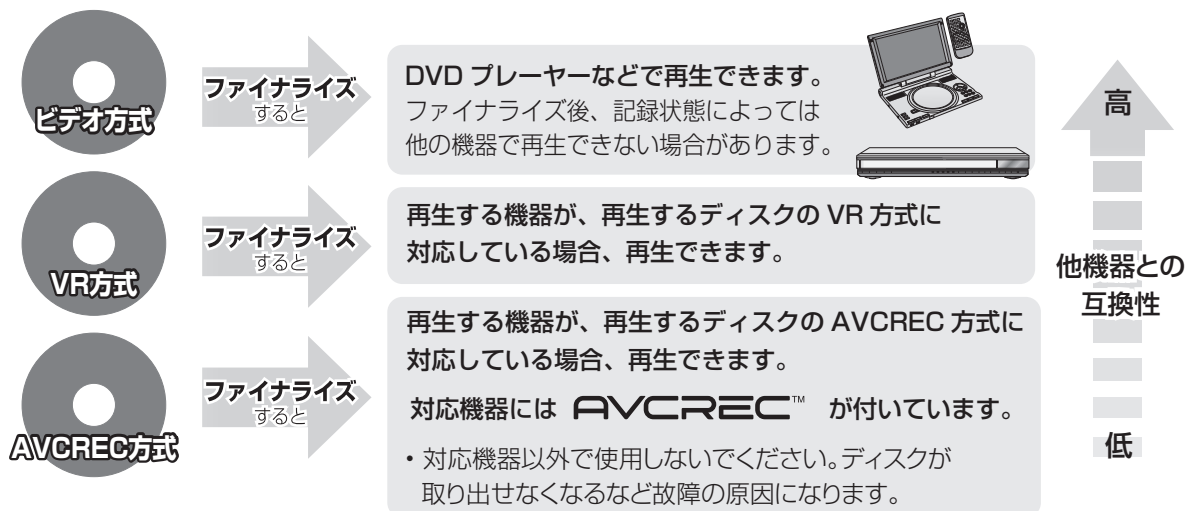
再生する機器が、再生するディスクの AVCREC 方式に対応している場合、再生できます。

対応機器には AVCREC™ が付いています。

・対応機器以外で使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。

高

他機器との互換性

低

BD-RE RAM ファイナライズは不要です。

126 ページ手順 1 ～ 4 のあとに操作します。

トップメニュー

-R(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

❺ **お好みの背景を選び、決定を押す**

● トップメニュー内に表示される画像（サムネイル）は変更できます。（➜62「サムネイル変更」）

ファーストプレイ選択

-R(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生の始めかたを設定できます。

❺ **「トップメニュー」または「タイトル 1 」を選び、決定を押す**

トップメニュー：番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル 1：先頭の番組から再生する

他の DVD 機器再生（ファイナライズ）
他の BD 機器再生（ファイナライズ）

-R -RW BD-R

❺ **「はい」を選び、決定を押す**

❻ **「実行」を選び、決定を押す**

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

● 本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。
● ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
● -RW(V) フォーマット（➜124）すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
● -RW(VR) 「ファイナライズ解除」（➜下記）を行うと、記録や編集ができます。

ファイナライズ解除

-RW(VR)

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。

❺ **「はい」を選び、決定を押す**

❻ **「実行」を選び、決定を押す**

お知らせ

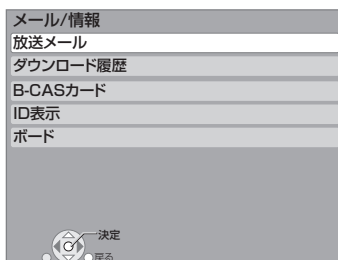
● 本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

いろいろな情報を見る(メール / 情報)

1 スタート を押す

2 「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

3 「メール / 情報」を選び、(決定)を押す

4 項目を選び、(決定)を押す

放送メール

放送局からのお知らせ(最大 31 通まで保存)や、本機の機能向上のためのダウンロード情報(最新の 1 通のみ保存)を確認することができます。

確認したいメールを選び、(決定)を押す

お知らせ

- ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。
- メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。

ダウンロード履歴

ダウンロードに失敗した番組や消去した番組を確認できます。

表示されていない番組を表示するには

① [サブ メニュー] を押す
② 「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す
③ 暗証番号(➜133「HDD番組の視聴制限」)を入力する

B-CAS カード

契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、B-CAS カードの番号が必要な場合に使用します。

ID 表示

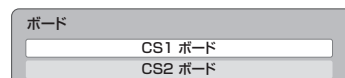
本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

その他の情報を見るには

- [青]:本機のソフト情報を表示
- [赤]:データ放送時のルート証明書情報を表示

ボード

110 度 CS デジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。

❶ **「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選び、(決定)を押す**

❷ **確認したい情報を選び、(決定)を押す**

放送設定を変える(放送設定)

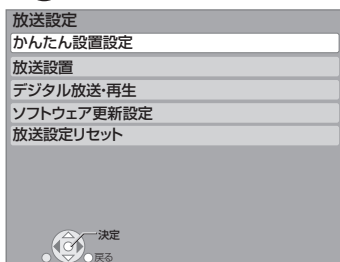
基本操作 選び ➡ 決定する

1 を押す

2 「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 「放送設定」を選び、決定を押す

4 メニューを選び、決定を押す

5 設定項目を選び、決定を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 設定内容を変更する

お知らせ

●操作方法が異なる場合は、画面の指示に従ってください。

かんたん設置設定

かんたん設置設定(➜ 準備編 24)

放送設置

受信対象設定

使わない放送を操作できないようにします。

●地上デジタルは設定できません。

BS/CS

チャンネル設定(➜ 準備編 38)

地上デジタル /BS/CS1/CS2

番組表設定

G ガイド地域設定

「かんたん設置設定」(➜ 準備編 24)を行うと、自動的に設定されます。

G ガイド受信確認

番組表の受信スケジュールを確認できます。

通信による G ガイド受信

「オン」に設定すると、1 ヵ月の番組表や注目番組を取得することができます。

●番組表はインターネットを利用して取得します。そのためネットワークの接続と設定が必要です。

●「オン」にすると、常時接続状態になります。

● 1 ヵ月の番組表の取得やフリーワード検索などの検索には、時間がかかります。

●2010 年 12 月現在、ネットワークから番組情報を取得できる放送局は NHK、WOWOW のみです。

地域設定(➜ 準備編 40)

県域設定

郵便番号

地域設定削除

受信設定(➜ 準備編 36)

地上デジタル

アッテネーター

物理チャンネル選択

物理チャンネル(➜準備編36)を指定してアンテナレベルを確認します。

衛星

アンテナ電源

アンテナ出力

本機のBS・110度CSアンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。

トランスポンダ選択

衛星周波数

(放送局からの案内がない限り、変更しないでください)

B-CAS カードテスト(➜ 準備編 41)

デジタル放送・再生

字幕の設定

デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど(文字スーパー)を表示させるための設定です。

録画モード「XP」、「SP」、「LP」、「EP」、「FR」で録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時に切り換えできません。

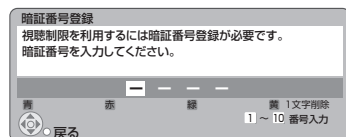
設定しても番組によって無効になる場合があります。

字幕

字幕言語

文字スーパー

文字スーパー言語

制限項目設定

画面の指示に従って[1]～[10]を押し、暗証番号を入力する

- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。

視聴可能年齢

- 視聴制限のある番組の視聴できる年齢の上限を設定できます。上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。
- 年齢制限を超える番組は、番組表などで「･･･」と表示されます。

ブラウザ制限

「テレビでネット」を利用するとき、暗証番号の入力が必要かどうかの設定をします。

暗証番号変更

暗証番号削除

設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

- 暗証番号を入力すると、番組が映ります。

選局対象

デジタル放送で **[チャンネル ∧,∨]** を押して順送りできるチャンネルを設定できます。

- 「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されているPo1～36までのチャンネルを選局します。番組表の表示では枝番号の表示をしないようになります。

ソフトウェア更新設定

ダウンロード予約

デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機のソフトウェア(制御プログラム)を最新のものに書き換えます。(➜141)

- 「自動」にすると、電源「切」時に自動的にダウンロードします。
- 「手動」にすると、情報が届いたときにメールで知らせます。(➜128「放送メール」)

放送設定リセット

設定項目リセット

「アンテナ電源」「アンテナ出力」(➜129)をお買い上げ時の設定に戻します。

個人情報リセット

時刻設定以外の初期設定と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報(メールやデータ放送のポイントなど)や、予約内容も消去します。廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。

お知らせ

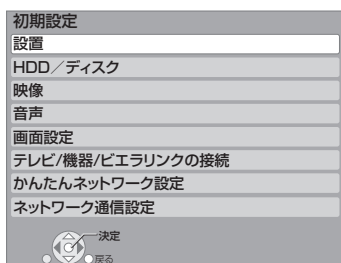
- 双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDDのフォーマット」(➜133)を行ってください。

本機の設定を変える（初期設定）

1 スタート **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「初期設定」を選び、決定 を押す

4 メニューを選び、決定 を押す

5 設定項目を選び、決定 を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 設定内容を変更する

お知らせ

●操作方法が異なる場合は、画面の指示に従ってください。

設置

自動電源〔切〕

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。
時間を設定すると、本機の動作（録画やダビングなど）が終了してから2時間後または6時間後に、電源が切れます。

リモコン設定（➜準備編 42）

リモコン受信方式
無線方式詳細設定
赤外線方式詳細設定

ワイドモード（➜準備編 34）

テレビのS映像入力端子に合わせて出力を設定します。

時刻合わせ（➜準備編 45）

音声ガイドの設定

番組表の内容や録画一覧、選局時、エラーメッセージなどを音声や操作音でお知らせします。

●実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。
●「音声ガイド機能」を「入」に設定すると、「デジタル出力」（➜134）は自動的に「PCM」になります。（「切」に戻しても「PCM」のままです）
●外部入力、DV 入力のときは、出力されません。

音声ガイド機能

読み上げ音量

読み上げ速度

本体ボタン操作音量 DMR-BZT900

本体の [電源 ⏻/I] または [▲開/閉] を押したときの操作音量を設定します。

クイックスタート

電源「切」状態からの起動を高速化します。
例 :番組表を約1秒で表示します。

●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。
●「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。
・待機時消費電力が増えます。
・本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ（1週間に一度程度）に、本機全体を再起動することがあります。（再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません。また、本機から動作音がしますが、故障ではありません。）
・テレビとHDMI端子で接続時は、テレビの無信号自動オフ機能が働かない場合があります。
●以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」になります。
・「ビエラリンク録画待機」（➜136）:「入」
・「i.LINK 機器モード設定」（➜137）:「TS モード 2」
・「接続形態」（➜139）:「インターネット」または「家庭内ネット」
・「お部屋ジャンプリンク機能」（➜139）:「入」
・「ドアホン・センサーカメラ接続」（➜139）:「入」
・ビデオコミュニケーション側で電源「切」時の設定

初期設定リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。
ただし、以下の設定は戻りません。
・リモコン設定
・時刻
・DVD-Video の視聴制限
・BD-Video の視聴可能年齢
・HDD 番組の視聴制限
・D 端子映像出力
・かんたんネットワーク設定
・LAN 接続形態
・無線設定
・IP アドレス /DNS 設定
・プロキシサーバー設定

ソフトウェア更新(ネットワーク)

本機をネットワーク接続している場合、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。更新する場合は、画面の指示に従ってください。

●更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。
・本機の電源を切る
・電源プラグをコンセントから抜く

HDD/ ディスク

再生設定(再生専用ディスク)

DVD-Video の視聴制限※1

DVDビデオの視聴制限ができます。
制限レベルの記録されている DVD ビデオ(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可になります。

BD-Video の視聴可能年齢※1

BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。
年齢制限の記録されている BD ビデオ(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可になります。

●「年齢入力」を選んで**[決定]**を押すと、**[1]**～**[10]**で年齢を入力できます。

BD-Live インターネット接続※1

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

3D ディスクの再生方法

3D ディスクの再生方法を選びます。

音声言語※2

再生時の音声を選びます。

●「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語※2

再生時の字幕言語を選びます。

●「オート」は、「音声言語」の言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語※2

テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード

BD-RE **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)**

ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画(AVCHD)が混在したディスクで再生する動画を設定します。

●「入」はハイビジョン動画(AVCHD)を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

シアターモード **DMR-BZT900**

市販の BD ビデオや DVD ビデオ、音楽 CD の再生時に HDD の回転を止めて、より視聴に適した環境で映画や音楽を楽しむことができます。

記録設定

EP 時の記録時間

録画モードがEP時に、4.7 GB ディスクに記録できる最大記録時間を設定します。

高速ダビング用録画

以下の場合に記録した番組を **-R(V)** **-RW(V)** に高速でダビングするための設定です。

●外部入力や DV 入力から記録
●ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)をダビング

「入」にすると、高速でダビングできるようになりますが、制限がかかります。

●番組は以下の設定に従い記録されます。
・画面サイズ:「ビデオ方式の記録アスペクト」(➜下記)
・二重放送の音声:「二重放送音声記録」(➜ 134)
●コピー制限のある番組は、設定にかかわらず「切」の状態で記録されます。

ビデオ方式の記録アスペクト

記録時のアスペクトの設定をします。
以下の記録時に有効

● **-R(V)** **-RW(V)** への記録時
●「高速ダビング用録画」(➜上記)が有効なとき

高速ダビング速度

高速モードでのダビング速度を設定します。
（高速記録対応ディスクの場合など）

自動チャプター

デジタル放送録画時に CM などで自動的にチャプターを作成する設定をします。

●録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

持ち出し番組の VGA 画質

「持ち出し方法」を「SD/USB 経由」、「持ち出し番組の画質」を「高画質（VGA）」に設定して作成する場合に、記録する画質（1.5 Mbps/1.0 Mbps）を変更します。

デジタル放送の記録アスペクト

デジタル放送を HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで記録する場合のアスペクトの設定をします。

HDD 番組の視聴制限※1

年齢制限の記録されている番組の視聴制限を設定できます。（年齢制限が視聴制限以上の番組は録画一覧で表示されなくなります）

HDD 設定

音楽録音音質

音楽CDからHDDへ録音する場合の音質を選びます。

●「LPCM」は音楽 CD と同じ音質で録音します。

HDD 管理

全番組消去

番組をすべて消去します。

全写真消去

写真をすべて消去します。

HDD のフォーマット

HDD の初期化を行います。

※ 1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1] ～ [10] で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。
暗証番号は忘れないでください。

※ 2 「その他＊＊＊＊」の場合、＊には [1] ～ [10] で言語番号(➜141)を入力してください。
選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。

映像

スチルモード

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

●「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。

●「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生

部分消去した部分などをなめらかに再生します。

●「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

HD ノイズフィルター

ハイビジョン信号をざらつきが少なく柔らかい画像にします。

音声

音声のダイナミックレンジ圧縮

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。
Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD に有効

- 「オート」は、Dolby TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

デジタル出力

Dolby D/Dolby D+/Dolby TrueHD
DTS/DTS-HD
AAC

音声の出力方法を選びます。

- 接続機器が、それぞれの音声に対応していない場合、「PCM」にしてください。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。

BD ビデオ副音声・操作音（副音声を含む BD-V）

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。

PCM ダウンサンプリング変換

サンプリング周波数96 kHzで収録された音声を48 kHzに変換する(「入」)かしない(「切」)かを選びます。

- 96 kHzに非対応の機器に接続時は「入」を、対応した機器に接続時は「切」にしてください。
- 以下の場合、48 kHzに変換されます。
  - ・BD-V 「BD ビデオ副音声・操作音」(➜上記):「入」
  - ・BD-V 192 kHz 以上の信号
  - ・著作権保護処理がされているディスク

ダウンミックス

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

- 「デジタル出力」(➜上記)が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。
- 2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。
- 以下の場合は、「ノーマル」で出力されます。
  - ・AVCHD 再生時
  - ・BD-V 副音声や操作音を含んでの再生時

二重放送音声記録

二重放送時、記録する音声を選びます。
以下の場合、両音声を記録できません。

- -R(V) -RW(V) への記録
- 「高速ダビング用録画」(➜132)が有効なとき
- 「XP時の記録音声モード」(➜下記)を「LPCM」にして、録画モード「XP」での記録
- 「外部入力の音声」(➜下記)が「二重音声」の場合

XP 時の記録音声モード

録画モードが「XP」での記録時、音声を選びます。

- 「LPCM」にした場合:
  - ・画質は少し下がります。
  - ・二重放送の音声は「二重放送音声記録」(➜上記)であらかじめ選んでください。

外部入力の音声

外部入力(L1)からの録画時、音声の種別を選びます。

- 「二重音声」にした場合、「二重放送音声記録」(➜上記)で音声をあらかじめ選んでください。

DV 入力時の音声設定

i.LINK(DV入力 /TS)端子からの録画時、音声の種類を選びます。音声は以下のようになります。

- 「ステレオ 1 」は、録画時の音声(L1、R1)
- 「ステレオ 2 」は、編集などであとから追加した音声(L2、R2:ナレーションなど)
- 「MIX」は、ステレオ 1 とステレオ 2 の音声
- 二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」(➜上記)で音声をあらかじめ選んでください。

ハイクラリティサウンド DMR-BZT900

HDMI 端子から映像を出力している場合、音質に影響のあるアナログ映像信号をカットし、音質をよりクリアにします。

- 「有効」に設定したあと、「ハイクラリティサウンド」(➜59)を「入」にしたときのみ有効です。

音声ディレイ

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

画面設定

画面表示動作〔オート〕

操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能

通常は「入」に設定しておくことをおすすめします。
「入」に設定すると、以下のような動作を行います。

- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。
- 黒帯部分を明るくします。
  [D 端子または HDMI 端子と接続して、「D端子出力解像度」(➜137)が「D3」「D4」のときや「HDMI出力解像度」(➜136)が「480p」以外のとき]

本体表示窓の明るさ

本体表示窓の明るさを調節します。

- 「オート」は、再生中は暗くなり、電源「切」時は時計表示を含むすべてを消灯するため、消費電力の節電になります。

SD カード LED 制御

SD カードスロットの上にあるランプの点灯方法を設定します。

- 「カード入点灯」は、電源「入」時に、SDカードを入れると点灯します。

HDMI(SUB) 音声専用 LED 制御 DMR-BZT900

本体前面の“HDMI(SUB) 音声専用”の点灯・消灯の設定をします。

- 「入」にすると、「HDMI(SUB) 出力モード」(➜136)が「音声専用」の場合、HDMI(SUB) 端子に接続している機器の電源「入」時に点灯します。

必要なとき

テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続

3D 設定

3D 方式設定
接続しているテレビの方式に設定します。
●「サイドバイサイド」の場合、テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。

3D 再生時の注意表示
3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

ビエラリンク設定

ビエラリンク制御
ビエラリンク(HDMI)に対応した機器と HDMI 端子と接続時、連動操作の設定をします。

ビエラリンク録画待機
ビエラの電源が「入」のときに、本機がすぐに録画できる状態に設定します。
●「入」にすると、「クイックスタート」(➜131)は自動的に「入」になります。

オートサウンド連携
ビエラリンク(HDMI)Ver. 3 以降に対応したビエラとアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り換えます。

ECO スタンバイ
ビエラリンク(HDMI)Ver. 4 以降に対応したビエラと接続時、ビエラの電源「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を最小にします。
●「入」に設定すると、ビエラの電源「切」時に以下の設定時と同じように動作します。
・「本体表示窓の明るさ」(➜135):「オート」
・「クイックスタート」(➜131):「切」
「クイックスタート」が「入」に固定される状態の場合、待機時消費電力は最小になりません。
ビエラの電源「入」時には、上記の設定は実際の設定どおりに動作します。

TV アスペクト (➜準備編 35)
接続したテレビに合わせて設定します。

HDMI 接続

HDMI 映像優先モード (➜準備編 32)

HDMI(SUB)出力モード (➜準備編 33) DMR-BZT900
HDMI(SUB) 端子からの映像を出力するかどうかを設定します。

HDMI 出力解像度
接続した機器が対応している項目に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。
① [決定]と[青]と[黄]を同時に 5 秒以上押す
・本体表示窓に "00 RET" が表示されます。
② 本体表示窓に "04 PRG" が表示されるまで[▶]を数回押す
③ [決定]を 3 秒以上押す
・「480p」に設定されます。再度正しく設定してください。
●「720p」の場合、720p の映像以外は、1080i で出力されます。

24p 出力
BD-V AVCHD 映画など24p記録された素材を24p出力します。(AVCHD は DMR-BZT900 のみ対応)
●「HDMI 出力解像度」(➜上記)が「オート」または「1080i」、「1080p」のときに有効です。
●24 p 出力時は、HDMI 端子以外の端子からは正しく出力されないことがあります。
●24p以外の素材は BD-V AVCHD の場合60iまたは60p で出力されます。
DVD-V や録画した番組を 24p 出力するには、この設定を「入」にして、「24p」(➜59)を「入」にしてください。(録画した番組は DMR-BZT900 のみ対応)

HDMI カラースペース DMR-BZT900
HDMI端子で接続時、映像信号のカラースペース変換方法を選びます。

HDMI RGB 出力レンジ DMR-BZT800
RGB入力のみに対応した機器(DVI機器など)との接続時に有効

HDMI 音声出力 (➜準備編 32)

Deep Color 出力
Deep Color対応テレビと接続時に設定します。

7.1ch 音声リマッピング BD-V

6.1チャンネル以下のサラウンド音声を自動的に7.1チャンネルに拡張して再生します。

●以下の場合に有効
- ･接続する機器が 7.1 チャンネル･サラウンドに対応している場合
- ･「デジタル出力」(➜134)が「PCM」の場合
- ･音声が Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD または LPCM のとき

●「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。(6.1チャンネルの場合は5.1チャンネルで再生します)

●DTS音声は「切」にしても、DTS, Inc.の仕様により7.1 チャンネルに拡張して再生します。

コンテンツタイプフラグ

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

D 端子出力解像度

D 端子から出力する解像度を設定します。

●「D4」に設定すると、720pの映像以外は、1080iで出力されます。

●設定を変更して映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

① **[決定]**と**[青]**と**[黄]**を同時に 5 秒以上押す
　･本体表示窓に“00 RET”が表示されます。

② 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで**[▶]**を数回押す

③ **[決定]**を 3 秒以上押す
　･「D1」に設定されます。

D 端子映像出力

D 端子からの映像の出力方法を設定します。「オート」の場合、D 端子に接続しているときのみ映像を出力するので、消費電力の節電になります。

TV アスペクト (4:3) の設定

4:3テレビに接続時、16:9映像の映しかたを選びます。

●「パン & スキャン」は左右の切れた映像で、「レターボックス」は上下に帯のある映像で再生します。

パン & スキャン

レターボックス

DVD-Video の 16:9 映像

パン&スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。

録画ディスクの 16:9 映像

「スルー」は、録画された映像のままで再生します。

● HDD DR、HG、HX、HE、HL、HM、HZモードの番組は、レターボックスで再生します。

i.LINK 機器モード設定

i.LINK(DV入力/TS)端子に接続した機器に合わせて設定します。

●「TS モード 2」にすると、「クイックスタート」(➜131)は自動的に「入」になります。

i.LINK 端子切換

映像を入出力する端子を設定します。

●前面端子と背面端子の両方を同時に使用できません。

●背面端子からの録画中に前面端子に接続しても、前面端子には切り換わりません。

本機の設定を変える（初期設定）（つづき）

かんたんネットワーク設定

かんたんネットワーク設定（➜ 準備編 26）

ネットワーク通信設定

基本設定

通常は設定不要です。

「かんたんネットワーク設定」（**➜上記**）を行ってもネットワークにつながらない場合に設定してください。

●不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

LAN 接続形態

ネットワーク接続の方法を選びます。

無線設定

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との接続設定に進むことができます。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。

接続設定

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との接続を行います。

倍速モード設定（2.4GHz）

無線方式が2.4 GHzの場合、通信速度を設定します。

●「倍速モード（40 MHz）」で通信を行うと、2 チャンネル分の周波数帯域を使うため、電波干渉が起こりやすくなる恐れがあります。そのため、通信速度が低下したり、通信が不安定になったりする場合があります。

IP アドレス /DNS 設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

●ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス /DNS 設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。

●「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。

●「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IP アドレス自動取得

通常は「入」を選んでおいてください。

IP アドレス

サブネットマスク

ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP※サーバー機能がない場合、ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていないときのみ設定してください。

●「IP アドレス自動取得」（**➜上記**）を「切」にしたあと設定します。

●パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

※サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS

セカンダリ DNS

手動で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

●「DNS-IP 自動取得」（**➜上記**）を「切」にしたあと設定します。

●パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

接続速度自動設定

通常は「入」を選んでおいてください。

接続速度設定

ハブやルーターとの通信ができない場合に設定してください。

●「接続速度自動設定」（**➜上記**）が「切」時のみ有効

●接続速度は、接続するネットワークの環境に合わせて選んでください。

●設定を変えた場合、機器によっては接続できなくなることがあります。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

- プロキシサーバーを設定すると、アクトビラのサービスが利用できなくなります。

標準に戻す

プロキシアドレス

プロキシポート番号

接続テスト

宅外 / 宅内からの操作設定

ブロードバンドレシーバー設定 (➜ 準備編 48)

接続形態

- 「インターネット」「家庭内ネット」にすると、「クイックスタート」(➜131)は自動的に「入」になります。

ネットワークからの番組消去

機器パスワード初期化

機器 ID 確認

宅内ネットワーク設定

お部屋ジャンプリンク(DLNA)/スカパー! HD録画設定 (➜ 準備編 46)

お部屋ジャンプリンク機能

- 「入」にすると、「クイックスタート」(➜131)は自動的に「入」になります。

本機の名称

アクセス許可方法

レート変換モード

機器一覧

ネットワークプリンターの接続設定 (➜ 準備編 50)

プリンター検索

ドアホン・センサーカメラの接続設定 (➜準備編49)

ドアホン・センサーカメラ接続

- 「入」にすると、「クイックスタート」(➜131)は自動的に「入」になります。

ドアホン録画

センサーカメラ録画

機器一覧

MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

表示される番号は、「LAN 接続形態」(➜138)の設定によって、以下のようになります。

- 「有線」:背面の LAN 端子に割り当てられた番号
- 「無線」:内蔵の無線 LAN に割り当てられた番号

デジタル出力される音声と接続・設定の関係

[表内の ch(チャンネル数)は最大チャンネル数を表示]

<table>
<tr><th>接続端子</th><th colspan="4">HDMI 端子</th><th colspan="4">デジタル音声出力端子</th></tr>
<tr><th>「デジタル出力」の設定</th><th colspan="2">Bitstream※1</th><th colspan="2">PCM※2</th><th colspan="2">Bitstream</th><th colspan="2">PCM</th></tr>
<tr><th>「BD ビデオ副音声・操作音」の設定</th><th>入※3</th><th>切</th><th>入※4</th><th>切</th><th>入</th><th>切</th><th>入</th><th>切</th></tr>
<tr><td>Dolby Digital
Dolby Digital EX※5</td><td rowspan="2">Dolby Digital</td><td rowspan="5">オリジナルの音声で出力</td><td colspan="2">DVD-V 5.1ch
BD-V 7.1ch※7</td><td colspan="2">Dolby Digital
Dolby Digital EX※6</td><td colspan="2" rowspan="5">ダウンミックス 2ch</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital Plus
Dolby TrueHD</td><td colspan="2">7.1ch</td><td colspan="2">Dolby Digital</td></tr>
<tr><td>DTS Digital Surround
DTS-ES※5</td><td rowspan="3">DTS Digital Surround</td><td colspan="2">DVD-V 5.1ch
BD-V 7.1ch※8</td><td colspan="2">DTS Digital Surround
DTS-ES※6</td></tr>
<tr><td>DTS-HD High Resolution Audio</td><td colspan="2" rowspan="2">7.1ch※8</td><td colspan="2" rowspan="2">DTS Digital Surround</td></tr>
<tr><td>DTS-HD Master Audio</td></tr>
<tr><td>7.1ch LPCM</td><td colspan="4">7.1ch PCM</td><td colspan="4">ダウンミックス 2ch PCM</td></tr>
</table>

※ 1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM(例:テレビなど)で出力します。

※ 2 接続する機器がディスクに記録されているチャンネル数に非対応の場合、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

※ 3 BD-V 副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」(➜134)を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

※ 4 副音声や操作音を含む BD ビデオの再生時は、5.1ch で出力します。

※ 5 PCM 出力する場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital として、DVD に記録された DTS-ES は DTS Digital Surround として、BD に記録された DTS-ES は DTS-ES としてデコードした PCM 音声になります。

※ 6 BD-V 「BD ビデオ副音声・操作音」(➜134)を「入」に設定した場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital、DTS-ES は DTS Digital Surround の Bitstream で出力します。ただし、副音声や操作音を含まない BD ビデオの再生時は、オリジナルの音声で出力します。

※ 7 BD-V 「7.1ch 音声リマッピング」(➜137)が「切」時は 5.1ch になります。

※ 8 DTS, Inc. の仕様により 5.1ch または 6.1ch から 7.1ch に自動的に拡張して出力します。

ソフトウェアの更新について

電源「切」の状態で、デジタル放送から送られてくる情報を本機に取り込む(オンエアーダウンロード)ことにより、自動的に本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。

- お買い上げ時は、本機が更新を自動で行う設定になっています。**(➜130「ソフトウェア更新設定」)**

ソフトウェアのダウンロード実行中は、本体表示窓が以下のように表示します。

DL 1/5 (1/5などはダウンロードの進行状況です)

"DL 5/5"まで表示したあと時計表示に変わるまで本機を操作できません。

お知らせ

- ダウンロードの実行中は、故障の原因になりますので、**絶対に電源コードを抜かないでください。**
- オンエアーダウンロードには、地上デジタル放送または BS デジタル放送の受信環境が必要です。
- 本機をネットワーク接続している場合、インターネットを利用して、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。
[➜132「ソフトウェア更新(ネットワーク)」]

言語番号一覧

アイスランド 7383
アイマラ 6589
アイルランド 7165
アゼルバイジャン 6590
アッサム 6583
アファル 6565
アフリカーンス 6570
アブハジア 6566
アムハラ 6577
アラビア 6582
アルバニア 8381
アルメニア 7289
イタリア 7384
イディッシュ 7473
インターリングア 7365
インドネシア 7378
ウェールズ 6789
ウォロフ 8779
ウクライナ 8575
ウズベク 8590
ウルドゥー 8582
ヴォラピュック 8679
英語 6978
エストニア 6984
エスペラント 6979
オーリヤ 7982
オランダ 7876
カザフ 7575
カシミール 7583
カタロニア 6765
ガリチア 7176
韓国(朝鮮)語 7579
カンナダ 7578
カンボジア 7577
キルギス 7589
ギリシャ 6976
クルド 7585
クロアチア 7282
グアラニー 7178
グジャラト 7185
グリーンランド 7576
グルジア 7565
ケチュア 8185
ゲール(スコットランド) 7168
コーサ 8872
コルシカ 6779
サモア 8377
サンスクリット 8365
ショナ 8378
シンド 8368
シンハラ 8373
ジャワ 7487
スウェーデン 8386
スペイン 6983
スロバキア 8375
スロベニア 8376
スワヒリ 8387
スンダ 8385
ズールー 9085
セルビア 8382
セルボクロアチア 8372
ソマリ 8379
タイ 8472
タガログ 8476
タジク 8471
タタール 8484
タミル 8465
チェコ 6783
チベット 6679
中国語 9072
ティグリニア 8473
テルグ 8469
デンマーク 6865
トウイ 8487
トルクメン 8475
トルコ 8482
トンガ 8479
ドイツ 6869
ナウル 7865
日本語 7465
ネパール 7869
ノルウェー 7879
ハウサ 7265
ハンガリー 7285
バシキール 6665
バスク 6985
パシュト 8083
パンジャブ 8065
ヒンディー 7273
ビハール 6672
ビルマ 7789
フィジー 7074
フィンランド 7073
フェロー 7079
フランス 7082
フリジア 7089
ブータン 6890
ブルガリア 6671
ブルターニュ 6682
ヘブライ 7387
ベトナム 8673
ベロルシア(白ロシア) 6669
ベンガル(バングラ) 6678
ペルシャ 7065
ポーランド 8076
ポルトガル 8084
マオリ 7773
マケドニア 7775
マダガスカル 7771
マライ(マレー) 7783
マラッタ 7782
マラヤーラム 7776
マルタ 7784
モルダビア 7779
モンゴル 7778
ヨルバ 8979
ラオ 7679
ラテン 7665
ラトビア(レット) 7686
リトアニア 7684
リンガラ 7678
ルーマニア 8279
レトロマンス 8277
ロシア 8285

同時操作について

番組の録画中・ダビング中にできる操作

（○：できる　×：できない）

	HDD の再生	ディスクの再生	SD カードの再生	ダビング	編集	写真の再生・取り込み	HDD の音楽再生	ドアホン・センサーカメラ録画	持ち出し番組の転送
DR モードで HDD に録画中	○	○	○※1	○※8	○	×	○	○	○
HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで HDD に録画中	○※2	○	○※1	○※8	○※2	×	○	○	○
XP、SP、LP、EP、FR モードでHDDに録画中	○※2	○※3	×	×	○※2	×	○	○	○
BD ディスクに予約録画中	○※2	×	○※4	×	○※2※5	×	○	○	×
DVD ディスクに予約録画中	○※2	×	×	×	○※2※5	×	○	○	×
i.LINK（TS）入力から録画中	○	○	○※1	○※8	○	×	○	○	○
DV 入力から録画中	×	×	×	×	×	×	×	○	×
スカパー! HD の番組を録画中	○	○※3	×	○※6※8	○	×	○	×	○
ダビング中（ファイナライズあり）	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1 倍速でダビング中（ファイナライズなし）	○※2	×	×	×	○※2※5	×	×	○	×
高速でダビング中（ファイナライズなし）	○	×※7	×	×	○※5	×	×	○	×

- 「外部入力（L1）取込」「DV おまかせ取込」中は同時操作はできません。
- HDD の残量が少なくなると、同時操作はできなくなることがあります。
- AVCHD の取り込み中は同時操作はできません。

※1　DR、HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで録画中は、AVCHD の動画のみ再生できます。（写真や音楽は再生できません）
※2　DRモード以外で録画中や1倍速ダビング中は、「1080/60p」の表示がある番組は再生や編集ができません。
※3　市販の映画などが記録された BD ビデオや AVCHD のディスクは再生できません。
※4　DR モードで録画中は、AVCHD の動画のみ再生できます。（写真や音楽は再生できません）
※5　ディスクに録画中やダビング中にディスクの編集はできません。
※6　1 倍速ダビングはできません。
※7　HDD の番組を複製中は、再生できます。
※8　ファイナライズを含むダビングは実行できません。

他の操作を実行中の予約録画の動作

（○：実行する　×：実行しない）

他の操作	予約録画の実行	他の操作	予約録画の実行
録画中	○※1	音楽の録音・転送・バックアップ・復元中	×
再生中（番組・音楽）	○※2※3	SD/USB 経由で持ち出し番組を転送中	○※6
再生中（写真）	○※4	ネットワーク経由で持ち出し番組を転送中	○※1※7
番組の編集の処理を実行中	○	ドアホン・センサーカメラ録画中	○※1※7
写真・音楽の編集の処理を実行中	×	ドアホン・センサーカメラ再生中	○
番組をダビング中（ファイナライズあり）	×	ドアホン・センサーカメラ映像のバックアップ・復元中	×
番組をダビング中（ファイナライズなし・未フォーマット）	○※5	フォーマット中	×
番組を高速でダビング中（ファイナライズなし・フォーマット済）	○	ファイナライズ中	×
番組を 1 倍速でダビング中（ファイナライズなし・フォーマット済）	○※5	番組キープ中	○※1
本機から他機器へi.LINK（TS）ダビング中	×	アクトビラを表示中	○※4
他機器から本機へi.LINK（TS）ダビング中	○※1	番組をダウンロード中	○※8
外部入力（L1）取込中	○※4	動画共有サイトなどのサービスを利用中	○※4
DV おまかせ取込中	○※4	お部屋ジャンプリンク（DLNA）利用中（「ビデオを見る」「写真を見る」のとき）	○※1※7
AVCHD 取込中	×	お部屋ジャンプリンク（DLNA）利用中（「放送を見る」のとき）	○※4
写真の取り込み・書き出し中	×	お部屋ジャンプリンク（DLNA）利用中（クライアントとして使用時）	○※4
写真の印刷中	○※4	ソフトウェア更新中（ネットワーク）	×

※1　複数の番組を録画できない状態のときは、予約録画が優先され、実行中の操作は終了します。

※2　ディスク再生中にディスクへの予約録画が始まったときや、BD ビデオや AVCHD ディスクを再生中に XP、SP、LP、EP、FR モードの予約録画またはスカパー! HD の予約録画が始まると、再生は終了します。

※3　**DMR-BZT900** 「シアターモード」（➜132）が「入」の場合、市販の BD ビデオや DVD ビデオ、音楽 CD を再生中に、予約録画は実行されません。

※4　実行中の操作は終了します。

※5　XP、SP、LP、EP、FR モードの予約録画またはスカパー! HD の予約録画は実行されません。

※6　ディスクへの予約録画が始まると、HDD に代替録画されます。

※7　スカパー! HD の番組の予約録画の場合、予約録画が優先され、実行中の操作は終了します。

※8　複数の番組を録画できない状態のときやスカパー! HD の番組の予約録画の場合、実行中の操作は中断します。

- 予約録画が実行されなかった場合、それぞれの操作終了時点から予約録画が始まります。（スカパー! HD の番組の予約録画は、実行されません）

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

BD ビデオ	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク(リージョンコード)が表示されたディスクを再生できます。	「A」または「A」を含むもの 例) ●リージョンコードは国により違います。
DVD ビデオ	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。	「2」(または「2」を含むもの)、「ALL」が表示されたもの 例) ●番号は国により違います。
CD	**●音楽や音声が記録された市販ソフト** (CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む) **●写真が記録された CD-R や CD-RW**	
+R +R DL(片面2層) +RW	**●他の DVD レコーダーで録画されたディスク** (録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます) **●写真が記録されたディスク**	

●記録状態によって再生できない場合があります。
●CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。
●8 cm ディスクに記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。
●本機では、「RAM 2」マークのついたDVD-RAMディスク(6X以上の 高速記録対応)の記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。
●他機器でハイビジョン動画(AVCHD)を記録したディスクの編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。

本機で使えないディスク

●カートリッジから取り出せない DVD-RAM(TYPE1) ●BD-RE(Ver.1.0)
●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていないDVD-R(ビデオ方式)、DVD-R DL(ビデオ方式)、DVD-RW(ビデオ方式)
●PAL方式で記録されたディスク
●HD DVD ●ビデオCD ●SACD ●SVCD ●DVDオーディオ
●Photo-CD ●パソコンやゲームのソフト など

SD カードについて

本機で使えるカード

SD メモリーカード(8 MB ～ 2 GB)
(miniSD メモリーカード、microSD メモリーカードを含む)
SDHC メモリーカード(4 GB ～ 32 GB)
(microSDHC メモリーカードを含む)
SDXC メモリーカード(48 GB、64 GB)
(microSDXC メモリーカードを含む)

- 本書では上記カードのことを「SD カード」と記載しています。
- mini タイプ、micro タイプの SD カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- SD カードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットしてください。**(➜124)**
- **SDHC メモリーカードと SDXC メモリーカードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。(SDHC メモリーカードは SDXC メモリーカード対応機器でも使用できます)**
  非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。

- 動画(AVCHD、MPEG2)の取り込み**(➜82)**や再生**(➜48)**
- 録画した番組の持ち出し**(➜105)**
- 写真の再生**(➜89)**や取り込み**(➜92)**
- 音楽の再生**(➜97)**や転送**(➜96)**

  ・持ち出し番組や音楽を他の機器で再生する場合、動作確認済みの機器については、当社ホームページ**(➜3)**をご覧ください。

カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

誤消去防止のために

カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、
カードの内容を誤って消去することを防げます。

書き込み禁止
スイッチ
LOCK

USB 機器について

本機に接続できる USB 機器は？

当社製の以下のUSB機器と接続することができます。

●デジタルハイビジョンビデオカメラ
●SD ビデオカメラ
●デジタルカメラ
●携帯電話
●ポータブルテレビ(ビエラ・ワンセグ)
●ビエラコミュニケーションカメラ(TY-CC10W)

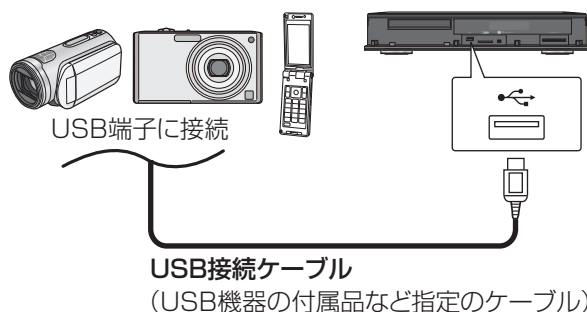
動作確認済みの機器については、当社ホームページ(➜3)をご覧ください。

●上記以外のUSB機器(USBメモリー、USBリーダー&ライター、USB電源を利用する機器など)については動作保証しておりません。故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
●USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合やUSB端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
●接続に使う USB ケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。
●動画(AVCHD、MPEG2)の取り込み(➜82)
●録画した番組の持ち出し(➜105)
●写真の再生(➜89)や取り込み(➜92)

USB 機器を接続する

USB接続ケーブル
(USB機器の付属品など指定のケーブル)

背面端子も同様に接続することができます。

接続した当社製機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。(機器によっては、パソコンに接続するモードに設定する場合もあります)
●接続・設定については、接続した機器の取扱説明書も参考にしてください。
●本体表示窓の"〜"(➜11)点滅中は、認識や読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりする恐れがありますので、点滅中に電源を切ったり、USB接続ケーブルを抜かないでください。

受信できるテレビ放送について

地上デジタル放送　(地上デジタル)

UHF 帯の電波を使って行う放送で、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は 2006 年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。
高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。
(2010 年 12 月現在)

- 本機ではワンセグ放送を録画できます。(➜103)
  ワンセグは携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送で、2006 年 4 月 1 日より、NHK および民放各社からサービスが開始されています。(お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります)

BS デジタル放送　(BS デジタル)

放送衛星(Broadcasting Satellite)を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

- WOWOW などの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。
- 本機では、BSアナログ放送はご覧いただけませんが、より多くのチャンネルをご覧いただける BS デジタル放送をお楽しみいただけます。

110 度 CS デジタル放送　(CS デジタル)

通信衛星(Communications Satellite)を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。

- 110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー! e2」への加入申し込みと契約が必要です。
  「スカパー! e2」には、CS1 とCS2の２つの放送サービスがあります。

お問い合わせ先
「スカパー! e2」カスタマーセンター
0570-08-1212(ナビダイヤル)
(携帯電話・PHS の方は、**045-276-7777**)
受付時間　10:00 ～ 20:00(年中無休)
「スカパー! e2」公式ホームページ
http://www.e2sptv.jp/

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について
地上アナログテレビ放送と BS アナログテレビ放送は 2011 年 7 月 24 日までに終了することが、国の法令によって定められています。

お知らせ

- **本機では、地上アナログ放送を受信することはできません。**
- **B-CAS カードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。**
- WOWOW など有料の放送局とのご契約は B-CAS カード単位でのご契約となります。テレビの B-CAS カードでご契約いただいている場合でも、本機付属の B-CAS カードのご契約が必要です。
- 本機では、ラジオ放送やデータ放送は記録できません。

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容(データ)の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合(HDD以外の修理を行った場合も)においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の移動

① 電源を切る
(本体表示窓から"BYE"が消えるまで待つ)
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ HDD の回転が完全に止まってから(3 分程度待ってから)、振動や衝撃を与えないように動かす
(電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています)

お手入れ

本体

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- ●汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ●ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

録画 / 再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約 1 年に一度、レンズクリーナー(別売)でほこりなどの除去をおすすめします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

- ●クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。
本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

- ●本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報(メールやデータ放送のポイントなど)が記録されています。
廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、「個人情報リセット」(➜130)を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- ●本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

本機を修理依頼するとき

HDDの初期化(録画内容の消去)に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむを得ず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化(出荷状態に戻すため、記録内容は全て失われます)や交換が必要な場合があります。
このような場合、記録内容(データ)の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。(ただし、初期化しないと修理ができない場合があります)

HDD(ハードディスク)

HDD は振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。

特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

HDD は一時的な保管場所です

HDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

HDD に異常を感じた場合はすぐにダビング(バックアップ)を…

HDD 内に不具合個所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。

このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

- **HDD が故障した場合は、記録内容(データ)の修復はできません。**

ディスク、カード

持ちかた

信号面や端子面には手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

信号面
(光っている面)
内側から外へ

レコードクリーナーやシンナー、
ベンジン、アルコールでふかない

- ディスククリーナー(別売)のご使用をおすすめします。
- ディスクが汚れている場合、記録や再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- **ディスク**
  - ・シールやラベルをはらない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
  - ・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
  - ・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
  - ・以下のディスクを使わない。
    - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
    - そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
    - ハート型など、特殊な形のディスク

- **カード**
  - ・カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光のあたるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ(大切な記録内容が損傷する可能性があります)

使用後はケースに収めてください。

無線方式リモコンの使用上のお願い

本機に付属の無線方式リモコンには、適合証明を取得した機器が使用されています。

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業･科学･医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

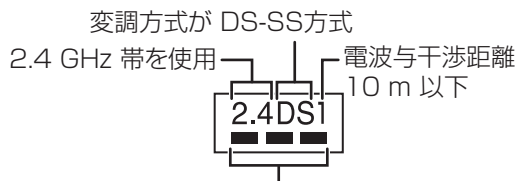
① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。

② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。

③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック DIGA（ディーガ）ご相談窓口（➜176）

（➜176）

■ 周波数表示の見かた
（本体背面および付属リモコンのふた内部に記載）

2.400 GHz～2.4835 GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。
ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

●分解 / 改造する
●定格銘板および証明ラベルをはがす

■ 使用制限

日本国内でのみ使用できます。

■ 電波を使う機器から離す

電波の干渉による、悪影響を予防するため、次の機器からはできるだけ離してください。

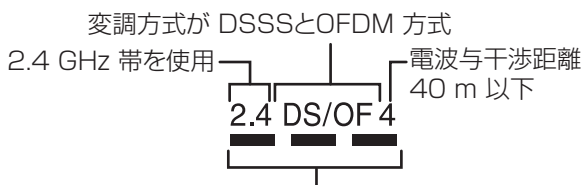
●電子レンジ
●他の無線 LAN 機器
●Bluetooth® 対応機器
●その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（デジタルコードレス電話機、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など）

内蔵無線 LAN 使用上のお願い

■ **使用周波数帯**

内蔵無線 LAN は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ **周波数表示の見かた**

周波数表示は、本機背面(定格銘板)に記載しています。

2.400 GHz～2.4835 GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

無線 LAN 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業･科学･医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。

② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。

③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック DIGA(ディーガ)ご相談窓口(➔176)

■ **機器認定**

内蔵無線 LAN は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線LANに以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解 / 改造する
- 本機背面記載の定格銘板を消す
- 5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

■ **使用制限**

内蔵無線 LAN の使用にあたり、以下の制限がありますので予めご了承ください。
制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線LANの使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

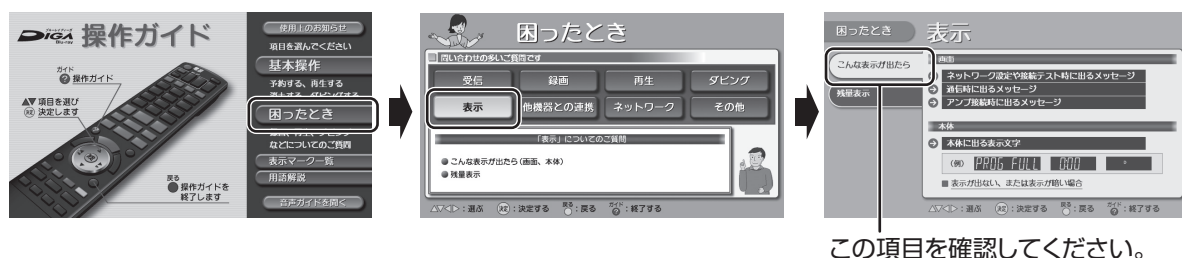
- **日本国内でのみ使用できます。**
- **利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。**
  無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク(SSID ※)が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- **磁場･静電気･電波障害が発生するところで使用しないでください。**
  –次の機器の付近などで使用すると、通信がとぎれたり、速度が遅くなることがあります。
  - 電子レンジ
  - デジタルコードレス電話機
  - その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く(Bluetooth 対応機器、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など)

  –802.11n(2.4 GHz/5 GHz同時使用可)の無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)をお選びください。5 GHz でのご使用をおすすめします。また暗号化方式は「AES」にしてください。
- **電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。**

※ 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

こんな表示が出たら

下記以外の表示やメッセージについては、本体の「操作ガイド」をご覧ください。

ガイド
? を押す

この項目を確認してください。

	表示文字	調べるところ・原因・対策
本体表示窓	0:00	●停電や電源コードをコンセントから抜いたあとなどに、点滅します。時刻を合わせてください。 ●デジタル放送が受信できる場合は、電源を入れると自動的に時刻を合わせます。
	DL 1/5	●ダウンロード実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。（1/5 などはダウンロードの進行状況です）
	UPD 1/5	●ソフトウェアの更新中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。（1/5などは更新の進行状況です）
	U30 2 1～6のいずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 U30 2 表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を3秒以上押したままにしてください。 ●4～6の数字が表示されている場合、本機以外のリモコンでは操作できない場合があります。（リモコン下部に“IR6”の表示があるリモコンで操作できます）
	U50	●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか確認してください。

	表示文字	調べるところ・原因・対策
本体表示窓	U59	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。
	U61	●ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	U82	●本機で使用できないUSB機器が接続されています。本機に対応した機器をお使いください。 ●USB 機器接続時に異常が発生しました。接続した USB 機器をいったん本機から外して、再び接続し直してください。
	U88	●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	F99	●本機が正常に動作しません。本体の[**電源⏻/I**]を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	F00 H00 （数字の 00は例です）	●異常が発生しました。（“F”または“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります） 電源を一度、切 / 入してください。

●上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。

●上記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(**➜176**)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99 」などとお知らせください。

故障かな !?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

「故障かな !?」の内容は、本体の「操作ガイド」や当社ホームページ(➜3)もあわせてご覧ください。

 を押す

この項目を確認してください。

次のような場合は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音（ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります）
- 電源切 / 入時の音
- 気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
- 早送り・早戻し時の映像の乱れ
- 3D ディスク入れ換え時の画面の乱れ
- BS/CS 放送の一時的な休止による受信障害
- 以下の状態のときに、本機から HDD の動作音が聞こえる場合があります。
  - ・電源切 / 入時
  - ・番組表データを受信中
  - ・オンエアーダウンロード中または番組のダウンロード中
  - ・録画中
  - ・録画モード変換時、持ち出し番組作成時または音楽データの AAC 圧縮時
  - ・「ビエラリンク録画待機」(➜136)の「入」時
  - ・予約録画終了時または午前 4 時ごろ（1 週間に一度程度）の、本機全体の自動再起動時
    本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています。

本機が操作を受けつけなくなったときは…

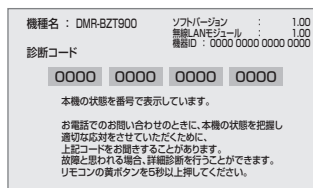
- 各種安全装置が働いていることがあります。
  ① **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を切る**
  - 切れない場合は、約3秒間押し続けると強制的に切れます。
    （それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む）

  ② **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を入れる**

  上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- リモコンが正しく働いていないことがあります。
  (➜156)

診断コードについて

本機では、故障と思われる症状が出たときは、下記の操作を行って機器の状態を診断することができます。

① **[スタート]** を押す
② 「その他の機能へ」を選び、**[決定]** を押す
③ 「診断コード」を選び、**[決定]** を押す
④ **[黄]** を 5 秒以上押す
⑤ 「はい」を選び、**[決定]** を押す
- 診断を開始します。

例）

- 診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。

電源

電源が入らない

- 予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。
- 電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
- 停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の**[電源⏻/I]**を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

- 「自動電源〔切〕」(**➜131**)やビエラリンク(HDMI) の電源オフ連動(**➜116**)、「こまめにオフ」の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。

自動的に電源が入る

- ビエラリンク (HDMI)をお使いのときは、テレビから予約されると、本機の電源が自動的に入ります。

テレビ画面や映像

本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった、または映らなくなった

- アンテナ線の接続方法によっては、映りにくくなる場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 以下の場合は、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。
  - ・かんたん設置設定で衛星アンテナの設定を「個別受信」にしているとき(**➜ 準備編 24**)
  - ・「アンテナ電源」を「オン」にしているとき(**➜129**)
- 「アンテナ出力」(**➜129**)を「オン」にする。
  「オフ」の場合、本機の電源「切」時に BS･110 度 CS アンテナ出力から信号を出力しないため、テレビなどでBS･110度CSデジタル放送を視聴できません。
- 一度「アッテネーター」(**➜ 準備編 36**)の設定を切り換えてみてください。

アンテナレベルが改善して、テレビの映りがよくなっても、アンテナレベル不足の表示が消えない

- 「かんたん設置設定」(**➜ 準備編 25**)をやり直してください。

映像が映らない
映像が乱れる

- 接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。(**➜ 準備編 4 ～ 21**)
- HDMI 端子接続時:
  - ・接続状態に合わせて、「HDMI映像優先モード」(**➜ 準備編 32**)を設定してください。
    - HDMI 端子でテレビと接続:「入」
    - HDMI端子でアンプなどと接続し、D端子でテレビと接続:「切」
  - ・HDCP(不正コピー防止技術)に対応した機器(パソコンのディスプレイなど)に接続したときは、機器によっては正常な映像にならない、または映らない場合があります。(音声は出力されません)
  - ・以下の場合、HDMI 認証が起こり、黒画面になります。
    - 「24p出力」(**➜136**)が「入」の場合、24p素材とそれ以外の素材が切り換わる部分
    - 2D 映像と 3D 映像を切り換えたとき
  - ・「Deep Color 出力」(**➜136**)もしくは「コンテンツタイプフラグ」(**➜137**)を「切」にしてください。
- D 端子接続時:
  - ・本機の出力設定がテレビの D 端子の性能を超えている場合や、接続したケーブルによっては、映像が映らないときがあります。以下の操作を行うと D1 出力になり、「D端子映像出力」(**➜137**)が「入」になって、映像が映ります。
    1. **[決定]**と**[青]**と**[黄]**を同時に 5 秒以上押す
       ・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
    2. 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで**[▶]**を数回押す
    3. **[決定]**を 3 秒以上押す
  - ・「D端子出力解像度」(**➜137**)が「D3」「D4」の場合、DVD ビデオや外部入力、DV 入力からの映像は、はじめの数秒間黒い画面が表示されたり、画面が乱れたりします。
- テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。
  HDMI 端子で接続している場合、接続するテレビのHDMI端子を変更すると改善される場合があります。

表示していた画面が消える

- 「テレビ画面の焼き付き低減機能」(**➜135**)が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。

画面の上下左右に黒帯(グレー帯)が表示される 画面の横縦比がおかしい

- 「画面モード切換」(➜21)で調整してください。(テレビのアスペクト設定でも調整できます)
- 「TV アスペクト」(➜ 準備編 35)の設定を接続したテレビに合わせてください。
- 4:3 のテレビに接続する場合、「D 端子出力解像度」(➜137)を「D1」または「D2」に設定してください。

再生時の映像に残像が多い

- 「HDオプティマイザー」(➜58)を「切」にしてください。

ハイビジョン映像で出力されない

- ディスクによっては著作権保護のため、D端子からの出力が 480p に制限される場合があります。
- HDMI 端子以外で接続時、以下の場合は出力が 480i に制限されることがあります。
  - ・ディスクから HDD にダビングした番組を再生時
  - ・お部屋ジャンプ(DLNA)利用時(クライアントとして使用)
  - ・i.LINK(TS)入力の視聴時
  - ・BD-RE BD-R BD-V RAM(AVCREC) -R(AVCREC) 再生時

ボタン操作

リモコンが働かない

- **無線方式でリモコンを使用している場合:**
  - ・本機に登録しているリモコンでのみ操作できます。(➜ 準備編 42)
  - ・電子レンジやコードレス電話機などの電波の干渉により、操作が効きにくくなるときがあります。電波を使う機器(➜150)からは本体およびリモコンをできるだけ離してください。
  - ・電池を交換すると、リモコンの設定が赤外線方式に戻るときがあります。リモコンの [決定] と [9] を同時に 3 秒 以上押すと、無線方式に切り換わります。
- **赤外線方式でリモコンを使用している場合:**
  - ・本体とリモコンのリモコンモード(➜ 準備編 43)が異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。

    U30 2

    表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定] を3 秒以上押したままにしてください。
  - ・リモコンモードを「4」~「6」に設定している場合、本機のリモコン以外では操作できないときがあります。(リモコン下部に“IR6”の表示があるリモコンで操作できます)
  - ・本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。
  - ・リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色つきガラスも含む)などがありませんか。
  - ・テレビ操作部のボタンでテレビを操作する場合、テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。(➜ 準備編 44)
- 使用しているリモコン受信方式がわからないときや別のリモコンを使用するときなど、本体とリモコンの設定をお買い上げ時の状態に戻したいときは、以下の操作を行ってください。
  1. 電源「切」時に、本体の [▲ 開/閉] を押す
     - ディスクトレイが開きます。
  2. 本体の [▲開/閉] を 10 秒以上押す
     - ディスクトレイが閉まり、メッセージが表示されます。
  3. リモコンの [決定] と [1] を 3 秒以上押す
     - リモコン設定が「赤外線方式」の「リモコン 1」になります。必要に応じて設定を変更してください。(➜ 準備編 42)

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

- 本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。本機のリモコン設定を「無線方式」にするか、リモコンモードを変更してください。(➜ 準備編 42 ~ 43)

本体

本機が熱い

●本機使用中は温度が高くなりますが、性能･品質には問題ありません。本機の上下左右にスペースをあけてください。
本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ディスクが取り出せない

●本機の故障が考えられます。
電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
① **[決定]**と**[青]**と**[黄]**を同時に5秒以上押す
　･本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
② 本体表示窓に“06 FTO”が表示されるまで **[▶]**を数回押す
③ **[決定]**を押す
（ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください）
ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。

本体のボタンが働かない DMR-BZT900

●本体のボタンは、くぼみの中央を指で押してください。爪の先で押したり、手袋をはめた状態で押すと、反応しない場合があります。

スタートボタンについて

スタート画面から本機の各機能の操作を行うことができます。
● ディスクの種類、記録状態によって、選択できる項目は異なります。

スタート を押す

- 放送メール (➜128)
- 録画した番組を見る HDD (➜47)
- 写真を見る HDD (➜89)
- 音楽を聴く HDD (➜97)
- 撮影ビデオを見る HDD (➜47)
- 予約する (➜26)
- ダビングする
  - かんたんダビング (➜68)
  - 詳細ダビング (➜70)
- モバイル機器へ持ち出す
  - かんたん転送 (➜105)
  - 持ち出し番組一覧 (➜106)
- ネットワーク機能を使う
  - お部屋ジャンプリンク(DLNA) (➜120)
  - テレビでネット (➜110、113)
- その他の機能へ
  - 予約確認 (➜37)
  - 新番組おまかせ録画 (➜33)
  - ぴったり録画 (➜25、84)
  - DVおまかせ取込 (➜85)
  - i.LINK(TS)ダビング (➜87)
  - ドアホン・センサーカメラ映像 (➜108)
  - 放送設定 (➜129)
  - 初期設定 (➜131)
  - メール/情報 (➜128)
  - 診断コード (➜154)
  - USB機器
    - 写真 (➜89、92)
    - 撮影ビデオ (➜82)
    - 持ち出し番組 (➜106、107)
    - 持ち出し番組のかんたん転送 (➜105)
    - 書込許可：記録できます。
- ブルーレイ (BD)/DVD
- SD カード
- 決定 / 放送視聴へ

BD-RE BD-R RAM -R -RW 挿入時
例) RAM(VR)

- 録画した番組を見る (➜47)
- プレイリストを見る (➜55)
- 写真を見る (➜89)
- 写真かんたん取込 (➜92)
- DVD管理 (➜124〜127)※

※ BD挿入時は「BD管理」表示

AVCHD 挿入時
例)DVD-RAM

- 撮影ビデオ(AVCHD)を見る (➜48)
- 写真を見る (➜89)
- 撮影ビデオ(AVCHD)を取込 (➜82)
- 写真かんたん取込 (➜92)

BD-V 挿入時

- BD-Videoを再生する (➜47)

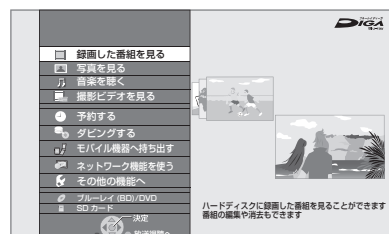
DVD-V 挿入時

- DVD-Videoを再生する (➜47)

SD 挿入時

- 持ち出した番組を確認 (➜107)
- 撮影ビデオ(AVCHD)を見る (➜48)
- 写真を見る (➜89)
- 音楽を聴く (➜97)
- 撮影ビデオ(AVCHD)を取込 (➜82)
- 撮影ビデオ(MPEG2)を取込 (➜83)
- 写真かんたん取込 (➜92)
- カード管理 (➜125)

●「録画した番組を見る」「撮影ビデオを見る」を選ぶと、HDD 内の未視聴で最新の 10 番組を表示します。(ダウンロードした番組や「1 回だけ録画可能」な番組を除く)
・番組数が 10 未満の場合は、サンプルの画像を表示します。
・同時操作中は、サンプルの画像の動きが遅くなる場合があります。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

DMR-BZT900

電　源　AC 100 V、50/60 Hz
消費電力　動作時:約 30 W

待機時(クイックスタート「切」):
時刻表示点灯時・約 0.3 W※1
時刻表示消灯時・約 0.05 W※1

待機時(クイックスタート「入」):
時刻表示点灯時・約 5.9 W※1※2
時刻表示消灯時・約 5.8 W※1※2

DMR-BZT800

電　源　AC 100 V、50/60 Hz
消費電力　動作時:約 29 W

待機時(クイックスタート「切」):
時刻表示点灯時・約 0.3 W※1
時刻表示消灯時・約 0.05 W※1

待機時(クイックスタート「入」):
時刻表示点灯時・約 4.9 W※1※2
時刻表示消灯時・約 4.8 W※1※2

※1 ・地上デジタルアッテネーター:「オン」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ電源:「オフ」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ出力:「オフ」
・リモコン受信方式:赤外線
・無線 LAN 未接続時
・外部接続端子(LAN、USB、DV):未接続

※2 ・HDMI 出力解像度:1080i
待機時(電源切時)でも、番組表データの受信など本機が動作している場合の消費電力は増えます。

年間消費電力	
区分名※3	—
年間消費電力量※4	DMR-BZT900 35.0 kWh/ 年 DMR-BZT800 33.0 kWh/ 年
省エネ基準達成率※3	—

※3　ブルーレイディスクレコーダーについては、「区分 / 省エネ基準」が設定されていないため記載しておりません。

※4　表示値は JEITA 基準による算出式を基に算出した参考値です。

本体

寸法	DMR-BZT900 幅 430 mm×高さ 68 mm×奥行 239 mm (突起部含まず) 幅 430 mm×高さ 68 mm×奥行 249 mm (突起部含む) DMR-BZT800 幅 430 mm×高さ 49 mm×奥行 199 mm (突起部含まず) 幅 430 mm×高さ 49 mm×奥行 209 mm (突起部含む)
本体質量	DMR-BZT900 約 4.3 kg DMR-BZT800 約 3.0 kg
許容周囲温度	5 ℃～40 ℃
許容相対湿度	10%～80%RH (結露なきこと)
時計	クォーツ制御、24時間、デジタル表示

テレビジョン方式

映像方式	NTSC方式、有効走査線数 480本、60フィールド デジタルハイビジョン: 地上デジタル放送方式(日本)、 衛星デジタル放送方式(日本)
アンテナ受信入力	**地上デジタル入力** 90 MHz ～ 770 MHz　75 Ω (VHF:1～12 CH、UHF:13～62 CH、CATV:C13～C63 CH) **BS・110度CSデジタル -IF 入力** 1032 MHz～2071 MHz (IF入力周波数)75 Ω 電源供給:DC 15 V、最大4 W

仕様(つづき)

入出力端子(映像・音声を除く)

DV入力/ TS入出力端子	4ピン: 1系統(IEEE1394準拠) 端子は前面1、背面1装備
SDメモリーカードスロット	1系統
LAN端子	1系統(10BASE-T/100BASE-TX)
USB 端子	前面1系統、背面1系統 (DC 5 V MAX 500 mA)

映像

記録圧縮方式	MPEG-2(Hybrid VBR) MPEG-4 AVC/H.264
映像入力	入力端子 :1系統(ピンジャック) 入力レベル :1.0 Vp-p 75 Ω
S映像入力	入力端子 :1系統 Y入力レベル :1.0 Vp-p 75 Ω C入力レベル :0.286 Vp-p 75 Ω
映像出力	出力端子 :1系統(ピンジャック) 出力レベル :1.0 Vp-p 75 Ω
S映像出力	出力端子 :1系統 Y出力レベル :1.0 Vp-p 75 Ω C出力レベル :0.286 Vp-p 75 Ω
D端子映像出力 (D1/D2/ D3/D4端子)	出力端子 :1系統 (480i/480p/1080i/720p) Y出力レベル :1.0 Vp-p 75 Ω CB/PB出力レベル:0.7 Vp-p 75 Ω CR/PR出力レベル:0.7 Vp-p 75 Ω
HDMI 映像・音声出力	出力端子: DMR-BZT900 2系統 DMR-BZT800 1系統 (19ピン typeA端子) HDMI [本機はビエラリンク(HDMI)Ver.5に対応しています] (480p/1080i/720p/1080p)

音声

記録・再生 圧縮方式	●MPEG-2 AAC (DR、HG、HX、HE、HL、HM、HZモード・デジタル放送記録時): 最大 5.1ch 記録 ●Dolby Digital (XP、SP、LP、EP、FR モード): 2ch記録 ●リニアPCM (XPモードのみ切り換え可): 2ch記録
アナログ入力	入力端子 :2ch入力 1系統(ピンジャック) 基準入力 :309 mVrms 入力レベル: FS:2 Vrms(1 kHz、0 dB) 入力インピーダンス :22 kΩ
アナログ出力	出力端子 :2ch出力 1系統(ピンジャック) 基準出力 :309 mVrms 出力レベル: FS:2 Vrms(1 kHz、0 dB) 出力インピーダンス: 1 kΩ (負荷インピーダンス: 10 kΩ)
チャンネル数	記録:2ch(デジタル放送記録時:最大5.1ch) 再生:2ch HDMI 出力:最大 7.1ch 光デジタル出力:最大 5.1ch (Bitstream)
デジタル出力	光デジタル音声出力端子:1系統 (PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG-2 AAC対応) DMR-BZT900 同軸デジタル音声出力端子:1系統 (PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG-2 AAC対応) HDMI 映像・音声出力端子: DMR-BZT900 2系統 DMR-BZT800 1系統 (PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG-2 AAC対応) (Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD Master Audio、DTS-HD High Resolution Audio 対応、対応アンプに接続時のみ Bitstream 出力可能)

HDD/BD部

内蔵HDD容量	DMR-BZT900 3 TB（3000 GB） DMR-BZT800 2 TB（2000 GB）
記録可能なディスク※5	●BD-RE （25 GB:片面1層/50 GB:片面2層） 1-2X SPEED（Ver.2.1 準拠） （1X SPEED Ver.1.0は非対応） （100 GB: 片面3層） 2X SPEED（Ver.3.0 準拠） ●BD-R （25 GB:片面1層/50 GB:片面2層） 1-2X SPEED（Ver.1.1 準拠） 1-4X SPEED（Ver.1.2 準拠） 1-6X SPEED（Ver.1.3 準拠） 1-2X SPEED LTH type [（Ver.1.2 準拠）（25 GB: 片面1層のみ）] 1-6X SPEED LTH type [（Ver.1.3 準拠）（25 GB: 片面1層のみ）] （100 GB: 片面3層 /128 GB: 片面4層※6） 2-4X SPEED（Ver.2.0 準拠） ●DVD-RAM※7: 2X SPEED（Ver.2.0 準拠） 2-3X SPEED（Ver.2.1 準拠） 2-5X SPEED（Ver.2.2 準拠） ●DVD-R: 1X SPEED（Ver.2.0 準拠） 1-4X SPEED（Ver.2.0 準拠） 1-8X SPEED（Ver.2.0 準拠） 1-16X SPEED（Ver.2.1 準拠） ●DVD-R DL: 2-4X SPEED（Ver.3.0 準拠） 2-8X SPEED（Ver.3.0 準拠） ●DVD-RW: 1X SPEED（Ver.1.1 準拠） 1-2X SPEED（Ver.1.1 準拠） 2-4X SPEED（Ver.1.2 準拠） 2-6X SPEED（Ver.1.2 準拠）
リージョンコード	DVD ：#2 BD ：Region A

再生可能なディスク	●BD-RE（25 GB: 片面1層） ●BD-RE（50 GB: 片面2層） ●BD-RE（100 GB: 片面3層） ●BD-R（25 GB: 片面1層） ●BD-R（50 GB: 片面2層） ●BD-R（100 GB: 片面3層） ●BD-R（128 GB: 片面4層※6） ●BD-Video （Blu-ray 3D、BD-Live 対応） ●DVD-RAM※7: DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠、 AVCREC 規格準拠 ●DVD-R、DVD-R DL（片面2層）: DVDビデオ規格準拠※8、 DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠※8、 AVCREC 規格準拠※8 ●DVD-RW: DVDビデオ規格準拠※8、 DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠※8 ●+R、+R DL（片面2層）、+RW: DVDビデオ規格準拠※8、 AVCHD 規格準拠※8 ●DVD-Video:DVDビデオ規格準拠 ●CD-Audio（CD-DA） ●CD-R/CD-RW: CD-DA、JPEGフォーマット記録ディスク

※5 8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。
※6 2010年12月現在、BD-R（128 GB:片面4層）は発売されていません。
※7 カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出してお使いください。
※8 他機器で記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズが必要です。

SD部

スロット	SDメモリーカード
対応カード	SDメモリーカード※9※10※11
対応フォーマット	SD カード: FAT12/FAT16 SDHC カード: FAT32 SDXC カード: exFAT

USB部

バージョン	ハイスピード USB(USB2.0 準拠)
対応フォーマット	FAT12、FAT16、FAT32

写真

画像ファイル形式	●JPEGベースライン形式
画素数	34×34～8192×8192 サブサンプリング:4:2:2、4:2:0
解凍時間※12	約2秒(1010万画素)
記録 / 再生可能メディア	HDD、BD-RE、DVD-RAM、SD カード
再生のみ可能メディア	BD-R、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、USB
ファイル方式	●JPEG: ベースライン方式(DCF 準拠) ・ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル(半角英数字のみ) ・MOTION JPEG 非対応 ●MPO: マルチピクチャーフォーマット(MPF 準拠) ・ファイル名の拡張子に「mpo」、「MPO」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
フォルダ数	BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SD カード、USB:最大 500※13
ファイル数	HDD :最大 20000 BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SD カード、USB:最大 10000※14
CD/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R/+R DL/+RW	●ISO9660 level1と2(拡張フォーマットは除く)、Joliet 対応 ●マルチセッション対応 ●パケットライト方式非対応

音楽

記録 / 再生可能メディア	HDD、SDメモリーカード※9※10※11
再生のみ可能メディア	CD-Audio(CD-DA)、 CD-R/CD-RW(CD-DA)
バックアップ専用メディア	DVD-RAM
記録方式	HDD :LPCM、AAC SDカード :AAC
記録モード	LPCM :CD 音質(HDD 記録時のみ) AAC(XP) :約 128 kbps AAC(SP) :約 96 kbps AAC(LP) :約 64 kbps

DCF 準拠(デジタルカメラなどで記録したもの)したフォーマットが使用できます。

DCF:Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格]

※9 使用可能容量は少なくなることがあります。

※10 SDHCメモリーカード、SDXC メモリーカードを含む。

※11 miniタイプ、microタイプのSDカードを含む。(専用のアダプター装着時)

※12 解凍時間は使用環境(ファイル数・圧縮率など)によって多少長くなることがあります。

※13 最大フォルダ数:ディスク1枚に対し、本機で対応している最大フォルダ数(ルートもフォルダとして数える)

※14 最大ファイル数:ディスク1枚に対し、本機で対応している最大ファイル数(JPEG と MPO のファイル合計)

MPEG-2 動画

ファイル形式	SD VIDEO規格準拠
圧縮方式	MPEG-2

AVCHD 動画

ファイル形式	AVCHD規格準拠
圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264

持ち出し動画

ファイル形式/画質	SD VIDEO 規格(ISDB-T Mobile Video Profile) 準拠 / 320 × 180 15 fps(412 kbps) SD VIDEO 規格(H.264 Mobile Video Profile) 準拠 / 640 × 360 30 fps(1.5 Mbps、1.0 Mbps)
圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264

AACS による制限について

AACS(ブルーレイディスクの著作権保護技術)の運用ルールの制限により、本機を含む2011 年 1 月以降に生産開始した機種では、再生する番組やディスクによっては、D 端子からハイビジョン映像で出力されない場合があります。

再生する番組、ディスク	ハイビジョン出力
市販の BD ビデオ	× [D1(480i)で出力]
BD-RE、BD-R に記録した番組	× [D1(480i)で出力]
AVCREC方式のDVDディスクに記録した番組	× [D1(480i)で出力]
HDD に記録した番組	○ (BDディスクからダビングした番組は D1 出力になります)

内蔵無線 LAN モジュール

アンテナ	Tx 1、Rx 2
規格	IEEE802.11n / IEEE802.11a※15/ IEEE802.11g / IEEE802.11b準拠、ARIB STD-T71(5 GHz 帯)、ARIB STD-T66(2.4 GHz 帯) (5 GHz 帯は屋内使用限定)
伝送方式	MISO-OFDM 方式、OFDM 方式、DSSS 方式
周波数範囲 / チャンネル (中心周波数)	IEEE802.11n / IEEE802.11a 5. 180 GHz ～ 5. 240 GHz / W52: 36, 40, 44, 48 ch 5. 260 GHz ～ 5. 320 GHz / W53: 52, 56, 60, 64 ch 5. 500 GHz ～ 5. 700 GHz / W56: 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140 ch IEEE802.11g / IEEE802.11b / IEEE802.11n 2. 412 GHz ～ 2. 472 GHz: 1 ～ 13 ch
データ転送速度 (規格値※16)	IEEE802.11n: Tx 最大 150 Mbps、 Rx 最大 300 Mbps IEEE802.11g、IEEE802.11a: 最大 54 Mbps IEEE802.11b: 最大 11 Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャモード
セキュリティ	WPA2-PSK(TKIP / AES) WPA-PSK(TKIP / AES) WEP (64 bit / 128 bit)

※15 従来の 11a (J52) のみの対応機器とは接続できません。

※16 理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際の通信速度は異なります。

録画モードと記録時間の目安

録画モード			内蔵HDD DMR-BZT900 (3 TB)	内蔵HDD DMR-BZT800 (2 TB)	BD-RE 25 GB (片面1層)	BD-RE 50 GB (片面2層)	BD-RE 100 GB (片面3層)
放送画質 DR	BSデジタル	HD放送 (≦24 Mbps)	約270時間	約180時間	約2時間10分	約4時間20分	約8時間40分
放送画質 DR	BSデジタル	SD放送 (≦12 Mbps)	約540時間	約360時間	約4時間20分	約8時間40分	約17時間20分
放送画質 DR	地上デジタル	HD放送 (≦17 Mbps)	約381時間	約254時間	約3時間	約6時間	約12時間
ハイビジョン画質	HG		約480時間	約320時間	約4時間	約8時間	約16時間
ハイビジョン画質	HX		約762時間	約508時間	約6時間	約12時間	約24時間
ハイビジョン画質	HE		約1143時間	約762時間	約9時間	約18時間	約36時間
ハイビジョン画質	HL		約1524時間	約1016時間	約12時間	約24時間	約48時間
ハイビジョン画質	HM		約2160時間	約1440時間	約17時間20分	約35時間	約70時間
ハイビジョン画質	HZ		約4050時間	約2700時間	約32時間30分	約65時間	約130時間
標準画質	XP		約660時間	約440時間	約5時間15分	約10時間30分	約21時間
標準画質	SP		約1329時間	約886時間	約10時間30分	約21時間	約42時間
標準画質	LP		約2649時間	約1766時間	約21時間	約42時間	約84時間
標準画質	EP		約5319時間 (約3990時間)	約3546時間 (約2660時間)	約42時間 (約31時間30分)	約84時間 (約63時間)	約168時間 (約126時間)

録画モード			BD-R 25 GB (片面1層)	BD-R 50 GB (片面2層)	BD-R 100 GB (片面3層)	BD-R 128 GB (片面4層)※17
放送画質 DR	BSデジタル	HD放送 (≦24 Mbps)	約2時間10分	約4時間20分	約8時間40分	約11時間10分
放送画質 DR	BSデジタル	SD放送 (≦12 Mbps)	約4時間20分	約8時間40分	約17時間20分	約22時間20分
放送画質 DR	地上デジタル	HD放送 (≦17 Mbps)	約3時間	約6時間	約12時間	約15時間30分
ハイビジョン画質	HG		約4時間	約8時間	約16時間	約20時間30分
ハイビジョン画質	HX		約6時間	約12時間	約24時間	約30時間50分
ハイビジョン画質	HE		約9時間	約18時間	約36時間	約46時間10分
ハイビジョン画質	HL		約12時間	約24時間	約48時間	約62時間
ハイビジョン画質	HM		約17時間20分	約35時間	約70時間	約90時間
ハイビジョン画質	HZ		約32時間30分	約65時間	約130時間	約167時間30分
標準画質	XP		約5時間15分	約10時間30分	約21時間	約27時間
標準画質	SP		約10時間30分	約21時間	約42時間	約54時間
標準画質	LP		約21時間	約42時間	約84時間	約107時間40分
標準画質	EP		約42時間 (約31時間30分)	約84時間 (約63時間)	約168時間 (約126時間)	約215時間10分 (約161時間30分)

※17 2010年12月現在、BD-R(128 GB: 片面4層)は発売されていません。

録画モード ＼ ディスク		DVD-RAM 4.7 GB(片面)	DVD-RAM 9.4 GB(両面)	DVD-R (4.7 GB)	DVD-R DL (8.5 GB) (片面2層)	DVD-RW (4.7 GB)
ハイビジョン画質	HG	約 42 分	約 1 時間 24 分	約 42 分	約 1 時間 20 分	—
	HX	約 1 時間 5 分	約 2 時間 10 分	約 1 時間 5 分	約 2 時間	
	HE	約 1 時間 40 分	約 3 時間 20 分	約 1 時間 40 分	約 3 時間	
	HL	約 2 時間 10 分	約 4 時間 20 分	約 2 時間 10 分	約4時間 10 分	
	HM	約 3 時間 15 分	約 6 時間 30 分	約 3 時間 15 分	約 6 時間	
	HZ	約6時間	約 12時間	約6時間	約11時間15分	
標準画質	XP	約1時間	約2時間	約1時間	約1時間45分	約1時間
	SP	約2時間	約4時間	約2時間	約3時間35分	約2時間
	LP	約4時間	約8時間	約4時間	約7時間10分	約4時間
	EP	約8時間 (約6時間)	約16時間 (約12時間)	約8時間 (約6時間)	約14時間20分 (約10時間45分)	約8時間 (約6時間)

お知らせ

- HDD 持ち出し番組や音楽、写真を記録している場合、「ドアホン・センサーカメラ接続」(➜139)を「入」にすると、記録できる時間は少なくなります。
- HZ モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなることがあります。残量に余裕がある状態(録画される時間の 1.3 倍以上の残量がある状態)で録画することをおすすめします。
- EPモードは「 EP 時の記録時間」(➜132)の設定で時間は異なります。[()内の時間は EP(6 時間)のとき]
  ・「6 時間」の方が高音質です。
  ・RAM(VR) 他の機器で再生する可能性のあるときは、EP(6 時間)モードで記録してください。
- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- DRモード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式:VBR)を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。(HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) では、特にその差が著しくなります)
- DR モードの録画時間は放送(転送レート)によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を 17 Mbps、BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- 情報量の少ない(ビットレートの低い)番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、ディスク容量いっぱいに記録することができない場合があります。

記録できる最大番組数 (使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります)

- HDD :3000(持ち出し番組を含む)(長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます)
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) :200
- RAM(VR) -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V) :99

予約可能番組数

128(予約可能期間：1 年間)

持ち出し番組の記録可能時間の目安

SD カード＼画質	ワンセグ (412 kbps)	VGA(1.0 Mbps)	VGA(1.5 Mbps)
128 MB	約 41 分	約 14 分	約 10 分
256 MB	約 1 時間 20 分	約 29 分	約 20 分
512 MB	約 2 時間 39 分	約 58 分	約 40 分
1 GB	約 5 時間 20 分	約 1 時間 56 分	約 1 時間 20 分
2 GB	約 10 時間 51 分	約 3 時間 57 分	約 2 時間 44 分
4 GB	約 21 時間 19 分	約 7 時間 46 分	約 5 時間 23 分
8 GB	約 43 時間 24 分	約 15 時間 50 分	約 10 時間 58 分
16 GB	約 87 時間 20 分	約 31 時間 52 分	約 22 時間 5 分
32 GB	約 175 時間 12 分	約 63 時間 57 分	約 44 時間 19 分
48 GB	約 257 時間 32 分	約 94 時間	約 65 時間 9 分
64 GB	約 349 時間 28 分	約 127 時間 34 分	約 88 時間 24 分

本機では、情報量の多い番組を想定して記録可能時間を算出しています。そのため、情報量の少ない番組を記録する場合、記録可能時間は上記の目安よりも長くなります。

●**最大番組数**：99 [ハイビジョン動画(AVCHD)以外の動画を含む]

スカパー! HD の番組の記録時間の目安

番組＼内蔵HDD	DMR-BZT900 3 TB	DMR-BZT800 2 TB
スカパー! HD のハイビジョン画質の番組	約 704 時間（約 381 ～ 880 時間）	約 469 時間（約 254 ～ 587 時間）
スカパー! HD の標準画質の番組	約 1204 時間（約 763 ～ 2314 時間）	約 805 時間（約 508 ～ 1545 時間）

●録画する番組によって記録できる時間は変動します。( )は変動する記録時間の目安です。

最大チャプターマーク数

(記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む)

● HDD ：
1 番組あたり約 999 個

● BD-RE[※18] BD-R[※18]
RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) ：
ディスクあたり約 999 個
※ 18　BDXL は約 20000 個

● BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) ：
1 番組あたり約 100 個

音楽の記録可能な最大数

● HDD 曲数：40000
録音速度：約 12 倍速
● SD 転送数：曲 999、プレイリスト 99(SD カードに AAC 以外の曲が記録されている場合、最大転送数は少なくなります)
転送速度：約 16 倍速

音楽の記録可能時間の目安

メディア＼録音音質		LPCM	AAC (XP)	AAC (SP)	AAC (LP)
内蔵 HDD DMR-BZT900 3 TB		約 3900 時間	約 49200 時間	約 65400 時間	約 98400 時間
内蔵 HDD DMR-BZT800 2 TB		約 2600 時間	約 32800 時間	約 43600 時間	約 65600 時間
SDカード	32 MB	—	約 31 分	約 41 分	約 1 時間 2 分
SDカード	64 MB	—	約 1 時間 4 分	約 1 時間 25 分	約 2 時間 8 分
SDカード	128 MB	—	約 2 時間 10 分	約 2 時間 53 分	約 4 時間 20 分
SDカード	256 MB	—	約 4 時間 14 分	約 5 時間 38 分	約 8 時間 28 分
SDカード	512 MB	—	約 8 時間 23 分	約 11 時間 11 分	約 16 時間 47 分
SDカード	1 GB	—	約 16 時間 47 分	約 22 時間 23 分	約 33 時間 34 分
SDカード	2 GB	—	約 34 時間 8 分	約 45 時間 31 分	約 68 時間 17 分
SDカード	4 GB	—	約 66 時間 29 分	約 88 時間 39 分	約 132 時間 59 分
SDカード	8 GB	—	約 136 時間 27 分	約 139 時間 5 分[※19]	約 142 時間 38 分[※19]
SDカード	16 GB	—	約 139 時間 5 分[※19]	約 139 時間 5 分[※19]	約 142 時間 38 分[※19]
SDカード	32 GB	—	約 139 時間 5 分[※19]	約 139 時間 5 分[※19]	約 142 時間 38 分[※19]
SDカード	48 GB	—	約 139 時間 5 分[※19]	約 139 時間 5 分[※19]	約 142 時間 38 分[※19]
SDカード	64 GB	—	約 139 時間 5 分[※19]	約 139 時間 5 分[※19]	約 142 時間 38 分[※19]

● HDD 番組や写真を記録している場合、記録できる時間は少なくなります。
● HDD AACへの音楽圧縮前は、LPCMの記録可能時間しか録音できません。

※ 19 SDオーディオ規格の時間管理の制限により曲数に限らず最大記録時間に限界があり、この時間以上の記録はできません。

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。
●アクトビラなどのインターネットサービス
●番組表表示や、1ヵ月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
●ブロードバンドレシーバー機能
●CD のタイトル情報取得
●その他の放送·ネットワーク事業者が提供するサービス

本製品は以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1) パナソニック株式会社(パナソニック)が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、別途規定される条件に基づきパナソニックに利用許諾されるソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (GPL v2) に基づき利用許諾されるソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(LGPL v2.1) に基づき利用許諾されるソフトウェア
(5) GPL,LGPL 以外の条件に基づき利用許諾されるオープンソースソフトウェア

上記(3)、(4)に基づくソフトウェアに関しては、例えば以下で開示される GNU GENERAL PUBLIC LICENSE V2.0, GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE V2.1 の条件をご参照ください。
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
また、上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアは、多くの人々により著作されています。これら著作者のリストは以下をご参照ください。
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCP11

これら GPL,LGPL の条件で利用許諾されるソフトウェア(GPL/LGPL ソフトウェア)は、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

製品販売後、少なくとも３年間、パナソニックは下記のコンタクト情報宛にコンタクトしてきた個人·団体に対し、GPL/LGPL の利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPL ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコードを頒布します。

コンタクト情報
cdrequest@am-linux.jp

またソースコードは下記の URL からも自由に入手できます。
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCP11

(5) には以下が含まれます。
1. This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.
(http://www.openssl.org/)
2. This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
3. FreeType code.
4. The Independent JPEG Group's JPEG software.

This product incorporates the following software:
(1) the software developed independently by or for Panasonic Corporation,
(2) the software owned by third party and licensed to Panasonic Corporation,
(3) the software licensed under the GNU General Public License, Version 2 (GPL v2),
(4) the software licensed under the GNU LESSER General Public License, Version 2.1 (LGPL v2.1) and/or,
(5) open sourced software other than the software licensed under the GPL v2 and/or LGPL v2.1

For the software categorized as (3) and (4), please refer to the terms and conditions of GPL v2 and LGPL v2.1, as the case may be at
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html and
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html.
In addition, the software categorized as (3) and (4) are copyrighted by several individuals. Please refer to the copyright notice of those individuals at
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCP11

The GPL/LGPL software is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY, without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

At least three (3) years from delivery of products, Panasonic will give to any third party who contacts us at the contact information provided below, for a charge no more than our cost of physically performing source code distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code covered under GPL v2/ LGPL v2.1.

Contact Information
cdrequest@am-linux.jp

Source code is also freely available to you and any other member of the public via our website below.
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCP11

For the software categorized as (5) includes as follows.
1. This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.
(http://www.openssl.org/)
2. This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
3. FreeType code.
4. The Independent JPEG Group's JPEG software.

Gracenote® Corporate の記述

音楽認識テクノロジーおよび関連データは Gracenote® によって提供されます。Gracenote は音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。
詳細については、www.gracenote.com をご覧ください。

Gracenote® の著作権情報に関する記述

Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ : copyright © 2000-present Gracenote.
Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote.
本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。 適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。
Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS, Gracenote のロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および / またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。

Gracenote®エンド ユーザー使用許諾契約書

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。
お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**
お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。
Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。
Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。
Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社が所有する米国およびその他の国における特許技術と知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- ロヴィ、Rovi、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
  G ガイドは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
  米国 Rovi Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 電子番組表の表示機能に G ガイドを採用していますが、当社が G ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 米国特許番号：5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 及び、その他米国や世界各国に出願し権利を保有する特許に基づき製造されています。
  DTS とそのシンボルマークは、DTS, Inc. の登録商標です。
  DTS-HD、DTS-HD Master Audio ｜ Essential 及び DTS のロゴは、DTS, Inc. の商標です。「製品」にはソフトウェアも含みます。© DTS, Inc. 不許複製。
- SDXCロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- i.LINKとi.LINKロゴ“ ”は商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- スカパー! および「スカパー! HD 録画 ™」ロゴは、スカパーJSAT株式会社の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Javaおよびすべての Java関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- HDAVI Control™ は商標です。
- マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は、（株）アクトビラの商標または登録商標です。
- Skype、関連する商標とロゴおよび マークは、Skype Limited 社の商標です。
- e-move™及びe-moveロゴはパナソニック株式会社の商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED”ロゴは、“Wi-Fi Alliance”の認証マークです。
- 日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
  “Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- 富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。
  Inspirium 音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2011
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “DVD Logo”はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ・AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
  - ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
  - ・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC
  （http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[スタート] ボタンを押し、“その他の機能へ”→“メール／情報”→“ID表示”→“ソフト情報表示”をご参照ください。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は 2010 年 12 月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

安全上のご注意(必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

電源プラグを抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

- ・煙が出たり、異常なにおいや音がする
- ・映像や音声が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・電源プラグが異常に熱い
- ・本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

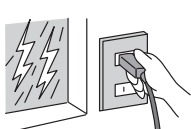
- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

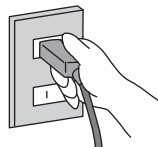
電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

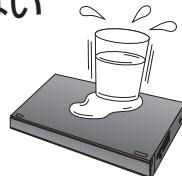
メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

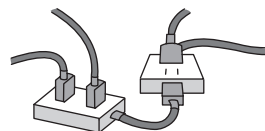
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕と⊖を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠ 警告

心臓ペースメーカーを装着している方は本体やリモコンを装着部から22cm以上離す

本体やリモコンからの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

本体やリモコンからの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない

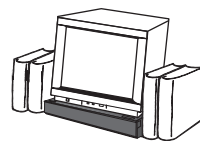
本体やリモコンからの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

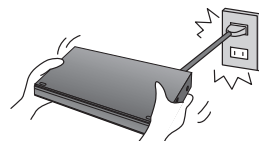
放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 後面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

不安定な場所に置かない

- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

⚠注意

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
●ディスクは、保護のため取り出しておいてください。

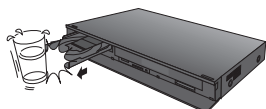
長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。
●特にお子様にはご注意ください。

機器の前にものを置かない

リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。
●ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
●リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
●誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

3D映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。
●適度な休憩をとってください。
●3D映像の見え方には個人差がありますので、「3D画面モード」で効果を設定する場合には特にご注意ください。

3D映像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。
●お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

3D映画などを視聴する場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	（　　）　―
お買い上げ日	年　月　日
B-CASカード番号	

※ B-CAS カード番号を記入してください。
お問い合わせのときに必要な場合があります。

修理を依頼されるときは…

「故障かな!?」（➜154 ～157）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- 製品名　ブルーレイディスクレコーダー
- 品　番
- 故障の状況　できるだけ具体的に

- **保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**
  保証期間：お買い上げ日から本体１年間
- **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間 ８年**
当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後８年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

- **使いかた・お手入れなどのご相談は - - -**

パナソニック DIGA（ディーガ）ご相談窓口　365日 受付9時～20時
電 話　フリーダイヤル　携帯・PHS OK　**0120-878-982**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- **修理に関するご相談は - - - - - - - - - - - -**

パナソニック 修理ご相談窓口
電 話　フリーダイヤル　携帯・PHS OK　**0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

使いかたのお問い合わせのときは、診断コードをお聞きすることがあります。（➜154）
事前に診断コードをお控えいただくと、お問い合わせへの迅速なご対応が可能となります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口　※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話番号	住所
北海道地区	札　幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭　川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯　広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函　館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青　森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋　田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩　手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮　城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山　形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福　島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃　木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群　馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨　城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼　玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千　葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東　京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山　梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新　潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石　川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富　山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福　井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長　野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静　岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛　知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐　阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高　山	☎ (0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三　重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋　賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京　都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大　阪	☎ (06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈　良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵　庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥　取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米　子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松　江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出　雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜　田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡　山	☎ (086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広　島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山　口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香　川	☎ (087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳　島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高　知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛　媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福　岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐　賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長　崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大　分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮　崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊　本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天　草	☎ (0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大　島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖　縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　1210

さくいん

英数字　ページ

必要なとき

さくいん(つづき)

さ行　ページ

た 行

ページ

な 行

ページ

必要なとき

は 行

ページ

ま 行

ページ

や 行

ページ

ら 行

ページ

操作方法や困ったときに役立つ
サポート情報を掲載しています。

必要なとき

●使いかた・お手入れなどのご相談は----

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック DIGA(ディーガ)ご相談窓口 365日 受付9時〜20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-878-982
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187
■FAX フリーダイヤル 0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は ------------

パナソニック 修理サービスサイト
http://club.panasonic.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-878-554
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容(データ)の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検 長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を!

こんな症状はありませんか		ご使用中止	
	• 煙が出たり、異常なにおいや音がする • 映像や音声が出ないことがある • 内部に水や異物が入った • 本体に変形や破損した部分がある • その他の異常や故障がある		故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社 ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

VQT3C01-2B
F1210EY2031 (4000 Ⓓ)